

参考資料 1

ため池用語集

1. ため池用語集

本手引に用いる用語の定義や注意事項について以下に示す。

1. 本手引の「調査」に関する用語の定義や注意事項	
(1) 概況調査	堤体や洪水吐、取水設備等ため池関連施設の変形、欠損、漏水等、ため池の老朽度を把握して改修の必要性を明らかにするための調査。
(2) パイピング	作用水圧によって細粒土粒子が流出し、流路が拡大する現象であり、土質地盤や土質構造物の水理破壊の原因となる。
(3) 堤体変形	波浪浸食や沈下によって堤体に断面欠損等が生じている状態。
(4) 基準点	公共座標と関連づけられた基準となる点。設計構造物の現地設定、既設水路や周辺道路との取り付け、古いボーリング位置の現地再現等に支障がないよう対処する必要がある。
(5) 地質調査	ため池施設の安全度を検討する際に重要な基礎地盤データを得るための調査。
(6) 土質調査	築堤材料や基礎地盤の性状を把握するための調査。
(7) 築堤材料	堤体を構成する材料。
(8) サウンディング	地中にロッドやコーンを貫入させて土性を調べる調査方法であり、標準貫入試験やスウェーデン式貫入試験がある。
(9) 試掘坑	いわゆるテストピットであり、土層の目視観察や試験材料の採取、現場密度試験や透水試験等を行う。
(10) 土質試験	土質試験には現場試験と室内試験がある。室内試験は物理試験と力学試験に分けられる。
(11) 標準貫入試験	質量 63.5 kg のハンマーを 0.75 m の高さから自由落下させ、サンプラーを 0.3 m 打込むのに要する打撃数（N 値）を求める試験。
(12) 軟弱地盤	構造物の基礎地盤として、十分な支持力をもっていないため、すべりや圧密等の沈下によって構造物が悪影響を受ける恐れのある地盤。
(13) 水みち	堤体や地盤の中に形成される、局所的な浸透水の通り道。これが原因でパイピングや漏水が発生する。
(14) 透水係数	土が水を通しやすい程度を表す指標。浸透水量の予測、堤体材料や基礎地盤の水密性評価に用いられる。測定方法としては主にパッカー法が用いられるが、土質によってはケーシング法を用いることがある。

2. 本手引の「設計洪水流量」に関する用語の定義や注意事項	
(1) 設計洪水流量	ため池の設計上考慮する最大の洪水量で、A 項、B 項、C 項流量の三者のうちの最大値に 20 %の余裕を見込んだ洪水量である。
(2) A 項流量	確率的に 200 年に 1 回起こると推定される 200 年確率洪水流量。
(3) B 項流量	観測あるいは洪水痕跡から推定される既往最大洪水流量。
(4) C 項流量	気象・水象条件の類似する近傍流域における水象、又は気象の観測結果から推定される最大洪水流量。
(5) 洪水到達時間	流域最遠点の降雨の影響（雨水による攪乱）が下流端に達する時間。
(6) 降雨強度	洪水ピーク流量を求める際に用いる、単位時間当たりの降雨量を示す指標（mm/h）。
(7) 特性係数法	10 分雨量と 60 分雨量から降雨強度曲線式を決める方法。降雨強度公式の定数決定に際しては、特性係数法が一般的であり、極めて容易かつ高精度に確率降雨強度公式が算定できる。
(8) ピーク流出係数	ピーク時の降雨量に対して地表を流下する雨水の割合を表す数値である。
(9) 貯留効果	洪水が流入した際、ため池が一時的に水を溜めることで、洪水吐から下流へ流れる流量を抑制する効果。
(10) h-V 曲線	ため池の水深（h）と貯水量（V）の関係を示したグラフ。
(11) 流出係数	降雨量に対するため池への流出量の比率を表す係数。土地の条件（宅地や森林等）により係数値は変化する。

3. 本手引の「堤体」に関する用語の定義や注意事項	
(1) 堤体	基礎地盤上に築造された、ため池の本体。
(2) 堤体改修工法	ため池として必要な機能及び安全性を回復させるための工法。
(3) 均一型	現況堤体の土質とほぼ同質の土質材料で改修する形式。
(4) 傾斜遮水ゾーン型	現況堤体の上流側に傾斜した遮水ゾーンを設け遮水する型式。遮水効果が高く、現況堤体とのなじみもよい。
(5) 中心遮水ゾーン型	遮水ゾーンを中央に設け遮水する型式。
(6) 表面遮水型	表面遮水材料には、合成ゴム系シート、合成樹脂系シート等がある。遮水性材料の入手が困難な場合に適する形式。
(7) 堤体グラウト型	堤体からの漏水経路が明らかな場合に行われる形式。
(8) 透水性地盤	レキ質土等からなり、水が通りやすい地盤。
(9) 難透水性地盤	シルトや砂混じり粘土等からなり、水が通りにくい地盤。
(10) 浸潤線	堤体内飽和浸透流の自由水面を表す線。
(11) 浸透量	堤体及び基盤内を通過し、堤体下流側で観測される水の量。
(12) 下流法先ドレーン	堤体下流法先部に設置されるドレーンであり、堤体下流斜面に浸透水の浸出点が表れないよう浸潤線を低下させるために設置される。
(13) ポータブルコーン貫入試験	小型軽量のコーン貫入試験機を用い、測定した平均抵抗値をコーン断面積で割ることでコーン貫入抵抗（qc）を求める原位置試験である。地盤断面の概況を把握し、土質構成や地盤強度を調べる。標準貫入試験より簡便で連続的なデータが得られる。
(14) 支持力	地盤が上からの荷重に耐えることができる能力。堤体の安定性や基礎地盤の適性評価において基本となる地盤定数で、ため池設計における許容支持力は安全率を考慮して設定される。
(15) 水密性	構造物が水の浸透や漏水を防ぐ性能である。水密性の評価には、透水試験や浸透解析が用いられる。
(16) すべり破壊	土塊が重力や外力によって不安定となり、特定のすべり面に沿って滑動する現象である。堤体の安定性評価においては円形すべり面スライス法により安全率を算定する。
(17) 圧密沈下	荷重作用により土中の間隙水がゆっくり排出されることで、土が圧縮され沈下する現象である。軟弱地盤上の堤体で発生し、長期間にわたって進行する。（粘土質地盤で発生する）
(18) 間隙水圧	土粒子間の間隙に存在する水が示す圧力。ため池では堤体の安定性や堤体または基礎地盤の液状化に影響する。

4. 本手引の「洪水吐」に関する用語の定義や注意事項	
(1) 洪水吐	設計洪水量以下の流水を安全に流下させるための施設。
(2) 洪水吐流入方式	一般的な側溝水路式、正面越流式やラビリンス式等のほか、水路流入式や取水塔と兼用したタワー式など各種の流入方式がある。
(3) 放流水路	放流水路は急勾配水路とするのが一般的であるが、階段水路やらせん流水路等の方式もある。
(4) 減勢工	跳水現象が発生する一定高さの下流水位を得て減勢する静水池式減勢工や落差工方式が一般的であるが、衝撃型減勢工（インパクトボックス）やスロットグレーチング式減勢工等もある。
(5) 越流堰	越流堰の形状はハロルド曲線を用いた標準型越流堰が一般的であるが、小規模なものでは施工性を考慮して、1/4 円弧堰などの簡易越流堰とすることもある。
(6) ラビリンス堰	堰軸をジグザグにして長くすることで水路単位長さ当たりの越流水頭を小さくし、あるいは、一定越流水頭のもとでは水路長を短くできる利点がある。
(7) 水面追跡計算	水面追跡計算は水理的規定点（コントロールポイント）を特定し、常流水路では下流から上流へ、射流水路では上流から下流へ向かって計算する。
(8) フルード数	流れの慣性力と重力の比を表す値。流れの状態を判定する重要な指標である。フルード数 (Froude number) $Fr=V/(gd)^{1/2}$
(9) 常流・射流	フルード数を指標として、 $Fr<1$ で常流、 $Fr=1$ で限界流、 $Fr>1$ で射流で表される。
(10) 跳水	流れが射流から常流に変わるとき水面が不連続に変化すること。
(11) 構造計算	洪水吐水路の構造は所定の土圧、水圧、揚圧力（浮力）及び地震荷重や上載荷重などに対して安定でなければならない。
(12) コンタクトクレイ	土質材料と基礎岩盤面あるいはコンクリート構造物面が接する箇所において密着性をより高めるために使用する粘土質材料をいう。境界面からの漏水を防止する遮水材料である。

5. 本手引の「取水施設と緊急放流施設」に関する用語の定義や注意事項	
(1) 取水施設	かんがい用水に必要な流量をため池から取水するための施設。
(2) 緊急放流工	緊急放流量及び工事中の洪水量を安全に放流することのできる施設。
(3) 温水取水	水田補給水の冷水障害等を軽減するため、貯水池の表層に形成される温水躍層から取水すること。
(4) 選択取水	取水口が複数設けられており、任意の水深から取水すること。
(5) 斜樋	地山又は底樋に近い堤体盛土上に傾斜して設置された取水施設。
(6) 取水塔	コンクリート製又は鋼製のタワー型取水工。
(7) 底樋	池底の水を取水するための施設。
(8) 不等沈下	土質性状の異なった地盤上に構造物を設置した場合に起きる沈下現象。盛土の締固めが不十分であったり、地盤の厚さが不均一であること等にも起因する。
(9) 底樋止水壁	底樋外周面に沿った土粒子の流出を防ぐために設けるコンクリート壁。
(10) 緊急降下水位	堤体に変状が発生した場合や地震発生直後に堤体保全を目的として維持すべき水位。
(11) ため池栓	ため池の取水施設に設置される栓状の閉塞装置。貯水時には閉塞して水を蓄え、放流時には栓を開けることで所要の水量を下流に供給する。
(12) フロート式	水面に浮かぶ浮体（フロート）に取水口を設置し、水位変動に追従して常に表層水から取水を行う方式。温水取水が可能である。
(13) ゲート式(単軸型)	1本の操作軸により複数のゲートを開閉する方式である。ゲートの開閉で取水量を制御する方式。
(14) ゲート式(多軸型)	複数のゲートを、ゲートごとに1本の操作軸で個別に開閉する方式である。各ゲートが独立して作動するため、いずれかの操作軸またはゲートが故障しても、他のゲートで取水機能を維持できる。
(15) 土砂吐ゲート	底樋の入口に設置するゲートである。 貯水中に堆積した土砂の排出やため池の水を完全に抜くときに使用する。
(16) 導(胴)樋管	斜樋と底樋が離れた位置にある場合にこれらを接続する管。
(17) 柔構造	地盤変形に追従できる可とう性を持つ構造である。剛構造より変形適応性に優れ、不同沈下による破損を防止できる。

6. 本手引の「施工」に関する用語の定義や注意事項	
(1) 施工計画	所定の期間内に、設計条件を満足する構造物を経済的、かつ安全に建設することを目的とする。自然条件に加え、工事的社会的条件等多岐にわたる事項を考慮し計画を立案する。
(2) 自然的条件	ため池周辺・洪水吐・材料採取地・建設発生土受入地・ストックヤード・工事用道路の地形、地質。雨量・降雨日数・気温・降雪・水利用の状況等の気象・水文。動植物の生態系など。
(3) 工事的条件	堤体材料の粒度・含水比・密度等の材料の性質と賦存する量等。施工機械・仮設備等の施工設備。仮排水路・洪水吐・工事用道路等の付属構造物など。
(4) 社会的条件	騒音・振動・夜間工事・自然保護・環境保全等の工事環境。用地補償・地域の慣習等の社会環境など。
(5) 工事用道路	ため池工事を進めるうえで必要となる仮設道路の総称で、工事用車両の通行を確保（工事用資機材・土砂等の搬入出および施工機械による作業）するために新設する工事用進入路、堤内工事用道路、堤外工事用道路等を含む。計画に当たっては、地形、作業手順、施工機械の種類等を総合的に考慮する。
(6) 排水処理	工事区域外に排出される排水水質や処分するケーキ等が基準を満たすようにすること。
(7) 浚渫	ため池の底に溜まった泥土（堆積泥土）を取り除くこと。貯水容量の回復と水質改善を目的とする。
(8) 刃金土	透水性が非常に低い粘性土で、堤体及び基礎地盤からの漏水を防止する役割を果たす。
(9) 釜場	施工時に湧水や雨水を一時的に集水する仮設施設。 排水ポンプを設置するための施設でもある。
(10) 湧水	地下水が地表面に自然に流出する現象。堤体施工時の品質確保や完成後の安定性に影響するため、湧水処理と排水対策が重要な検討項目となる。

7. 本手引の「耐震設計」に関する用語の定義や注意事項	
(1) 液状化	飽和した砂質地盤が、地震動による間隙水圧の急激な上昇により、せん断強度を失うこと。
(2) 応答スペクトル ①加速度応答スペクトル ②速度応答スペクトル ③変位応答スペクトル	特定の地震動時刻歴を受ける、任意の固有周期と減衰率をもつ1自由度振動系の最大応答値を定義したグラフ。通常減衰率を一定として固有周期に対して最大応答値をプロットする。対象とする応答値が加速度か、変位かによって①加速度応答スペクトル、②速度応答スペクトル、③変位応答スペクトルがある。
(3) 慣性力	地震動により物体の質量に比例して生じる力で、その大きさは質量に地震加速度を乗じて得られるものである。(地震慣性力)
(4) 許容応力度	許容応力度法において、構造物の安全性を確保するために設定される部材断面に発生する応力度の許容値である。
(5) 許容応力度法	部材は弾性変形をするという仮定に基づき、弾性理論によって算定された部材の応力度が許容応力度以下であることを検証して部材の安全を確かめる設計法である。
(6) 固有周期	どのような構造物も質量と剛性（たわみ性）を有している。この二つと支持条件から力学的に定まる、固有振動型（(13)振動モード参照）と、これに対応する振動周期（単位は時間）とが定義できる。この振動周期のことを言う。一般には無数の振動型と固有周期が定義されるが、周期の大きさ順に整理され（次数という）、現実の応答に支配的なのは通常次数の低いものである。
(7) 地震応答	地震力に起因した構造物系のあらゆる部分における変位、速度、加速度、応力、断面力等の物理量。
(8) 地震荷重	耐震計算法において用いられる工学的に評価された地震力。地震力とは、物体の重量に設計水平震度を乗じた慣性力、土圧、水圧等の総称。
(9) 地震動	地震によって引き起こされる波動（地震波）の伝播により、地表若しくは地中に発生した揺れをいう。
(10) 沖積層	第四紀沖積世（完新世）に形成された新しい地層で、礫、砂、泥、泥炭などで構成される未固結の地層。
(11) 地盤種別	地盤の振動特性に応じて、工学的に評価された地盤の種別。地盤の基本固有周期により I、II、III 種に分類される。
(12) 震度法 （固有周期を考慮しない設計水平震度を用いる）	設計水平震度を用いる一般の耐震設計法。震度とは、構造物に作用する地震力を表す等価な静的力を想定する時、これを構造物自重で除した値。

(13) 振動モード	(6)固有周期に記載のとおり、ある固有周期で振動する構造物には特定の振動形が対応する。その振動形（変位分布）をいう。現実の応答に及ぼすモードの支配率は振動次数による。
(14) 静的解析法	震度法等に採用されているように、本来は動的な地震力を静的な外力に変換して静力学的に解析する計算法。
(15) 設計水平震度	震度法では構造物重心に危険側水平方向に地震慣性力を作用させるが、構造物には自重が下方に作用している。この慣性力と自重の比のことをいう。
(16) 耐震性能	構造物に要求される耐震設計の目標とする性能であり、施設の重要度により「健全性を損なわない」、「致命的な損傷を防止する」、「限定された損傷にとどめる」のいずれかの性能を設定する。
(17) 耐震設計上の地盤面	構造物や土の質量に起因する地震慣性力をその面より上方では考慮し、下方では考慮しないとして定めた地盤面。
(18) 耐震設計上の基盤面	対象地点共通する広がりを持ち、耐震設計上振動するとみなす地盤の下に存在する十分堅固な地盤の上面。工学的基盤面。
(19) 地表面	地盤種別等を求める際に考慮する地盤表面。
(20) 動的解析法	構造物、地盤を動力学的にモデル化し、解析する計算法。
(21) 有限要素法	骨組み構造や連続体の構造解析に用いられる数値解析法のひとつで、全体系を節点を介する要素に分解する。節点により全体が連続・連携していることを用いて力学構成方程式を組立て、この方程式を解く方法。
(22) レベル 1 地震動	施設の供用期間内に 1～2 回発生する確率の地震動。
(23) レベル 2 地震動	発生確率は低いが地震動強さの大きな地震動。その発生要因により以下の 2 種類がある。 (a) タイプⅠ地震動 発生頻度が低いプレート境界型の地震で、大きな振幅が長時間繰返して作用するものである。代表的なものに大正 12 年の関東地震（マグニチュード 8.2 ともいわれる）がある。 (b) タイプⅡ地震動 発生頻度が極めて低い内陸直下型の地震で、継続時間は短いが極めて大きな強度を有するものである。代表的なものに平成 7 年の兵庫県南部地震（マグニチュード 7.2）がある。

(24) 液性限界	土が塑性状から液体状に変化する境界の含水比。土の分類や盛土材料の適性判定に用いられる基本的な土質定数。 塑性状態（ねばる固体）→液体的に流れる状態に変わる境界の含水比。
(25) 塑性限界	土が塑性状から半固体状に変化する境界の含水比。土は塑性限界付近で最も良く締固まる。 半固体状態（ボロボロ）→塑性状態（ねばって成形できる）に変わるときの含水比。
(26) 塑性指数（IP）	液性限界と塑性限界の差。 塑性指数 $IP = \text{液性限界 } w_L (\%) - \text{塑性限界 } w_P (\%)$ より算出する。 IP 値が大きい：粘性が強く、圧密しやすい。 IP 値が小さい：砂質に近く、締固めしやすい。
(27) ALID	液状化に伴う地盤や構造物の変形を簡易に解析する手法。液状化に伴って発生する過剰間隙水圧の消散による沈下とあわせて、地盤が元の形に戻らず形状変化が残る度合い(残留変形量)を求めることができる。

参考資料 2

チェックリスト

ため池実施設計 チェックリスト (案)

受託コンサルタント：						
業 務 名：						
区分	項目	チェックの内容	受託者	発注者	確認資料(報告書等)など	摘要
1.共 通	・業務の目的、内容	・事業計画及び現況と整合がとれているか。	☐	☐		
	・基準関係との整合	・設計基準、標準設計等の適用に誤りがないか。	☐	☐		
	・根拠出典	・報告書内に出典根拠の名称・ページが記入されているか。 ・計算過程が確認できる成果品になっているか。	☐	☐		
	・測量成果と現地との整合	・必要に際し現地で確認。	☐	☐		
	・測量エリア	・既設水路取付、仮設用地（工事用道路、施工ヤード、土取場）等のエリアについて検討されているか。	☐	☐		
	・現況の標高等	・主要位置（洪水吐クレスト、取付水路高等）の現況標高が測定されているか。	☐	☐		
	・池内堆積土砂量	・施工範囲の堆砂状況を確認。	☐	☐		
	・土取場の仕上げ形状	・法面、排水処理、仕上げ形状等が適切に計画されているか。	☐	☐		
	・補償物件	・支障物件(地下埋設物等)の状況及びその処理方針を把握しているか。	☐	☐		
	・汚濁防止等の対策	・沈砂池等の汚濁防止施設は検討されているか。	☐	☐		
	・環境調査	・環境チェックリストは確認したか。 ・周辺の環境状況（史跡、埋蔵文化財、生態系保全、景観等）を考慮した設計とされているか。 ・環境情報協議会において説明した対策が設計に反映されているか。	☐	☐		
	・対外協議	・河川協議等、対外協議事項と内容を確認しているか。	☐	☐		
	・用地買収	・堤体、構造物に必要な用地買収範囲が確認されているか。 ・地権者との合意形成がなされているか。	☐	☐		
2.調 査	・地域指定	・地域指定(保安林等)を図面等で確認。	☐	☐		
	・ボーリング調査	・堤体最大断面の中央及び上下流1箇所、両袖部、洪水吐、腰ブロックなど、必要箇所で行われているか。	☐	☐		
	・ボーリング深度・打ち止め	・「表-2.1.3.2 標準的なボーリング深度と打ち止め基準」に準じているか。	☐	☐		ため池の手引 表-2.1.3.2
	・ボーリング透水試験	・透水試験はバッカー法を基本とするが、土質によりケーシング法も考慮する。	☐	☐		ため池の手引 2.1.3(1)d.(b)
	・土質試験項目	・ため池の手引に基づき、必要な試験が行われ、適切に評価されているか。	☐	☐		ため池の手引 表-2.2.1～表-2.2.6
	・現況堤体の評価	・土質等、現況堤体の評価が適切に行われているか。 三軸圧縮試験における側圧は適切に設定されているか。	☐	☐		ため池の手引 2.2(3)a.(b)

区分	項目	チェックの内容	受託者	発注者	確認資料(報告書)など	摘要
2.調査	・築堤用土の賦存量	・十分な土量(2～3倍程度)が確保されているか。	☐	☐		
	・透水性材料(透水材料、ランダム材共にH27年5月改訂設計指針「ため池」より設計密度D95%必要。)	・透水材料含水比が飽透含水比以上、D値95%の透水係数 $K=1 \times 10^{-5}$ cm/s以下が確認されているか。	☐	☐		ため池の手引 2.2(4)
3.必要水量の確認	・受益範囲	・受益範囲・面積が確認されているか。	☐	☐		
	・貯水量	・必要貯水量が確保されているか地元確認等により確認されているか。	☐	☐		
4.要改修の判定	・要改修の判定	- 改修の必要性を判断し、ため池の安全性が損なわれる原因が整理されているか。 ① 堤体等からの漏水 ② 堤体のクラックおよび変形 ③ 堤体の余裕高不足 ④ 堤体断面形の変状 ⑤ 高い浸潤線位置 ⑥ 洪水吐の機能低下または通水断面不足 ⑦ 取水施設の機能低下 ⑧ 安全管理施設の機能低下または不備	☐	☐		ため池の手引 1.6
5.基礎地盤の設定	・管理者からの聴き取り	・地元管理者(構通者等)からの聴き取り結果が反映されているか。	☐	☐		
	・基礎地盤の設定	・測量、地質調査結果をもとに決定されているか。 (最低水位LWLは10cm、基礎地盤高10cm単位表示。)	☐	☐		ため池の手引 表-1.7.1
	・LWLの設定	・現況底層高を確認し、LWLを適切に決定しているか。	☐	☐		
6.改修工法の決定	・改修工法の決定	- 工法選定は適切か。 - 傾斜透水ローション型が、ため池改修工事においては、もっとも一般的な改修工法。 - 堤体グラウト工法や透水シート工法を採用する場合には、採用理由が明確にされているか。	☐	☐		
	・地質調査結果との整合	・ボーリング結果、地質の特性等が設計へ反映されているか。	☐	☐		
7.常時満水位(FWL)の決定	・常時満水位(FWL)の決定	- 必要貯水量と池周辺地形を勘案し、総合的に決定されているか。 - 現況洪水吐水路標高、水路底高より地元確認の上決定しているか。	☐	☐		
	・設計洪水流量 洪水吐	- 降雨強度式、雨量数値の適用は適切か。 - 雨量数値は最新の値を採用しているか。(県資与資料) - 降雨強度式は、「久野・石黒式」とされているか。 - 設計流量算定における貯水面の洪水到達時間係数Cが、市街地と同様のC=70とされているか。 - A・B・C項流量の内、最も大きい流量の1.2倍とされているか。 - A項流量：200年確率洪水流量 - B項流量：洪水痕跡から推定される既往最大洪水流量 - C項流量：既往最大降雨から求められる洪水流量	☐	☐		ため池の手引 3.2.4
8.設計洪水流量の決定	・設計洪水流量 洪水吐	- 貯留効果の検討及び算定は妥当か。 - 流域面積／貯水面積≦30の場合、貯留効果を考慮。 - 貯留効果算定に当たってのため池流入量は、各時間で求められた流量を20%割増した数値とする。 - 貯留効果を考慮する場合、流域面積に貯水面積を含めているか。	☐	☐		ため池の手引 3.2.5
			☐	☐		ため池の手引 3.2.5

区分	項目	チェックの内容	受託者	発注者	確認資料(報告書頁)など	摘要
8.設計洪水流量の決定	・減勢工	100年確率洪水流量とされているか。 - 貯留効果を考慮する池では、減勢工設計においても貯留効果を考慮する。 - 設計洪水流量においても減勢工設計流量(100年確率)で決定した断面について設計洪水流量を流下させ側壁高を越えないことを確認する。	☐	☐		ため池の手引 3.4.3(5)
	・底樋工	- 対象流量は、原則、工事期間中の1/10確率洪水流量とする。 - 工事期間に隔わず10年確率洪水流量(非かんがい期)により洪水流量を決定しようとする場合は、工事期間中の洪水対策を想定した施工計画を設計段階から具体的に検討する。	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(4)
	・設計洪水位(HWL)の決定	最小越流水深(山地等40cm)および最小越流幅(改修前既設幅かつ1.0m)が適切に決定されているか。	☐	☐		ため池の手引 3.4.3(2)
	・洪水吐	越流水深および越流幅が適切に決定されているか。	☐	☐		ため池の手引 3.4.3(3)
9.堤体の概略計画		- 堤軸は①②を満足し適切に計画されているか。 ①貯水量の減少を少なくする(上流側)、②用地的制約を満足する(下流側) - 洪水吐越流部工事費と堤体工事費の工事費について比較検討されているか。	☐	☐		ため池の手引 3.3.4(3)
	10.堤体諸元の検討	- 堤体諸元 - 堤高の決定	☐	☐		ため池の手引 3.3.4
11.堤体断面の決定	・堤体断面	- 堤体断面は適切な。 - 標準寸法表の比例按分(勾配は1分、寸法は0.1m単位で行い、安全側に切り上げる)を行い決定する。 - 標準寸法表の値を比例按分した値により安定計算を行い安全率1.2を確認しているか。	☐	☐		ため池の手引 3.3.4(6)
	・堤頂幅	$B=0.2H+2.0$ かつ $B \geq 3.0m$とされているか。	☐	☐		ため池の手引 3.3.4(6)
	・堤体の安定計算	- レベル1地震動を考慮し、安全率が1.2以上確保されているか。 - 安定計算の設計数値は適切か。(設計震度や土質定数など。) - 設計震度が山口県 弱震帯地域($K_h=0.12$)とされているか。 - 有効耐力で計算されているか。 - 設計強度定数はゾーン毎に設定されているか。 - 土質定数の決定根拠が適切か。(三軸圧縮試験CUバー試験値など。)	☐	☐		ため池の手引 3.3.4(8)
		安定計算に邊潤線が考慮されているか。 $k2/k1 < 100$の場合は、均一型と考える。 (均一型はフィラデルP. II-60) $k1$: 透水性ゾーンの透水係数($1 \times 10^{-5} \text{cm/s}$以下) $k2$: ラグド層の透水係数($1 \times 10^{-5} \sim 1 \times 10^{-3} \text{cm/s}$程度) 土質試験値をそのまま採用せず、全体の土質状況を勘案の上適切な設計数値となるよう留意のこと。	☐	☐		ため池の手引 3.3.4(7)
	・浸透量	堤体からの浸透量が、許容浸透量(堤長100m当たり60ℓ/min)以下となっているか。	☐	☐		ため池の手引 3.3.4(7)

区分	項目	チェックの内容	受託者	発注者	確認資料(報告書頁)など	摘要
11.堤体断面の決定	・重要度区分	・重要度区分は正しく設定されているか。(山口県は、原則としてA種)	☐	☐		ため池の手引 1.4、1.8、3.7.1
	・液状化の検討	・液状化の検討がされているか。 レベル1地震動による堤体・地盤の液状化の判定がFL値法により実施されているか。 ・地震により液状化する場合には、静的変形解析 (ALD) により変位量を求め、許容沈下量以下であることを確認しているか。	☐	☐		ため池の手引 3.8.1
	・ドレーン	・堤体下流法面に適切に配置された法先ドレーンが設置されているか。(堤高が高い場合や下流下がり地形では、堤体裏側線の底下工法として立上りドレーンも有効。) ・「ため池整備」P.113に例示されているフィルターについては、浸透破壊を助長するおそれがあることから、本手引では当該フィルター層は設けない。 ・ドレーン形式の検討がされているか。 ・フィルタ材の条件 フィルタ則を満足しているか。(RC材(再生材)は使用しないこと) F15/B85<5、F15/B15>5 C-40(新材)を基本とし、フィルタ則を満足しない場合は、他材料について検討のこと。	☐	☐		ため池の手引 3.3.4(9)
	・余裕高	・波の打ち上げ高の算出は適切か。(図表より5cm単位で算出)	☐	☐		ため池の手引 3.3.4(9)
12.基礎処理の設計	・腰ブロック	・安定計算が行われているか。 親子ため池(重ねため池)の場合、下流の水位も考慮する。	☐	☐		ため池の手引 3.3.4(9)
	・上流法面保護	・1/2貯水位から(設計決水位+波の打上げ高さ)まで法面保護工が計画されているか。 ・工法選定に係る比較検討資料が作成されているか。(経済性のみで決定しない) ※原則、防災型の製品を用いる。	☐	☐		ため池の手引 3.3.5
	・基礎地盤	・コンクリートブロック工の場合、基礎形状・断面は適切か。 参考：ため池法面保護工における「コンクリートブロック張り」の標準断面について(通知) ・基礎地盤の透水係数が確認されているか。 透水係数 $(K) \leq 1.0 \times 10^{-4}$ (cm/s) が望ましい。 ・基礎地盤の支持力が確認されているか。 コンクリート入抵抗 $(q_c) \geq 500 \text{ kN/m}^2$ 程度。 ・基礎地盤の支持力が確保されない場合、地盤改良が検討されているか。 改良材の必要強度(室内試験強度、現場強度)が適切に設定されているか。 ・地盤改良による荷重分散角度は30°とする。(ただし、改良体端部の外側原地盤への荷重分散は生じない。)	☐	☐		ため池の手引 3.3.4(1)
			☐	☐		ため池の手引 3.3.4(1)
			☐	☐		ため池の手引 3.3.4(1)
			☐	☐		設計基準「水路工」 P.308 道路土工加ハート工 指針P.40 ため池の手引 3.9.1(3)
			☐	☐		ため池の手引 3.3.4
	・表土はぎ取り	・旧堤体表土の剥取り部分は捨土の計画とされているか。 ・段切りの数量は計上しているか。	☐	☐		
			☐	☐		
			☐	☐		
13.土工計画			☐	☐		

区分	項目	チェックの内容	受託者	発注者	確認資料(報告書頁)など	摘要
13.土工計画	• 流用計画	旧堤体の掘削土は流用可能か。	☐	☐		
	• 底樋部の掘削	- 土の変化率は適切か。 - 掘削高が5mを超える場合は小段が設置してあるか。 - 掘削幅は、施工機械・仮排水スペースを考慮しているか。	☐	☐		ため池の手引 5.2.3
	• 位置	できるだけ地山に設置するか、堤体に影響しない位置とされているか。	☐	☐		ため池の手引 図-3.5.3.3 図-3.5.3.4
14.洪水吐の設計	• 設計（構造）	- 掘削線が埋め戻し後、表面より上段に残った場合、法面勾配は自立勾配となっているか。(1:1.0～) - 基礎地盤の支持力が確認されているか。	☐	☐		
		越流堰の位置は適切か。	☐	☐		ため池の手引 図-3.4.1.3
		削水路の越流部の止水板は適切（施工可能）に配置されているか。	☐	☐		
		減勢工形式の比較選定が行われているか。	☐	☐		
		流入部カットオフの設置は適切か。	☐	☐		ため池の手引 図-3.4.1.1
		管理橋のクリアランスは適切か。	☐	☐		ため池の手引 図-3.4.3.30
		削壁裏勾配は 1:0.1 になっているか。	☐	☐		ため池の手引 図-3.4.1.0
		下流水路への取り付けは十分か。	☐	☐		ため池の手引 3.4.3(5)(c)※6
		放水路のドレーン設置位置は適切か。	☐	☐		ため池の手引 3.4.4(2)c 図-3.4.1.9
		伸縮・収縮継目は適切に配置されているか。形状は正しいか。	☐	☐		ため池の手引 図-3.4.1.4 図-3.4.1.5
		止水板の配置は適切か。 (1)カット厚200mm以下の場合 w=150～230mm (2)カット厚200～300mmの場合 w=200～250mm (3)カット厚300～400mmの場合 w=230～300mm (4)カット厚400mm以上の場合 w=300mm以上 ・止水板と鉄筋は干渉していないか。	☐	☐		ため池の手引 図-3.4.1.5 図-3.4.1.6 表-3.4.4.8
		ダウエルバーの配置は適切か。 20～50cm間隔に干鳥配置とする。 軸方向鉄筋 D13mm以下の場合 D16mm L=1000mm 軸方向鉄筋 D16,19mmの場合 D19mm L=1000mm 軸方向鉄筋 D22mm以上の場合 D25mm L=1000mm	☐	☐		
		配筋は最小鉄筋量以上となっているか。 【主鉄筋】 最小鉄筋量 500mm2/m以上(D13@250mm) 【配力筋】 主鉄筋の1/6以上、かつ 500mm2/m以上(D13@250mm)	☐	☐		ため池の手引 3.4.4(4) e
			☐	☐		ため池の手引 3.4.4(3)c

区分	項目	チェックの内容	受託者	発注者	確認資料(報告書頁)など	摘要
14.洪水吐の設計	・設計（構造）	配筋計画、鉄筋の各種数値（許容引張応力度、定着長など）は適切か。 ▶水に接する部材：流入部（接近水路、調整部、移行部（堤内水位の影響を受ける区間）） ▶一般の部材：上記区間より下流側 ・D295ABと同一とする（たわみ、ひび割れの検討を行わない。） 「一般の部材の場合」 $\sigma_{sa}=176\text{N/mm}^2$ 「水に接する部材の場合」 $\sigma_{sa}=157\text{N/mm}^2$ ・構造計算に当たっては、必要に応じて流速による鉄筋かぶりの割増しを考慮しているか。 ・配筋計画が一覧表で示されているか。 ・配筋図、加工図と整合しているか。 ・鉄筋の定着長が確保されているか。 $35 \times D$ ・構造計算及び検討ケースは適切か。 検討ケースⅠ～Ⅵについて実施。 ・浮力の検討が行われているか。（ $F_s>1.2$ ） 設計洪水位、常時満水位、壁高の1/2など地下水位を適切に設定すること。 ・腐土が生じる箇所について安定した構造となっているか。 ・「コンクリート構造物品質確保ガイド」による品質確保及びひび割れ抑制対策の検討がされているか。 ・ポンプ打設を考慮する場合、側壁の最小幅は300mm以上とする。 鉄筋は農林基盤にしたがい、主筋を外、配力筋を内側とする。 ※側壁+底版 $>1.5\text{m}$ の場合、打設ポンプのホース外径 $\geq 120\text{mm}$ が入ること。 ・底版にハンチは設置しない。 ・接近水路の流速は 4m/s 以下となっているか。 ・放水路の余裕高は適切か。 平面線形は直線が望ましい。 ・静水池側壁高は適切か。 ・洪水吐の余裕高、側壁高、管理橋下のクリアランスは適切か。	☐	☐		ため池の手引 3.4.4.(3)c
			☐	☐		ため池の手引 3.4.4(3)c 3.4.4(3)d
			☐	☐		
			☐	☐		設計基準「水路工」 P.359
			☐	☐		ため池の手引 3.4.4(2)c
			☐	☐		ため池の手引 3.4.4(3)c
			☐	☐		
			☐	☐		ため池の手引 3.4.4(4)f
			☐	☐		ため池の手引 3.4.4(4)f
			☐	☐		ため池の手引 3.4.3(1)
			☐	☐		ため池の手引 3.4.3(6)
			☐	☐		ため池の手引 3.4.3(6)
			☐	☐		ため池の手引 3.4.3(6)
			☐	☐		ため池の手引 3.4.3(6)

区分	項目	チェックの内容	受託者	発注者	確認資料(報告書頁)など	摘要
15.取水施設的设计	・斜樋	・従前の取水孔位置、取水孔径についても十分考慮し、必要な取水量が確保されているか。	☐	☐		ため池の手引 3.5.2(4)
		・斜樋の位置は、やむを得ない場合を除き、地山に設けることを原則とする。	☐	☐		ため池の手引 3.5.2(1)
		・計画用水量の算出が適切に行われているか。	☐	☐		ため池の手引 3.5.2(4)
		・取水孔の孔径、間隔は適切か。(取水孔位置は管理者に確認のこと)	☐	☐		ため池の手引 3.5.2(3) 3.5.2(4)
		・斜樋形式(ゲート、ため池栓)の選定が行われているか。	☐	☐		
	・導(胴)水管 ・底樋	・緊急放流施設を兼ねる斜樋管径は、緊急放流量と計画取水量を比較し、大なる値で設計されているか。	☐	☐		ため池の手引 3.6.4
		・空気孔の孔径は適切か。	☐	☐		ため池の手引 3.5.2(6)
		・斜樋管は、原則としてSUS管を鉄筋コンクリートで補強巻立てした構造とする。	☐	☐		ため池の手引 3.5.2(5)b
		・管径は計画取水量以上の流下能力となっているか。(最小口径φ800)	☐	☐		ため池の手引 3.5.2(5)d
		・構造はプレキャスト底樋管とされているか。	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(7)a
		・現場打構造とする場合、巻立てコンクリートの断面形状及び継手構造は適切か。	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(7)b
		・基盤内(地山)に設置されているか。	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(3)
		・基礎地盤の支持力が確認されているか。(底樋工、土砂吐部、導流部)	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(6)b
		・十分な支持が期待できない場合には置換、地盤改良等の計画がされているか。	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(6)b
		・支持力の検討ケースは、「①完成時2ケース、②施工時2ケース」を標準とする。	☐	☐		ため池の手引 図-3.5.3.5 ～図-3.5.3.8
		・計画取水量、緊急放流量及び工事期間中の洪水流量を流下し得る断面とし、維持管理を考慮して、管径はφ800mm以上となっているか。	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(4)
		・構造計算を行っているか。 地震時の検討は応答変位法(レベル1地震動)で行われているか。	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(9)
		・開削工法と推進工の比較検討を行っているか。 8～10m以上で検討。	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(5) 3.5.3(12)
		・旧底樋の処理が計画されているか。	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(13)
		・止水壁の設置位置及び施工方法は適切か。(刃金部に入れない)	☐	☐		ため池の手引 3.5.3(7)c
		・土砂吐枡と底樋の接続部に差し筋、水膨張バックリン、受け台が設置されているか。	☐	☐		ため池の手引 図-3.5.3.11 図-3.5.3.20
	・緊急放流工	・緊急時下の目標水位は適切か。 「常時満水位ー2.0m」と「常時満水位ー(貯水深×1/3)」を比較し、いずれが高い水位とする。	☐	☐		ため池の手引 3.6.1
		・水没深Haが見込まれているか。	☐	☐		ため池の手引 3.6.4

区分	項目	チェックの内容	受託者	発注者	確認資料(報告書頁)など	摘要
16.安全施設の設計	・階段工	・蹴上げ高、幅は適切か。 H=0.15~0.20m、路面$\geq$0.30m、幅=0.60m程度。(階段工の路面部にため池枠を設置する場合の幅は1.0m程度。) ・手摺が計画されているか。 上流：SUS304 40Aを標準とする。 下流：SS400 40Aを標準とする。	☐	☐		ため池の手引 図-3.2.10
	・安全施設工	・堤長部、洪水吐部、取水施設部等において、必要な安全施設が十分に計画されているか。 ・安全施設の設置箇所や構造については、管理者との協議結果が反映されているか。 ・防護柵はコンクリート独立基礎構造とし、原則として風波高以上に設置する。やむを得ず、支柱等の設置高さが風波高以下となる場合は、少なくとも遮水ラインに干渉しないように計画する。	☐	☐		ため池の手引 3.5.2(6)b
			☐	☐		ため池の手引 3.3.5
			☐	☐		
17.仮設計画	・仮設計画	・適切な仮設計画、施工順序が検討されているか。 ・仮設計画が工程表(出水期等)と整合が取れているか。	☐	☐		ため池の手引 3.10.3(3)
	・仮締切工	・締切高は、HWL又はLWL+0.3mとされているか。	☐	☐		ため池の手引 3.10.3(4)
	・水替工	・施工可能なスペースが確保されているか。 ・ポンプの規格、配置は適切か。	☐	☐		
	・工事用道路	・配置計画の検討がされているか。 ・工事完了後の処理方針が確認されているか。(存置、撤去)	☐	☐		
	・概算事業費	・概算事業費が適切に算出されているか。 ・ゲート設備の概算額は適切か。	☐	☐		
			☐	☐		
19.その他	・図面関係	・施設関係図面と土工(コンクリート構造物)図面との整合が取れているか。 ・トレンチ掘削平面図が作成されているか。(特に、両袖部の地山への挿入が、施工者がわかりやすいように表現されているか。) ・事業計画書に記載されている環境配慮について考慮されているか。 ・仮排水路の下流側に沈砂池は計画されているか。	☐	☐		ため池の手引 図-3.3.4.19 図-3.3.4.20
			☐	☐		
			☐	☐		

参考資料 3

質疑応答

3. 質疑応答

事 項	質 疑	回 答
制度	ため池等整備事業（一般）において、堤体の改修に当たって貯水量が減少する場合は、浚渫等を行って良いか。	ため池整備において、地形的制約、経済比較を行った結果、堤体下流部の工事が困難で、堤体上流部で補強工事を行った方が有利な場合に扱うものとする。 ため池整備に伴う貯水量減少分、又は現時点でのため池としての機能を果たす上で必要となる量のいずれか少ない量を上限として、 a 堤体のかさ上げ b 池敷きの掘削 c ため池周辺の掘削等 のうち最も経済的な工事により、必要な容量等を確保できる。
制度	環境に配慮した設計手法とはどのようなものがあるか。	平成3年8月5日付け3-60「農村環境に配慮した土地改良事業の実施について」及び平成14年2月14日付け13農振第2512号「環境との調和に配慮した農業農村整備事業等基本要綱」に基づいた設計上の工夫等を行う。
制度	管理道路の舗装は実施可能か。	管理上やむを得ない箇所（急勾配による路面洗堀等の予想される箇所等）は実施して良い。
設計	堤体の基礎地盤面の定義を示されたい。	堤体の基礎地盤面は、現況堤体の改修であることから、築堤当時の現地盤面と考えるのが適切である。その推定方法は、3.3.4 堤体の各種設計で記載したので参照されたい。なお、堤体の基礎地盤面は、ため池の基礎となるもので、所要の支持力及び水密性を有しなければならない。 支持力：機械施工が可能なもので、ポータブルコーン貫入試験で得られるコーン貫入抵抗 q_c が 500 kN/m^2 程度のもの。 透水係数：$k \leq 1 \times 10^{-4} \text{ cm/s}$ が望ましい。
設計	基礎地盤が所要の支持を得られない場合、対策は何か。	施工機械の走行可能なコーン貫入抵抗 $q_c = 500 \text{ kN/m}^2$ を目安に改良を行う。改良工法では、置換工、地盤改良工（浅層改良）が一般的である。

設計	傾斜遮水ゾーン型工法の堤高はどの位置で算定するのか。	堤高は、遮水性ゾーン型では「遮水性ゾーン(裏側のライン)が基礎地盤面を切る線の最深部から堤頂までの鉛直距離」(底幅が 10 m 以上の場合は遮水性ゾーン底面から)とする。推定基礎地盤面が下流へ傾斜している場合、遮水性ゾーン裏側との交点標高は最低貯水位(LWL)と一致しないこともあるため、基礎地盤面と水位基準面を混同しないよう留意すること。
設計	堤体の安定計算手法を示されたい。	「設計指針「ため池」P. 38」のフローにより決定する。 留意点は次のとおり。 - i 設計洪水量を決定後に、洪水吐の越流水深から設計洪水位を決定する。 - ii 波浪高算定後、標準寸法表(「設計指針「ため池」P. 50」)を参考に断面形状を仮定する。 堤体断面の寸法決定は、設計指針「ため池」にその参考寸法が表記されている。堤高から比例按分により寸法の決定を行い、安全率 1.2 を満足するか確認する。 満足していればその寸法を堤体断面寸法とする。 - iii 浸潤線を算定する際に、$k_2/k_1 < 10$ の場合は、均一型と考えてよい。k_2 : ランダム部の透水係数、k_1 : 遮水ゾーンの透水係数 なお、この際の安定計算に使用する浸潤線も均一型として行う。
設計	安定計算を行う際に、設計強度常数(C 、 ϕ)の低減は、行うべきか。	三軸圧縮試験は CUbar で行い、有効応力表示となっていることから低減しない。ただし、有効応力表示による強度常数 C' 、 ϕ' を用いることから、安全率算出の際に、すべり面に働く浸透水の間隙圧を考慮すること。

設計	洪水吐放水路の線形等に関する留意点は。	平面線形においては、最大湾曲度は 60° 以下とし、曲線半径は水面幅の 10 倍以上となるように計画すること。やむを得ない場合、水路幅の 3 倍以上とし、水理的な検討を行って湾曲による損失水頭や偏流による側壁の嵩上げ等を考慮する。 なお、射流域における湾曲時の水面変動（上昇高）の算定は、設計基準「ダム」（フィルダム編）P. II-247 に準拠し、余裕高の確保は、水位上昇側で照査を行う。
設計	底樋等の地盤確認手法は。	必要な支持力は、現場の土質状況や標準貫入試験等の結果から判断する。ただし、現場状況によっては、簡易貫入試験等により確認を行う。
設計	ため池堤内における積ブロックの安定計算で、浮力を考慮する際の水位はどれを使用するのか。	原則として設計洪水位（HWL）で実施し、必要に応じて常時満水位（FWL）や緊急放流時も併せて照査する。転倒・滑動は浮力（揚圧力）を見込むほど不利となり、支持力度の照査は浮力を見込まない場合が不利となる傾向に留意する。
積算	試験盛土に係る経費は計上するのか。	共通仮設費の技術管理費に、積上による積算を行い、率に加算する。 積上分は、施工費（掘削＋運搬＋敷均＋締固＋撤去）と試験費（密度試験＋透水試験）とする。 ただし、土取場から採取する土代については諸経費対象外とする。
設計	堤高 15 m 以上のため池も本手引を使用してもよいか。	堤高 15 m 以上のため池については、「設計基準「ダム」」等の諸基準に照らして、遺漏のないよう本手引を活用すること。
設計	底樋管の管種選定について。	底樋管の管種選定は、原則としてプレキャスト（二次製品）を優先し、製品搬入や所要口径等の理由で適用できない場合のみ現場打ちとする。あわせて、堤高や底樋延長、施工ヤード等に応じて非開削の推進工法（刃口推進・セミシールド・小口径推進）も比較検討する。

設計	小規模なため池の底樋の管径も φ800 以上とする必要があるのか。	底樋管径は φ800 以上を確保することが望ましいが、堤高が概ね 5 m 以下の小規模なため池については、現況の底樋断面や施工条件、ため池管理者の意見等から総合的に判断し、φ600 まで管径を縮小できるものとする。（事務連絡「平成 18 年 12 月 8 日ため池の底樋管径について」（通知）参照）												
設計	確率降雨強度式の適用について考え方を示されたい。	確率降雨強度式は、最適式分布図（図-3.2.4.3）に基づき「久野・石黒式」を採用する。貯留効果の検討に用いる降雨強度式も同一とする。算定の手順と具体例は、3.2.4 設計洪水量の算定、および 7.1 設計洪水流量の計算例、7.2 貯留効果の計算例を参照されたい。												
設計	法面保護工張ブロックについて標準断面図を示されたい。	「平 27 農村整備第 605 号」「平成 27 年 7 月 13 日ため池法面保護工における「コンクリートブロック張工」の標準断面図について（通知）を参照すること。 標準断面図 S=1:25 単位：mm 基礎工数量表 10m当り <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>計算式</th><th>数量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート</td><td>$1/2 \times (0.15 + 0.30) \times 0.30 \times 10.0$</td><td>0.68 m³</td></tr> <tr> <td>小型型枠</td><td>$(0.30 + 0.335) \times 10.00$</td><td>6.35 m²</td></tr> <tr> <td>目地材</td><td>$1/2 \times (0.15 + 0.30) \times 0.30 \times 1$ (1箇所当り)</td><td>0.07 m²</td></tr> </tbody> </table> n：ため池の規模（堤高）及び安定計算から決定された法勾配	名称	計算式	数量	コンクリート	$1/2 \times (0.15 + 0.30) \times 0.30 \times 10.0$	0.68 m ³	小型型枠	$(0.30 + 0.335) \times 10.00$	6.35 m ²	目地材	$1/2 \times (0.15 + 0.30) \times 0.30 \times 1$ (1箇所当り)	0.07 m ²
名称	計算式	数量												
コンクリート	$1/2 \times (0.15 + 0.30) \times 0.30 \times 10.0$	0.68 m ³												
小型型枠	$(0.30 + 0.335) \times 10.00$	6.35 m ²												
目地材	$1/2 \times (0.15 + 0.30) \times 0.30 \times 1$ (1箇所当り)	0.07 m ²												
設計	洪水吐の放水路の断面決定方法を示されたい。	移行部の漸縮形状を確保し水理上支障がなければ、最小幅(B=1.0m)まで縮小できるものとする。ただし、放水路天端が堤体下流法面から過度に突出することのない形状とすること。 なお、調整部を水路流入式とした場合は断面を縮小させてはならない。設計指針「ため池」P. 73												

設計	洪水吐の減勢工の設置高さについて	跳水時の水位を検討し、確実な減勢効果を得られるように減勢工の設置高を決定する。 減勢に必要な下流水位が不足するケースが多くみられることから注意が必要である。設計指針「ため池」P. 83
設計	土砂吐柵の内空幅の決定方法について。	支保工の取付作業より最低 1.0 m とし、底樋管や土砂吐ゲートの設置やゲート操作時の貯水位、土砂吐柵内での作業の有無等にも配慮して決定すること。
設計	コンクリート構造物の最小部材厚は。	現場打の複鉄筋の鉄筋コンクリート構造物について、 $H < 1.5$ m の場合：200 mm、 $H \geq 1.5$ m の場合：300 mm とする。（コンクリート構造物品質確保ガイド 2021 令和 3 年 10 月 山口県土木建築部 参照）
設計	取水施設の工種の選定について。	ため池規模や管理状況等、地元要望を踏まえ、スライドゲート（中～大規模で高い止水性と操作性を要する場合）、ため池栓（小規模で簡易操作を重視する場合）を選定する。
設計	取水施設のスライドゲートは 1 軸で取水孔を何孔まで設置可能か。	最大 1 軸 5 孔（ $\phi 100$ ）の事例はあるが、孔径や孔のピッチなどの条件で異なるため、メーカー確認が必要である。なお、1 軸 3 孔までとする事例が多い。
設計	仮設底樋管の管種選定について。	仮設底樋管の管種は、経済性・施工性・耐食性に優れる高密度ポリエチレン管を第一候補とする。高密度ポリエチレン管には内面が波状のシングル管と内面が平滑なダブル管があり、粗度係数が異なるため、必要管径が変わる点に留意して口径を決定する。なお、口径や製品重量によってはトラッククレーンによる据付が必要となるため、搬入動線や敷鉄板等の設置条件を含め、施工ヤードおよび工事用道路の計画と一体で検討すること。
設計	堤体内の仮設道路の高さの決定方法について。	作業期間中の堤防の役割として対象水位（仮排水管口径）+0.3 m 程度確保する。
設計	床掘の際の作業幅について。	床掘幅は、切土高さ、構造物の形式（現場打ち/二次製品、フーチングの有無）、施工方法（素掘り/土留め）、および足場工の要否（ $B=1.2$ m）を総合的に勘案して決定する。詳細な算定は、土木工事数量算出要領（案）に基づき確認すること。

設計	クラッシャランと再生クラッシャランの使い分けについて。	フィルタ機能（腰ブロック及び張ブロック等のフィルタ材等）などの機能が必要な部位には新材クラッシャランを用い、要求性能が比較的低い部位（基礎碎石等）には再生クラッシャランを用いる。なお、再生材を工事用道路の敷砂利に用いる場合、撤去時に土砂（工事用道路盛土）にセメントが混入するため産業廃棄物処理せざるを得ないケースもあり、撤去時の処理費用が高額化しやすい。そのため、撤去を前提とした工事用道路では新材を使用し、存置を前提とした管理用道路等では再生材を使用する。
品質管理	現場透水試験方法は。	地盤工学会基準 JGS 1316 又はこれに準じた立坑法（ピット法）で行うのが原則であるが、その方法が現場の施工に支障をきたす場合においては、簡便かつ確実な方法として従来現場で使用されていた試験方法（ため池整備の手引 P. 119）を使用する。 ただし、その場合、試験盛土又は施工現場において JGS 1316 との値の相関性を確認しておくことが重要である。 参考文献） 設計基準「ダム」（共通編）P. I -134 設計指針「ため池」P. 16 地盤調査の方法と解説（社団法人地盤工学会）（平成 25 年 3 月）P. 512
制度	防護柵の実施範囲を示されたい。	ため池への転落防止及び立入り防止のために、必要に応じて、堤頂部や洪水吐部等に防護柵等の安全施設を設置する。安全施設の構造及び設置位置は、安全性、周辺環境との調和及び維持管理面に配慮して決定する。 計画に当たっては、水利関係者の意向を踏まえた上で実施範囲を決定すること。
積算	土代を工事に含める場合において、土代は諸経费率対象となるのか。	県が土地所有者と協議調整し、土取場として確保している（請負業者が自ら土取場を確保する必要がない）場合においては諸経費の対象としない。 単価は土地所有者との協議結果の価格（消費税込み）とする。

積算	土代の積算手法について示されたい。	土代を工事に含める場合においては以下のとおりとする。 ・土代は1.1で割り戻した金額を計上（諸経費対象外）する。 ・土量については土量換算係数を考慮した数量とし、ロスは見込まない。 ・ため池用土に係る積算の取扱いは特記仕様書に明記し、請負業者へ周知することとする。
積算	盛土の品質管理に係る費用は別途計上してよいか。	山口県の品質管理は国の管理基準以上の頻度となっているが、品質管理費用について別途加算を行わない。ただし、県の品質管理基準以上の管理については積上げにより計上する。
積算	段切りにかかる費用の計上方法を示されたい。	段切りは「その他の経費」には算入せず、直接工事費に計上する。段切りの施工は機械掘削とし、法面整形および基面整正は別途計上しない。 なお、底樋の開削断面は標準断面に準じて計画し、段切りは設けない。また、盛土材との密着性向上を目的としたかき起こし作業は「その他の経費」に含める。
設計	底樋及び洪水吐の鉄筋の許容引張応力度は、「一般の部材の場合」を使用するのか、「水に接する部材の場合」を使用するのか。	以下のとおり取扱う。 ・水に接する部材：洪水吐流入部（接近水路、調整部、移行部（堤内水位の影響を受ける区間）） ：底樋、導（胴）樋、土砂吐枳 ・一般の部材：洪水吐のうち上記区間より下流側
設計	止水壁における遮水性ゾーンと構造物の取扱いについて示されたい。	止水壁は遮水性ゾーンには入れないように計画することとし、止水壁周辺には遮水性材料と同等の置き換え土を施工する。 なお、遮水性材料とコンクリート構造物面が接する箇所においては密着性をより高めるためにコンタクトクレーを使用する。
設計	土砂吐ゲート断面の選定について示されたい。	土砂吐ゲート断面は底樋管径に対応するものを標準とする。

設計	取水孔と緊急放流孔を兼用する場合の手順を示されたい。	3.6.3 放流孔の位置及び構造 に手順を記載したので、参照されたい。なお、取水孔と兼用する場合は、通常時の過取水リスクがあるため、水利慣行と運用実態を踏まえ、地元（ため池管理者）の判断を得て採否を決定すること。
設計	堤体と付帯構造物の耐震設計についてはどのように考えているか。	堤体：レベル1地震動に対し、震度法で全体安定を照査する（設計指針「ため池」P.54）。 液状化の可能性が認められる場合（FL 値$\leq$1.0）は、ALID による静的 FEM 解析を追加実施して沈下・変形を評価する。評価結果が許容沈下量以下であれば沈下・変形を考慮しない堤体断面で安定計算を行う。許容沈下量を超える場合は対策工を検討・反映し、許容沈下量以下を確保したのちに堤体の安定計算を行う。 洪水吐工：側水路型洪水吐の流入部等、特に重要な構造物の設計に当たっては、レベル1地震動に対し、震度法で照査する（設計指針「ため池」P.92）。 底樋工：横断方向はレベル1地震動に対し、応答変位法で照査する。縦断方向の検討が必要な場合は、基礎地盤を良好かつ均質とする設計を前提に、弾性床上の梁モデルで解析する（設計指針「耐震設計」P.114 暗渠（ボックスカルバート））。 まとめ：対象構造により計算手法は異なるが、いずれもレベル1地震動に対する照査を基本とする。
設計	ALID の許容沈下量を「堤頂と常時満水位の標高差」と規定しているが、液状化対象土層の厚さが当該差未満であった場合でも、ALID まで実施する必要があるか	本県では静的 FEM 解析（ALID）による検討事例がなく、液状化対象土層の沈下が非液状化土層に与える影響に加え、非液状化土層自体の沈下が総沈下に与える影響も不明確である。このため、当面の間は、液状化対象土層の厚さにかかわらず、FL 値が 1 以下となった場合は ALID を実施し、評価にあたっては、液状化層に起因する沈下と非液状化層に生じる沈下の双方を総沈下として取り扱う方針とする。

設計	小規模ため池整備基準の取扱い如何。	補助事業によりため池改修を行う場合にあっては、小規模ため池整備基準は適用しない。 ただし、単県農山漁村整備事業によりため池改修を行う場合は同基準を適用することも可能とする。 取扱いの詳細については、平成 19 年 5 月 25 日付け農村整備課長通知「小規模ため池整備基準の改正について」及び、ため池整備事業実施の手引（平成 19 年 6 月）第 15 章によること。
その他	想定被害額の算定方法を示されたい。	事業効果の算定等に係る被害額算定方法の詳細については、ため池整備事業実施の手引（平成 19 年 6 月）第 3 章 3-6 想定被害調査によること。

参考資料 4

積算例

山口県土地改良積算システム

(土木工事 + 施設機械工事 合算内訳表)

施 工 年 度：	令和 ○ 年度
路 線・河 川 名：	〇〇堤地区
工 事（業 務）名：	農村地域防災減災事業（防災重点農業用ため池緊急整備事業） 〇〇地区 ため池改修工事
工 事（業務）場 所：	〇〇市大字〇〇 地内
箇 所 コ ー ド：	00000000000000

総括情報表

[illegible]

山口県土地改良積算システム

施 工 年 度 : 令和 〇 年度
路 線・河 川 名 : 〇〇堤地区
工 事 (業 務) 名 : 農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)
〇〇堤地区 ため池改修工事 (土木工事)
工 事 (業務) 場 所 : 〇〇市大字〇〇 地内
箇 所 コ ー ド : 0000000000000

総 括 情 報 表

頁 0-0002

事務所 設計書名 変更回数	00 〇〇農林水産事務所 全体設計書 当初 06-450-6002-4101-1-0 0		
適用単価区分 適用単価地区 適用基準日	1 実施単価 00 〇〇市 00-08.01.15(0)		
諸経費体系	1 公共(土地改良)		
	当設計書	前設計書	
諸経費工程 施工地域・工事場所区分 緊急工事区分 契約保証区分 週休補正区分 I C T補正区分	19 ため池工事 00 補正なし 00 通常工事 0% 01 金銭保証 (0.04%) 07 4週8休以上(現場閉所) 00 補正なし		
法定福利費相当額(事業主負担分)	4,711,916 円 = 107,578,000 円 × 4.38 %		

06-450-6002-4101-1-0

総括情報表

頁 C-0003

[illegible]

06-450-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0004

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
1-ため池						Y1P01
			式		52,313,848	
2-堤体工						Y1P0101
			式		31,079,211	
3-堤体土工						Y1P010101
			式		5,234,780	
4-掘削工 【土質】						Y1P01010101
			式		2,592,485	
	表土剥ぎ取り 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満	430	m3	218.1	93,783	SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5 単第0 -0001 表
	掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満	300	m3	218.1	65,430	SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5 単第0 -0002 表
	片切掘削 掘削+積込	1,200	m 3	1,321	1,585,200	VV000000004 00 単第0 -0003 表
	片切掘削 掘削+積込	20	m 3	1,321	26,420	VV000000004 00 単第0 -0003 表

06-450-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削 上砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満	60	m3	218.1	13,086	SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5 単第0 -0002 表
片切掘削 掘削+積込	50	m 3	1,321	66,050	VV000000004 00 単第0 -0003 表
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満	750	m3	218.1	163,575	SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5 単第0 -0002 表
片切掘削 掘削+積込	90	m 3	1,321	118,890	VV000000004 00 単第0 -0003 表
掘削 上砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満	170	m3	218.1	37,077	SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5 単第0 -0002 表
片切掘削 掘削+積込	10	m 3	1,321	13,210	VV000000004 00 単第0 -0003 表
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し	2	m3	239.5	479	SPK25040015 00 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1 単第0 -0006 表
床掘り 上砂 標準 土留方式無し 障害無し	120	m3	239.5	28,740	SPK25040015 00 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1 単第0 -0006 表
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し	200	m3	239.5	47,900	SPK25040015 00 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1 単第0 -0006 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り 上砂 標準 土留方式無し 障害無し	10	m3	239.5	2,395	SPK25040015 00 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1 単第0 -0006 表
段切り (片切掘削) 掘削+積込	170	m 3	1,321	224,570	VV000000004 00 単第0 -0007 表
段切り (片切掘削) 掘削+積込	70	m 3	1,321	92,470	VV000000004 00 単第0 -0007 表
段切り (片切掘削) 掘削+積込	10	m 3	1,321	13,210	VV000000004 00 単第0 -0007 表
4-築堤工		式		1,781,972	Y19999
盛土 (鋼土) 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	620	m3	221.6	137,392	SPK25040004 00 A=3, B=1, C=1 単第0 -0008 表
盛土 (鋼土) 施工幅員2.5m以上4.0m未満	210	m3	774.1	162,561	SPK25040004 00 A=2 単第0 -0009 表
盛土 (鋼土) 施工幅員1.0m以上2.5m未満	220	m 3	2,553	561,660	VV000000005 00 単第0 -0010 表
盛土 (鋼土) 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	870	m3	221.6	192,792	SPK25040004 00 A=3, B=1, C=1 単第0 -0014 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C- 0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
盛土（韃土） 施工幅員2.5m以上4.0m未満					SPK25040004 00 A=2 単第0 -0015 表
	390	m3	774.1	301,899	
盛土（韃土） 施工幅員1.0m以上2.5m未満					VV000000005 00 単第0 -0016 表
	50	m 3	2,553	127,650	
盛土（韃土） 施工幅員1.0m未満					VV000000006 00 単第0 -0017 表
	10	m 3	2,714	27,140	
段切部盛土（鋼土） 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し					SPKV2504004 00 A=2, B=1, C=1 単第0 -0020 表
	130	m3	221.6	28,808	
段切部盛土（鋼土） 施工幅員2.5m以上4.0m未満					SPKV2504004 00 A=1 単第0 -0021 表
	20	m3	774.1	15,482	
段切部盛土（流用土） 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し					SPKV2504004 00 A=2, B=1, C=1 単第0 -0022 表
	40	m3	221.6	8,864	
段切部盛土（流用土） 施工幅員2.5m以上4.0m未満					SPKV2504004 00 A=1 単第0 -0023 表
	40	m3	774.1	30,964	
段切部盛土（流用土） 施工幅員1.0m以上2.5m未満					VV000000005 00 単第0 -0024 表
	20	m 3	2,553	51,060	
段切部盛土（流用土） 施工幅員1.0m未満					VV000000006 00 単第0 -0025 表
	10	m 3	2,714	27,140	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C- 0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻・盛土（流用土） 施工幅員1.0m未満					VV000000007 00 単第0 -0026 表
	40	m 3	2,714	108,560	
4- 法面工					Y49999
		式		860,323	
人力荒仕上げ（整形工） 土砂					SKKN011601 00 A=1 単第0 -0029 表
	410	m2	243	106,920	
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土、砂及び砂質土、粘性土					SPK25040025 00 A=2, C=2, D=2, E=1 単第0 -0030 表
	320	m2	810.5	259,360	
法面整形 盛土部 法面締め無し 現場制約無し レキ質土、砂及び砂質土、粘性土					SPK25040025 00 A=1, B=2, C=2, D=2, E=1 単第0 -0031 表
	1,210	m2	408.3	494,043	
3- 運搬工					Y39999
		式		12,679,299	
4- 運搬工					Y49999
		式		12,679,299	
運搬 上砂 標準 DID区間無し 距離0.3km以下					SPK25040002 00 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1 単第0 -0032 表
	110	m3	369.9	40,689	
運搬・整地 標準 上砂 DTD区間無し 距離0.3km以下					VV000000008 00 単第0 -0033 表
	4,160	m 3	494	2,055,040	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込・運搬 標準 上砂 DID区間無し 距離0.3km以下					VV000000009 00
	2,270	m 3	596	1,352,920	単第0 -0036 表
運搬（残上処理） 草木混合残土 DID区間無し 距離1.0km以下					VV000000010 00
	220	m 3	18,490	4,067,800	単第0 -0037 表
運搬（購入土） 人工鋼土 DID区間無し 距離11.5km以下					VV000000011 00
	1,490	m 3	3,465	5,162,850	単第0 -0039 表
3-法面工					Y39999
		式		1,438,560	
4-法面保護工					Y49999
		式		1,438,560	
[植生シート工(センチピードグラス)] 非分解型 種子散布相当					SYN2716 00 A=2, B=1, C=2
	810	m2	1,776	1,438,560	単第0 -0041 表
3-堤体付帯工					Y39999
		式		7,911,218	
4-張ブロック工					Y49999
		式		7,588,200	
コンクリートブロック張工 目地モルタルを使用しない場合 ブロック厚さ 10cm					SKKN020401 00 A=2, B=1
	530	m2	11,110	5,888,300	単第0 -0042 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
胴込・裏込材(碎石) 間知・平・連節・緑化ブロック C-10					SPK25040046 00 A=1, B=2
	80	m3	9,388	751,040	単第0 -0044 表
基礎工 18-8-10BB					VV000000012 00
	95	m	9,988	948,860	単第0 -0045 表
4-水路工					Y49999
		式		323,018	
法先水路 用水BF300 小運搬無し					VV000000013 00
	34	m	8,407	285,838	単第0 -0053 表
法先水路 用水BF600 小運搬無し					VV000000014 00
	2	m	18,590	37,180	単第0 -0055 表
3-構造物撤去工					Y39999
		式		280,080	
4-構造物取壊し工					Y49999
		式		280,080	
コンクリート取壊し（鉄筋） 運搬・処分費を含む					VV000000015 00
	12	m 3	23,340	280,080	単第0 -0056 表
3-腰ブロック積工					Y39999
		式		3,535,274	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0011

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4-ブロック積工					Y49999
		式		3,535,274	
ブロック積工 練積工：裏コンなし	91	m2	25,370	2,308,670	SKKV161201 00 A=1, B=2, C=1, D=1, F=1 単第0 -0060 表
裏込砕石 C-40	27	m3	8,930	241,110	SPK25040035 00 A=2, C=1 単第0 -0061 表
天端コンクリート 18-8-40BB	66	m	2,529	166,914	VV000000016 00 単第0 -0062 表
基礎コンクリート 18-8-40BB	68	m	10,980	746,640	VV000000017 00 単第0 -0063 表
小口止工 (1) 18-8-40BB	1	箇所	18,400	18,400	VV000000018 00 単第0 -0066 表
小口止工 (2) 18-8-40BB	1	箇所	20,060	20,060	VV000000019 00 単第0 -0067 表
埋戻コンクリート 無筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	1	m3	33,480	33,480	SPK25040157 00 A=1, B=3, C=3, F=2, H=2, J=1, K=1 単第0 -0068 表
2-洪水吐工					Y1P0102
		式		3,850,928	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0012

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3-洪水吐土工					Y1P010201
		式		348,139	
4-掘削工					Y49999
		式		21,810	
表土剥ぎ取り 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満	20	m3	218.1	4,362	SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5 単第0 -0001 表
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満	80	m3	218.1	17,448	SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5 単第0 -0002 表
4-盛土工					Y49999
		式		193,746	
埋戻 (輻土) 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	2	m3	221.6	443	SPKV2504004 00 A=2, B=1, C=1 単第0 -0069 表
埋戻 (輻土) 施工幅員2.5m以上4.0m未満	1	m3	774.1	774	SPKV2504004 00 A=1 単第0 -0070 表
埋戻 (輻土) 施工幅員1.0m以上2.5m未満	4	m 3	2,553	10,212	VV000000020 00 単第0 -0071 表
埋戻 (輻土) 施工幅員1.0m未満	3	m 3	2,714	8,142	VV000000021 00 単第0 -0073 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0013

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋戻（鋼土） 構造物周辺					VV000000022 00
	10	m 3	3,433	34,330	単第0 -0074 表
埋戻（鋼土） 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	20	m3	221.6	4,432	SPK25040004 00 A=3, B=1, C=1 単第0 -0075 表
埋戻（鋼土） 施工幅員1.0m以上2.5m未満	4	m 3	2,553	10,212	VV000000020 00 単第0 -0076 表
埋戻（鋼土） 施工幅員1.0m未満	10	m 3	2,714	27,140	VV000000021 00 単第0 -0077 表
埋戻（鋼土） 構造物周辺	10	m 3	3,433	34,330	VV000000022 00 単第0 -0078 表
盛土（鋼土） 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	10	m3	221.6	2,216	SPK25040004 00 A=3, B=1, C=1 単第0 -0014 表
盛土（鋼土） 施工幅員2.5m以上4.0m未満	10	m3	774.1	7,741	SPK25040004 00 A=1 単第0 -0079 表
盛土（鋼土） 施工幅員1.0m以上2.5m未満	10	m 3	2,553	25,530	VV000000005 00 単第0 -0016 表
盛土（鋼土） 施工幅員1.0m未満	1	m 3	2,714	2,714	VV000000006 00 単第0 -0017 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0014

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
盛土（鋼土） 施工幅員1.0m以上2.5m未満	10	m 3	2,553	25,530	VV000000005 00 単第0 -0010 表
4-地盤改良工		式		123,640	Y49999
地盤改良工 混合深さ1mを超え2m以下 6.65t/100m2 セメント系固化材 一般軟弱土用	40	m2	3,091	123,640	SPK25040024 00 A=2, B=2, C=4, D=6.65, F=1 単第0 -0080 表
4-法面整形工		式		8,943	Y49999
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土、砂及び砂質土、粘性土	10	m2	408.3	4,083	SPK25040025 00 A=1, B=2, C=2, D=2, E=1 単第0 -0031 表
人力荒仕上げ（整形工） 土砂	20	m2	243	4,860	SKK011601 00 A=1 単第0 -0029 表
3-法面工		式		24,720	Y39999
4-法面保護工		式		24,720	Y49999
[殖生シート工(センチピードグラス)] 非分解型 種子散布相当	10	m2	2,472	24,720	SYN2716 00 A=2, B=1, C=5 単第0 -0081 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0015

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3-躯体工					Y39999
		式		2,513,428	
4-躯体工					Y49999
		式		2,513,428	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25 (20)BB 人力打設	34	m3	33,910	1,152,940	SPK25040157 00 A=1, B=3, C=1, F=2, H=2, J=1, K=1 単第0 -0082 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25 (20)BB 人力打設	4	m3	33,480	133,920	SPK25040157 00 A=1, B=3, C=3, F=2, H=2, J=1, K=1 単第0 -0064 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	94	m2	8,418	791,292	SPK25040159 00 A=1, B=1, C=1 単第0 -0083 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	3	m2	4,276	12,828	SPK25040159 00 A=1, B=5, C=1 単第0 -0065 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	1.68	t	173,100	290,808	SS000099 00 A=1, B=5, D=1, E=1, F=2, H=1, I=1, J=1, K=1 単第0 -0084 表
止水板 幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)	13	m	2,721	35,373	SPK25040119 00 A=1 単第0 -0085 表
止水板 幅FF100×厚さ5mm(塩ビ製)	9	m	1,907	17,163	SPK25040119 00 A=9, B=7 単第0 -0086 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0016

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダウエルバー取付 異形棒鋼 D 1 6	54	本	612	33,048	SKKN030701 00 A=1 単第0 -0087 表
足掛金物 (ステップ) 幅300mm φ19 30SW	8	個	3,090	24,720	T0010 00
目地板 1工事当り使用量30m2未満 ゴム発泡体t=10mm	6	m2	3,556	21,336	SPK25040118 00 A=1, B=5 単第0 -0088 表
3-床版工					Y39999
		式		501,241	
4-床版工					Y49999
		式		501,241	
進入路床版 T-2、3.30m×1.00m×0.125m	2	枚	131,600	263,200	VV000000001 00 単第0 -0089 表
転落防止柵 h=1.1m	6	m	18,390	110,340	VV000000002 00 単第0 -0090 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25 (20)BB 人力打設	0.4	m3	33,910	13,564	SPK25040157 00 A=1, B=3, C=1, F=2, H=2, J=1, K=1 単第0 -0082 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4	m2	8,418	33,672	SPK25040159 00 A=1, B=1, C=1 単第0 -0083 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0017

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.03	t	173,100	5,193	SS000099 00 A=1, B=5, D=1, E=1, F=2, H=1, I=1, J=1, K=1 単第0 -0084 表
ゴム支承 B=300mm、t=10mm	4	m	18,600	74,400	VV000000003 00 単第0 -0091 表
モルタル練 普通	0.01	m3	87,270	872	SPK25040158 00 A=2, B=1 単第0 -0092 表
3-接続柵工		式		463,400	Y39999
4-接続柵工		式		463,400	Y49999
1号接続柵工	1	箇所	301,200	301,200	VV000000024 00 単第0 -0093 表
2号接続柵工	1	箇所	75,370	75,370	VV000000025 00 単第0 -0094 表
復旧工	1	箇所	86,830	86,830	VV000000026 00 単第0 -0095 表
2-取水設備工		式		6,254,947	Y1P0103

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0018

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3-取水設備土工		式		784,974	Y39999
4-掘削工		式		148,736	Y49999
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満	660	m3	218.1	143,916	SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5 単第0 -0002 表
床掘り 土砂 標準 上留方式無し 障害無し	20	m3	239.5	4,790	SPK25040015 00 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1 単第0 -0006 表
4-盛土工		式		545,724	Y49999
盛土 (鋼土) 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	10	m3	221.6	2,216	SPK25040004 00 A=3, B=1, C=1 単第0 -0008 表
盛土 (鋼土) 施工幅員2.5m以上4.0m未満	20	m3	774.1	15,482	SPK25040004 00 A=2 単第0 -0009 表
盛土 (鋼土) 施工幅員1.0m以上2.5m未満	3	m 3	2,553	7,659	VV000000005 00 単第0 -0010 表
盛土 (鋼土) 構造物周辺	40	m 3	3,433	137,320	VV000000028 00 単第0 -0099 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0019

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
盛土（簀土） タンバ転圧					VV000000029 00
	30	m 3	3,433	102,990	単第0 -0101 表
埋戻（簀土） 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	400	m3	221.6	88,640	SPKV2504004 00 A=2, B=1, C=1 単第0 -0069 表
埋戻（簀土） 施工幅員2.5m以上4.0m未満	70	m3	774.1	54,187	SPKV2504004 00 A=1 単第0 -0070 表
埋戻（簀土） 施工幅員1.0m以上2.5m未満	50	m 3	2,553	127,650	VV000000020 00 単第0 -0071 表
埋戻（簀土） 施工幅員1.0m未満	1	m 3	2,714	2,714	VV000000021 00 単第0 -0073 表
埋戻（簀土） 構造物周辺	2	m 3	3,433	6,866	VV000000022 00 単第0 -0074 表
4-仮設盛土工					Y49999
		式		24,376	
仮設盛土工 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	110	m3	221.6	24,376	SPKV2504004 00 A=2, B=1, C=1 単第0 -0102 表
4-舗装工					Y49999
		式		66,138	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0020

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷砂利 クラシャラン C-40 厚 10c m	73	m2	906	66,138	SBQ003 00 A=1, B=3, C=3, D=1, E=2, F=2 単第0 -0103 表
3-斜樋工					Y39999
		式		778,320	
4-斜樋工					Y49999
		式		778,320	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	9	m3	33,910	305,190	SPK25040157 00 A=1, B=3, C=1, F=2, H=2, J=1, K=1 単第0 -0082 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	3	m3	33,480	100,440	SPK25040157 00 A=1, B=3, C=3, F=2, H=2, J=1, K=1 単第0 -0064 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	30	m2	8,418	252,540	SPK25040159 00 A=1, B=1, C=1 単第0 -0083 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	6	m2	4,276	25,656	SPK25040159 00 A=1, B=5, C=1 単第0 -0065 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.41	t	173,100	70,971	SS0000099 00 A=1, B=5, D=1, E=1, F=2, H=1, I=1, J=1, K=1 単第0 -0084 表
ダウエルバー取付 異形棒鋼 D16	23	本	612	14,076	SKKV030701 00 A=1 単第0 -0087 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0021

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
止水板 幅FF100×厚さ5mm(塩ビ製)					SPK25040119 00 A=9, B=7
	3	m	1,907	5,721	単第0 -0086 表
コンクリート継目工 (ペイント塗装)					SKK030601 00
	2	m2	1,863	3,726	単第0 -0107 表
3-土砂吐工					Y39999
		式		1,517,496	
4-土砂吐工					Y49999
		式		1,517,496	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設					SPK25040157 00 A=1, B=3, C=1, F=2, H=2, J=1, K=1
	18	m3	33,910	610,380	単第0 -0082 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設					SPK25040157 00 A=1, B=3, C=3, F=2, H=2, J=1, K=1
	1	m3	33,480	33,480	単第0 -0064 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物					SPK25040159 00 A=1, B=1, C=1
	61	m2	8,418	513,498	単第0 -0083 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート					SPK25040159 00 A=1, B=5, C=1
	1	m2	4,276	4,276	単第0 -0065 表
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満					SS000099 00 A=1, B=5, D=1, E=1, F=2, H=1, I=1, J=1, K=1
	0.85	t	173,100	147,135	単第0 -0084 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0022

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基面整正					SPK25040017 00
	10	m2	406	4,060	単第0 -0052 表
足場工 手摺先行型枠組足場 安全ネットなし					SB685 00 A=1, B=1, D=0, E=1
	30	掛m2	4,537	136,110	単第0 -0108 表
支保工 総設置数量40空m3以下 支保耐力40kN/m2以下					SB695 00
	10	空m3	4,445	44,450	単第0 -0109 表
止水板 幅FF100×厚さ5mm(塩ビ製)					SPK25040119 00 A=9, B=7
	5	m	1,907	9,535	単第0 -0086 表
目地板 1工事当り使用量30m2未満 ゴム発泡体t=10mm					SPK25040118 00 A=1, B=5
	1	m2	3,556	3,556	単第0 -0088 表
ダウエルバー取付 異形棒鋼 D16					SKK030701 00 A=1
	18	本	612	11,016	単第0 -0087 表
3-底樋工					Y39999
		式		3,174,157	
4-底樋工					Y49999
		式		3,174,157	
遠心力鉄筋コンクリート管(B形管) 据付 管径800mm 外圧管1種					SPK2504076 00 A=1, B=10, C=1, D=1
	21	m	47,110	989,310	単第0 -0110 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C- 0023

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25 (20)BB 人力打設						SPK25040157 00 A=1, B=3, C=1, F=2, H=2, J=1, K=1 単第0 -0082 表
	32		m3	33, 910	1, 085, 120	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25 (20)BB 人力打設						SPK25040157 00 A=1, B=3, C=3, F=2, H=2, J=1, K=1 単第0 -0064 表
	4		m3	33, 480	133, 920	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物						SPK25040159 00 A=1, B=1, C=1 単第0 -0083 表
	80		m2	8, 418	673, 440	
型枠 一般型枠 均しコンクリート						SPK25040159 00 A=1, B=5, C=1 単第0 -0065 表
	4		m2	4, 276	17, 104	
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満						SS000099 00 A=1, B=5, D=1, E=1, F=2, H=1, I=1, J=1, K=1 単第0 -0084 表
	1. 15		t	173, 100	199, 065	
基面整正						SPK25040017 00 単第0 -0052 表
	30		m2	406	12, 180	
止水板 幅CF150×厚さ5mm(塩ビ製)						SPK25040119 00 A=9, B=8 単第0 -0111 表
	5		m	2, 442	12, 210	
止水板 幅FF100×厚さ5mm(塩ビ製)						SPK25040119 00 A=9, B=7 単第0 -0086 表
	8		m	1, 907	15, 256	
目地板 1工事当り使用量30m2未満 ゴム発泡体t=10mm						SPK25040118 00 A=1, B=5 単第0 -0088 表
	1		m2	3, 556	3, 556	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C- 0024

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
目地板 1工事当り使用量30m2未満 ゴム発泡体t=20mm						SPK25040118 00 A=1, B=11 単第0 -0112 表
	4		m2	5, 495	21, 980	
ダウエルバー取付 異形棒鋼 D 1 6						SKKX030701 00 A=1 単第0 -0087 表
	18		本	612	11, 016	
2- 工事用道路工						Y29999
			式		5, 251, 690	
3- 道路土工						Y39999
			式		3, 924, 554	
4- 掘削工						Y49999
			式		436	
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10, 000m3以上50, 000m3未満						SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5 単第0 -0002 表
	2		m3	218. 1	436	
4- 仮設盛土工						Y49999
			式		1, 143, 800	
仮設盛土 施工幅4. 0m以上, 積込+運搬含む 距離0. 3km以下						VV000000030 00 単第0 -0113 表
	1, 400		m 3	817	1, 143, 800	
4- 整地工						Y49999
			式		166, 818	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0025

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
表土剥ぎ取り 上砂 オープンカット 押上無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満							SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5
	180		m3	218.1		39,258	単第0 -0001 表
表土戻し 土砂 土量50,000m3未満							SPK25040007 00 A=1, B=1
	180		m3	227		40,860	単第0 -0115 表
整地工 基盤整地, 表土整地							VV000000031 00
	1,700		m ²	51		86,700	単第0 -0116 表
4-盛土撤去工							Y49999
			式			2,221,700	
仮設盛土撤去 掘削積込+運搬+整地 距離7.5km以下							VV000000032 00
	1,300		m 3	1,709		2,221,700	単第0 -0120 表
4-地盤改良工							Y49999
			式			391,800	
地盤改良工 混合深さ1mを超え2m以下 7.5t/100m2 セメント系固化材 一般軟弱上用							SPK25040024 00 A=2, B=2, C=4, D=7.5, F=1
	120		m2	3,265		391,800	単第0 -0122 表
3-舗装工							Y39999
			式			606,114	
4-舗装工							Y49999
			式			606,114	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0026

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	敷砂利 クラッシュラン C-40 厚 10 c m						SBQ003 00 A=1, B=3, C=3, D=1, E=2, F=2
		669	m2	906	606,114	単第0 -0103 表	
3- 構造物工							Y39999
		式		721,022			
4- 構造物工							Y19999
		式		721,022			
	大型土のう製作・設置工 製作・設置						SB746 00 A=1, B=1, C=1, D=2, E=2
		10	袋	7,666	76,660	単第0 -0123 表	
	大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m≦H≦2m						S1050057 00 A=1, B=1
		10	袋	897	8,970	単第0 -0125 表	
	高密度ポリエチレン管設置・撤去 呼び径 1 0 0 0 mm 損耗率75%						VV000000036 00
		14	m	42,440	594,160	単第0 -0127 表	
	高密度ポリエチレン管設置・撤去 呼び径 3 0 0 mm 損耗率75%						VV000000039 00
		8	m	5,154	41,232	単第0 -0131 表	
2- 池敷仮設道路工							Y29999
		式		2,240,612			
3- 道路土工							Y39999
		式		1,674,963			

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0027

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4-掘削工					Y49999
		式		15,267	
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満	70	m3	218.1	15,267	SPK25040001 00 A=1, B=1, C=2, D=1, E=5 単第0 -0002 表
4-盛土工					Y49999
				171,570	
仮設盛土 施工幅員4.0m以上, 積込+運搬含む 距離0.3km以下	210	m 3	817	171,570	VV000000030 00 単第0 -0113 表
4-盛土撤去工					Y49999
		式		358,890	
仮設盛土撤去 掘削積込+運搬+整地 距離7.5km以下	210	m 3	1,709	358,890	VV000000032 00 単第0 -0120 表
4-地盤改良工					Y49999
		式		1,129,236	
地盤改良工 混合深さ1m以下 4.7t/100m2 セメント系固化材 一般軟弱土用	556	m2	2,031	1,129,236	SPK25040024 00 A=2, B=1, C=3, D=4.7, F=1 単第0 -0135 表
3-舗装工					Y39999
		式		244,620	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0028

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4-舗装工					Y49999
		式		244,620	
敷砂利 クラシラン C-10 厚 10 c m	270	m2	906	244,620	SBQ003 00 A=1, B=3, C=3, D=1, E=2, F=2 単第0 -0103 表
3-構造物工					Y39999
		式		321,029	
4-構造物工					Y49999
		式		321,029	
高密度ポリエチレン管設置・撤去 呼び径 400 mm 損耗率45%	39	m	6,171	240,669	VV000000042 00 単第0 -0136 表
沈砂池					VV000000044 00
	1	箇所	80,360	80,360	単第0 -0139 表
2-仮設工					Y29999
		式		3,636,460	
3-仮設工					Y39999
		式		3,636,460	
4-水替工					Y49999
		式		1,018,120	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0029

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
釜場設置撤去工						VV000000045 00
	2		箇所	15,920	31,840	単第0 -0142 表
水替工(小口径)ポンプ設置・撤去工						SKKV142402 00 A=1
	2		箇所	14,740	29,480	単第0 -0146 表
ポンプ運転 排水量_0m3/h以上7m3/h未満 常時排水						SKKV142401 00 A=1, B=2
	130		日	7,360	956,800	単第0 -0147 表
4-安全費						Y49999
			式		2,618,340	
交通誘導警備員B						RA227 00
	170		人	15,402	2,618,340	
直接工事費					52,313,848	
準備費						Z0003
					10,583,600	
2-準備費						YZZ03
					10,583,600	
3-準備費						YZZ03001
					10,583,600	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0030

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
4-抜開・除根						YZZ03001001
			式		370,800	
伐採工(人力刈払) チェーンソー 樹量区分40.1~80(本・m/10a)						SKKV100101 00 A=2, B=3
	0.3		ha	1,236,000	370,800	単第0 -0149 表
4-木根等処分						YZZ03001002
			式		10,212,800	
伐採木処理 木くず,運搬+処理						VV000000046 00
	800		m 3	9,611	7,688,800	単第0 -0150 表
根株処理 伐根,運搬+処理						VV000000047 00
	200		m 3	12,620	2,524,000	単第0 -0154 表
技術管理費						Z0006
					2,964,933	
2-技術管理費						YZZ06
					2,964,933	
3-技術管理費						YZZ06001
					2,964,933	
4-試験盛土工(鋼上)						Y49999
			式		1,156,061	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0031

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
盛土（鋼土） 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m ³ 未満 障害無し	90	m ³	221.6	19,944	SPK25040004 00 A=3, B=1, C=1 単第0 -0008 表
盛土（鋼土） 施工幅員2.5m以上4.0m未満	70	m ³	774.1	54,187	SPK25040004 00 A=2 単第0 -0009 表
盛土（鋼土） 施工幅員1.0m未満	50	m ³	2,714	135,700	VV000000006 00 単第0 -0157 表
盛土（鋼土） タンバ	10	m ³	3,433	34,330	VV000000029 00 単第0 -0158 表
現場透水試験（簡易法） 直接調査費のみ（諸経費含まず）	10	回	48,300	483,000	TP450049 00
現場透水試験（JGS1316） 直接調査費のみ（諸経費含まず）	3	回	81,300	243,900	TP450050 00
現場密度試験 砂置換法	10	箇所	18,500	185,000	F0000000012 00
4-試験盛土工（軟土）		式		902,204	Y49999
盛土（軟土） 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m ³ 未満 障害無し	80	m ³	221.6	17,728	SPK25040004 00 A=3, B=1, C=1 単第0 -0014 表

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0032

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
盛土（軟土） 施工幅員2.5m以上4.0m未満	60	m ³	774.1	46,446	SPK25040004 00 A=2 単第0 -0015 表
盛土（軟土） 施工幅員1.0m未満	50	m ³	2,714	135,700	VV000000006 00 単第0 -0017 表
盛土（軟土） タンバ	10	m ³	3,433	34,330	VV000000029 00 単第0 -0159 表
現場透水試験（簡易法） 直接調査費のみ（諸経費含まず）	10	回	48,300	483,000	TP450049 00
現場密度試験 砂置換法	10	箇所	18,500	185,000	F0000000012 00
4-土質試験費等		式		906,668	Y49999
セメント安定処理配合試験 セメント添加量につき3個（3種×3個=9個） 一軸圧縮強度試験を含む	2	式	128,000	256,000	F0000000013 00
六価クロム溶出試験 環境庁告示第46号	2	検体	7,500	15,000	TZ018 00
上の粒度試験（フィルタ材） ふるい分析 試料0.5kg未満	1	試料	7,770	7,770	TZ026 00

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C- 0033

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ため池安定解析 全面改修 堤高5.2m、堤長112m										SYN60046 00	
		1		池		311,298		311,298		A=1, B=5.2, C=112, D=1, E=2, F=1, G=1, H=2, I=1, J=2, K=2, L=2, M=2, N=1, O=1, P=2, Q=2, R=2, S=2, 単第0 -0160 表	
現場透水試験（簡易法） 直接調査費のみ（諸経費含まず）		3		回		48,300		144,900		TP450049 00	
ポータブルコーン貫入試験 単管式		30		m		2,900		87,000		F0000000014 00	
簡易動的コーン貫入試験 繰混じり上		14		m		6,050		84,700		F0000000015 00	
現場環境改善費								468,000		Z0008	
2-現場環境改善費								468,000		YZZ08	
3-現場環境改善費								468,000		YZZ08001	
4-現場環境改善費				式				468,000		YZZ08001001	
現場環境改善費（率分）		1		式		468,000		468,000		S1Z0008 00	
										単第0 -0161 表	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C- 0034

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
共通仮設費率 分類	計算情報.....	5928000=50115263*((0.1160*1.0*1.00)*1.020)									
	対象額.....	50,115,263			地域補正.....	1.0000					
	率.....	0.1183			週休補正.....	1.0200					
	処分費.....	1,827,415						5,928,000			
共通仮設費計								19,944,533			
純工事費								72,258,381			
現場管理費	計算情報.....	20866000=61444796*((0.3234*1.0*1.00)*1.050)									
	対象額.....	61,444,796			地域補正.....	1.0000					
	率.....	0.3396			週休補正.....	1.0500					
	処分費.....	1,827,415						20,866,000			
工事原価								93,124,381			
一般管理費率 分	計算情報.....	14420851=82310796*0.1752									
	対象額.....	82,310,796			前払補正.....	1.0000					
	率.....	0.1752						14,420,695			
	処分費.....	1,827,415									
契約保証費	計算情報.....	32924=82310796*0.0004									
	対象額.....	82,310,796									
	率.....	0.0004									
	当初請対額 当初対象額...	118,335,800 82,310,796						32,924			
一般管理費計								14,453,619			
工事価格計								107,578,000			

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0035

費目・工種・施工名称など			数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税相当額計	計算情報.....	10757800=107578000*0.10						
	対象額.....	107,578,000						
	率.....	0.1000					10,757,800	
請負工事費計							118,335,800	

06-150-6002-4101-1-0

施工代価表

頁 0-0036

表土剥ぎ取り		SPK25040001		施 工 代 価 表		単第0 -0001 表	
上砂 オーブンカット 押上無し	障害無し	10,000m3以上50,000m3未満				1	m3 当り
機械構成比: 42.72%	労務構成比: 37.91%	材料構成比: 19.37%	市場単価構成比: 0.00%			標準単価:	230.9700

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	42.72%	20,100	バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	20,100	MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	37.91%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
軽油 バトロール給油	19.37%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		218.1	積算単価		EP001
A=1 上砂 C=2 押土無し E=5 10,000m3以上50,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		
【補正式】 218.1=230.97*{(42.72/100*20,100/20,100)*42.72/(42.72)+(37.91/100*23,562/28,900)*37.91/(37.91)+(19.37/100*148/138)*19.37/(19.37)+(100-42.72-37.91-19.37)/100}					

06-450-6002-4101-1-0

掘削
上砂 オープンカット 押上無し
機械構成比：42.72%

SPK25040001
障害無し 10,000m3以上50,000m3未満
労務構成比：37.91%

材料構成比：19.37%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：230.9700

1
m3
当り

施工代価表

単第0 -0002 表

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	42.72%	20,100	バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	20,100	MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	37.91%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
軽油 バトロール給油	19.37%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		218.1	積算単価		EP001
A=1 上砂 C=2 押上無し E=5 10,000m3以上50,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		
【補正式】 218.1=230.97*{(42.72/100*20,100/20,100)*42.72/(42.72)+(37.91/100*23,562/28,900)*37.91/(37.91)+(19.37/100*148/138)*19.37/(19.37)+(100-42.72-37.91-19.37)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

片切掘削
掘削+積込

VV000000004

施工代価表

単第0 -0003 表

1
m3
当り

片切掘削

単第0 -0003 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削 上砂 片切掘削	1	m3	1,094	1,094	SPK25040001 単第0-0004 表
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1	m3	227	227	SPK25040007 単第0-0005 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		1,321	

06-150-6002-1101-1-0

掘削

上砂 片切掘削

機械構成比：9.34%

労務構成比：85.54%

材料構成比：5.12%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：1,311.8000

1 m3 当り

SPK25040001

施工代価表

単第0 -0004 表

頁 0-0039

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	9.34%	20,100	バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	20,100	MTPC00128 MPTP00128
普通作業員	75.52%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	10.02%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
軽油 バトロール給油	5.12%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		1,094	積算単価		EP001
A=1 土砂			B=2 片切掘削		
【補正式】					
$1,094=1,311.8*\{(9.34/100*20,100/20,100)*9.34/(9.34)+(75.52/100*20,298/25,400+10.02/100*23,562/28,900)*85.54/(75.52+10.02)+(5.12/100*148/138)*5.12/(5.12)+(100-9.34-85.54-5.12)/100\}$					

積込(ルーズ)

上砂

機械構成比：42.39%

労務構成比：38.74%

材料構成比：18.87%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：240.9000

備考

06-150-6002-1101-1-0

SPK25040015					
施工代価表					
床掘り			単第0 -0006 表		
上砂 標準			1 m3 当り		
機械構成比： 22.47%			標準単価： 244.1200		
労務構成比： 53.87%					
上留方式無し 障害無し					
材料構成比： 23.66%					
市場単価構成比： 0.00%					
代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	22.47%	11,271	バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)	8,800	KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	53.87%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
軽油 バトロール給油	23.66%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		239.5	積算単価		EP001
A=1 上砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		
【補正式】 239.5=244.12*{(22.47/100*11,271/8,800)*22.47/(22.47)+(53.87/100*23,562/28,900)*53.87/(53.87)+(23.66/100*148/138)*23.66/(23.66)+(100-22.47-53.87-23.66)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

VV000000004					
施工代価表					
段切り(片切掘削)			単第0 -0007 表		
掘削・積込			1 m3 当り		
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
掘削 上砂 片切掘削	1	m3	1,094	1,094	SPK25040001 単第0-0004 表
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1	m3	227	227	SPK25040007 単第0-0005 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		1,321	

06-150-6002-1101-1-0

施工代価表

単第0 -0008 表

盛土（鋼土） 施工幅員4.0m以上 機械構成比：17.31%	SPK25040004 施工数量20,000m3未満 障害無し 労務構成比：67.71%	材料構成比：14.98%	市場単価構成比：0.00%	標準単価：1 240.2900	m3 当り
代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貸＞ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第～3次基準値)低騒音	10.87%	7,558	＜貸＞ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	6,010	KTPC00036 KTPT00036
＜貸＞振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11～12t 排出ガス対策型(～2014年基準値)低騒音	6.44%	13,193	振動ローラ(土工用) 〔フラット・シングルドラム型〕 質量11～12t	11,200	KTPC00058 KTPT00058
運転手（特殊）	46.57%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.14%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	14.98%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		221.6	積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		
【補正式】 $221.6=240.29 \times \{ (10.87/100 \times 7,558/6,010 + 6.44/100 \times 13,193/11,200) \times 17.31 / (10.87 + 6.44) + (46.57/100 \times 23,562/28,900 + 21.14/100 \times 20,298/25,400) \times 67.71 / (46.57 + 21.14) + (14.98/100 \times 148/138) \times 14.98 / (14.98) + (100 - 17.31 - 67.71 - 14.98) / 100 \}$					

06-150-6002-1101-1-0

施工代価表

単第0 -0009 表

盛土（鋼土） 施工幅員2.5m以上4.0m未満 機械構成比：15.30%	SPK25040004 施工数量20,000m3未満 障害無し 労務構成比：76.16%	材料構成比：8.54%	市場単価構成比：0.00%	標準単価：1 857.6000	m3 当り
代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貸＞後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	8.01%	6,961	バックホウ(クローラ型) 〔後方超小旋回型〕 山積0.28m3(平積0.2m3)	5,650	KTPC00054 KTPT00054
＜貸＞振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第～3次基準値)～超低騒音	7.29%	4,508	振動ローラ(舗装用) 〔搭乗式コンバインド型〕 質量3～4t	3,540	KTPC00009 KTPT00009
運転手（特殊）	67.28%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	8.54%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		774.1	積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					
【補正式】 $774.1=857.6 \times \{ (8.01/100 \times 6,961/5,650 + 7.29/100 \times 4,508/3,540) \times 15.30 / (8.01 + 7.29) + (67.28/100 \times 23,562/28,900 + 8.88/100 \times 20,298/25,400) \times 76.16 / (67.28 + 8.88) + (8.54/100 \times 148/138) \times 8.54 / (8.54) + (100 - 15.30 - 76.16 - 8.54) / 100 \}$					

06-150-6002-1101-1-0

盛土（鋼土）
施工幅員1.0m以上2.5m未満

VV000000005

施工代価表

単第0 -0010 表

頁 0-0045

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土	1.11	m3	1,726	1,915	SKKN010801 単第0-0011 表
振動ローラ締固め 1.0m≦W<2.5m 路体・築堤	1	m3	387	387	SHKN0054 単第0-0012 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		2,553	

06-450-6002-4101-1-0

盛土・埋戻（人力土工）
粘性土・礫質土

SKKN010801

施工代価表

単第0 -0011 表

頁 0-0046

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.850	人	20,298	17,253	RTPC00002
諸雑費	1	式		7	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) #91
*** 合計 ***	10	m3		17,260	
*** 単位当たり ***	1	m3		1,726	
A=2 C=1 粘性土・礫質土 締固めを計上しない			B=1 盛土：人力まき出し		
QD = 11.765m3/日 算定式 = 10 / 普通作業員歩掛 = 10 / 0.850 = 11.765					

06-450-6002-4101-1-0

振動ローラ締固め
1.0m≦W<2.5m

SHKN0054

路体・築堤

施工代価表

単第0 -0012 表

頁 0-0047

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-28_振動ローラ運転 (賃料) 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t	1.163	日	33,290	38,716	S9202 単第0-0013 表 100/86
諸雑費	1	式		4	#91
*** 合計 ***	100	m3		38,720	
*** 単位当たり ***	1	m3		387	
A=1 1.0m≦W<2.5m			B=2 路体・築堤		

06-150-6002-1101-1-0

機-28_振動ローラ運転 (賃料)
搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t

S9202

施工代価表

単第0 -0013 表

頁 0-0048

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手 (特殊)	1.00	人	23,562	23,562	RTPC00006
軽油 バトロール給油	17.00	L	148	2,516	8休_現場閉所 (～R7.3) (×1.02) TTPC00013
<賃>振動ローラ (搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型 (第～3次基準値)～超低騒音	1.60	供用日	4,508	7,212	KTPC00009 8休_現場閉所 (～R7.3) (×1.02)
諸雑費	1	式		0	#91
*** 単位当たり ***	1	日		33,290	
A=9 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t C=17 軽油消費量 (L/日) E=2 排出ガス対策型			B=1 運転労務数量 (人/日) D=1.6 機械賃料数量 (供用日/日)		

06-150-6002-1101-1-0

施工代価表

盛土 (轄土)

SPK25040004

施工数量20,000m3未満 障害無し

単第0 -0014 表

1

m3

当り

施工幅員4.0m以上

機械構成比: 17.31%

労務構成比: 67.71%

材料構成比: 14.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 240.2900

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第〜3次基準値)低騒音	10.87%	7,558	<貸>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	6,010	KTPC00036 KTPT00036
<貸>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11〜12t 排出ガス対策型(〜2014年基準値)低騒音	6.44%	13,193	振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11〜12t	11,200	KTPC00058 KTPT00058
運転手 (特殊)	46.57%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.14%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	14.98%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		221.6	積算単価		EP001
A=3 C=1 施工幅員4.0m以上 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		
【補正式】 221.6=240.29*{(10.87/100*7,558/6,010+6.44/100*13,193/11,200)*17.31/(10.87+6.44)+(46.57/100*23,562/28,900+21.14/100*20,298/25,400)*67.71/(46.57+21.14)+ (14.98/100*148/138)*14.98/(14.98)+(100-17.31-67.71-14.98)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

施工代価表

盛土 (轄土)

SPK25040004

単第0 -0015 表

1

m3

当り

施工幅員2.5m以上4.0m未満

機械構成比: 15.30%

労務構成比: 76.16%

材料構成比: 8.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 857.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	8.01%	6,961	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)	5,650	KTPC00054 KTPT00054
<貸>振動ローラ(搭乗・コンパインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第～3次基準値)～超低騒音	7.29%	4,508	振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンパインド型] 質量3～4t	3,540	KTPC00009 KTPT00009
運転手 (特殊)	67.28%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	8.54%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		774.1	積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					
【補正式】 774.1=857.6*((8.01/100*6,961/5,650+7.29/100*4,508/3,540)*15.30/(8.01+7.29)+(67.28/100*23,562/28,900+8.88/100*20,298/25,400)*76.16/(67.28+8.88)+(8.54/100*148/138)*8.54/(8.54)+(100-15.30-76.16-8.54)/100)					

06-150-6002-1101-1-0

盛土（韃土）
施工幅員1.0m以上2.5m未満

VV000000005

施工代価表

単第0 -0016 表

頁 0-0051

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土	1.11	m3	1,726	1,915	SKKN010801 単第0-0011 表
振動ローラ締固め 1.0m≦W<2.5m 路体・築堤	1	m3	387	387	SHKN0054 単第0-0012 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		2,553	

06-150-6002-4101-1-0

盛土（韃土）
施工幅員1.0m未満

VV000000006

施工代価表

単第0 -0017 表

頁 0-0052

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土	1.11	m3	1,726	1,915	SKKN010801 単第0-0011 表
振動ローラ締固め W<1.0m 路体・築堤	1	m3	548	548	SHKN0054 単第0-0018 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		2,714	

06-150-6002-4101-1-0

振動ローラ締固め
W<1.0m

SHKN0054

施工代価表

単第0 -0018 表

頁 0-0053

100m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-31_振動ローラ運転 ハンドガイド式 0.8～1.1t	2.000	日	27,420	54,840	S9000015 単第0-0019 表 100/50
諸雑費	1	式		0	#91
*** 合計 ***	100	m3		54,840	
*** 単位当たり ***	1	m3		548	
A=2 W<1.0m			B=2 路体・築堤		

06-150-6002-1101-1-0

機-31_振動ローラ運転
ハンドガイド式 0.8～1.1t

S9000015

施工代価表

単第0 -0019 表

頁 0-0054

1日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	1.00	人	23,661	23,661	RTPC00001 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
軽油 バトロール給油	5.70	L	148	843	TTPC00013
<貸>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8～1.1t	1.44	供用日	2,021	2,910	KTPC00008 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	1	式		3	#91
*** 単位当たり ***	1	日		27,420	
A=2 ハンドガイド式 0.8～1.1t C=5.7 軽油消費量(L/日)			B=1 運転労務数量(人/日) D=1.44 機械賃料数量(供用日/日)		

06-150-6002-1101-1-0

施工代価表

単第0 -0020 表

段切部盛土（鋼土）

SPKN2504004

施工幅員4.0m以上

施工数量20,000m3未満 障害無し

機械構成比： 17.31%

労務構成比： 67.71%

材料構成比： 14.98%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m3 240.2900 当り

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貸＞ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第～3次基準値)低騒音	10.87%	7,558	＜貸＞ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	6,010	KTPC00036 KTPT00036
＜貸＞振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11～12t 排出ガス対策型(～2014年基準値)低騒音	6.44%	13,193	振動ローラ(土工用) 〔フラット・シングルドラム型〕 質量11～12t	11,200	KTPC00058 KTPT00058
運転手（特殊）	46.57%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.14%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	14.98%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		221.6	積算単価		EP001
A=2 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		
【補正式】 $221.6=240.29*{(10.87/100*7,558/6,010+6.44/100*13,193/11,200)*17.31/(10.87+6.44)+(46.57/100*23,562/28,900+21.14/100*20,298/25,400)*67.71/(46.57+21.14)+(14.98/100*148/138)*14.98/(14.98)+(100-17.31-67.71-14.98)/100}$					

06-150-6002-1101-1-0

施工代価表

単第0 -0021 表

段切部盛土（鋼土）

SPKN2504004

施工幅員2.5m以上4.0m未満

機械構成比： 15.30%

労務構成比： 76.16%

材料構成比： 8.54%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m3 857.6000 当り

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貸＞後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	8.01%	6,961	バックホウ(クローラ型) 〔後方超小旋回型〕 山積0.28m3(平積0.2m3)	5,650	KTPC00054 KTPT00054
＜貸＞振動ローラ(搭乗・コンパインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第～3次基準値)～超低騒音	7.29%	4,508	振動ローラ(舗装用) 〔搭乗式コンパインド型〕 質量3～4t	3,540	KTPC00009 KTPT00009
運転手（特殊）	67.28%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	8.54%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		774.1	積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m以上4.0m未満					
【補正式】 $774.1=857.6*{(8.01/100*6,961/5,650+7.29/100*4,508/3,540)*15.30/(8.01+7.29)+(67.28/100*23,562/28,900+8.88/100*20,298/25,400)*76.16/(67.28+8.88)+(8.54/100*148/138)*8.54/(8.54)+(100-15.30-76.16-8.54)/100}$					

06-150-6002-1101-1-0

施工代価表

単第0 -0022 表

段切部盛土（流用土）

SPKN2504004

施工幅員4.0m以上

施工数量20,000m3未満 障害無し

機械構成比： 17.31%

労務構成比： 67.71%

材料構成比： 14.98%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m3 240.2900 当り

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貸＞ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第～3次基準値)低騒音	10.87%	7,558	＜貸＞ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	6,010	KTPC00036 KTPT00036
＜貸＞振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11～12t 排出ガス対策型(～2014年基準値)低騒音	6.44%	13,193	振動ローラ(土工用) 〔フラット・シングルドラム型〕 質量11～12t	11,200	KTPC00058 KTPT00058
運転手（特殊）	46.57%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.14%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	14.98%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		221.6	積算単価		EP001
A=2 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		
【補正式】 $221.6=240.29*{(10.87/100*7,558/6,010+6.44/100*13,193/11,200)*17.31/(10.87+6.44)+(46.57/100*23,562/28,900+21.14/100*20,298/25,400)*67.71/(46.57+21.14)+(14.98/100*148/138)*14.98/(14.98)+(100-17.31-67.71-14.98)/100}$					

06-150-6002-1101-1-0

施工代価表

単第0 -0023 表

段切部盛土（流用土）

SPKN2504004

施工幅員2.5m以上4.0m未満

機械構成比： 15.30%

労務構成比： 76.16%

材料構成比： 8.54%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 1

m3 857.6000 当り

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貸＞後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	8.01%	6,961	バックホウ(クローラ型) 〔後方超小旋回型〕 山積0.28m3(平積0.2m3)	5,650	KTPC00054 KTPT00054
＜貸＞振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第～3次基準値)～超低騒音	7.29%	4,508	振動ローラ(舗装用) 〔搭乗式コンバインド型〕 質量3～4t	3,540	KTPC00009 KTPT00009
運転手（特殊）	67.28%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	8.54%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		774.1	積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m以上4.0m未満					
【補正式】 $774.1=857.6*{(8.01/100*6,961/5,650+7.29/100*4,508/3,540)*15.30/(8.01+7.29)+(67.28/100*23,562/28,900+8.88/100*20,298/25,400)*76.16/(67.28+8.88)+(8.54/100*148/138)*8.54/(8.54)+(100-15.30-76.16-8.54)/100}$					

06-150-6002-1101-1-0

段切部盛土（流用土）
施工幅員1.0m以上2.5m未満

VV000000005

施 工 代 価 表

単第0 -0024 表

頁 0 -0059

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土	1.11	m3	1,726	1,915	SKKN010801 単第0-0011 表
振動ローラ締固め 1.0m≦W<2.5m 路体・築堤	1	m3	387	387	SHKN0054 単第0-0012 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		2,553	

06-150-6002-4101-1-0

段切部盛土（流用土）
施工幅員1.0m未満

VV000000006

施 工 代 価 表

単第0 -0025 表

頁 0 -0060

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土	1.11	m3	1,726	1,915	SKKN010801 単第0-0011 表
振動ローラ締固め W<1.0m 路体・築堤	1	m3	548	548	SHKN0054 単第0-0018 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		2,714	

06-150-6002-4101-1-0

埋戻・盛土（流用土）
施工幅員1.0m未満

VV000000007

施工代価表

単第0 -0026 表

頁 0-0061

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土	1.11	m3	1,726	1,915	SKKN010801 単第0-0027 表
振動ローラ締固め R<1.0m 埋戻	1	m3	548	548	SHKN0054 単第0-0028 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		2,714	

06-150-6002-4101-1-0

盛土・埋戻（人力土工）
粘性土・礫質土

SKKN010801

施工代価表

単第0 -0027 表

頁 0-0062

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.850	人	20,298	17,253	RTPC00002
諸雑費	1	式		7	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) #91
*** 合計 ***	10	m3		17,260	
*** 単位当たり ***	1	m3		1,726	
A=2 C=1 粘性土・礫質土 締固めを計上しない			B=2 埋戻：人力まき出し		
QD = 11.765m3/日 算定式 = 10 / 普通作業員歩掛 = 10 / 0.850 = 11.765					

06-150-6002-4101-1-0

振動ローラ締固め
W<1.0m

SHKN0054

施工代価表

単第0 -0028 表

頁 0-0063

埋戻

100

m3

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-31_振動ローラ運転 ハンドガイド式 0.8~1.1t	2.000	日	27,420	54,840	S9000015 単第0-0019 表 100/50
諸雑費	1	式		0	#91
*** 合計 ***	100	m3		54,840	
*** 単位当たり ***	1	m3		548	
A=2 W<1.0m			B=3 埋戻		

06-150-6002-1101-1-0

人力荒仕上げ（整形工）
土砂

SKKN011601

施工代価表

単第0 -0029 表

頁 0-0064

10

m2

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員	0.120	人	20,298	2,435	RTPC00002 8休_現場閉所（～R7.3）（×1.02）
諸雑費	1	式		0	#91
*** 合計 ***	10	m2		2,435	
*** 単位当たり ***	1	m2		243	
A=1 土砂					
QD = 83.333m2/日 算定式 = 10 / 普通作業員歩掛 = 10 / 0.120 = 83.333					

06-150-6002-1101-1-0

法面整形		SPK25040025		施工代価表		単第0 -0030 表		頁 0-0065	
切上部 現場制約無し		レキ質上, 砂及び砂質上, 粘性上				1		m2 当り	
機械構成比: 9.24%		労務構成比: 81.28%		材料構成比: 9.48%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 918.9700	
代表機材規格(積算地区)		構成比		単価(積算地区)		代表機材規格(東京地区)		単価(東京地区)	
＜質＞バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音		9.24%		11,271		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		8,800	
普通作業員		38.72%		20,298		普通作業員		25,400	
運転手(特殊)		22.32%		23,562		運転手(特殊)		28,900	
土木一般世話役		20.24%		26,112		土木一般世話役		31,000	
軽油 バトロール給油		9.48%		148		軽油バトロール給油		138	
積算単価				810.5		積算単価		EP001	
A=2 切土部 D=2 レキ質上, 砂及び砂質上, 粘性上						C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			
【補正式】									
810.5=918.97*{(9.24/100*11,271/8,800)*9.24/(9.24)+(38.72/100*20,298/25,400+22.32/100*23,562/28,900+20.24/100*26,112/31,000)*81.28/(38.72+22.32+20.24)+(9.48/100*148/138)*9.48/(9.48)+(100-9.24-38.72-22.32-20.24)/100}									

06-150-6002-1101-1-0

法面整形		SPK25040025		施工代価表		単第0 -0031 表		頁 0-0066	
盛上部 法面締固め無し 現場制約無し		レキ質上, 砂及び砂質上, 粘性上				1		m2 当り	
機械構成比: 11.87%		労務構成比: 75.95%		材料構成比: 12.18%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 453.5800	
代表機材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
<質>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音		11.87%	11,271	バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		8,800	KTPC00018 KTPT00018		
普通作業員		33.62%	20,298	普通作業員		25,400	RTPC00002 RTPT00002		
運転手(特殊)		28.67%	23,562	運転手(特殊)		28,900	RTPC00006 RTPT00006		
土木一般世話役		13.66%	26,112	土木一般世話役		31,000	RTPC00009 RTPT00009		
軽油 バトロール給油		12.18%	148	軽油バトロール給油		138	TTPC00013 TTPT00013		
積算単価			408.3	積算単価			EP001		
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)				B=2 法面締固め無し D=2 レキ質上, 砂及び砂質上, 粘性上					
【補正式】									
408.3=153.58*{(11.87/100*11,271/8,800)*11.87/(11.87)+(33.62/100*20,298/25,400+28.67/100*23,562/28,900+13.66/100*26,112/31,000)*75.95/(33.62+28.67+13.66)+(12.18/100*148/138)*12.18/(12.18)+(100-11.87-75.95-12.18)/100}									

06-150-6002-1101-1-0

運搬
標準 土砂
機械構成比：44.67%
労務構成比：40.44%
材料構成比：14.89%
市場単価構成比：0.00%
標準単価：379.2900

SPK25040002
DID区間無し 距離0.3km以下

施工代価表

単第0 -0032 表
1 m3 当り

06-150-6002-1101-1-0

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%	20,847	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20,847	MTPC00018T1 MPTP00018T1
運転手(一般)	40.44%	21,522	運転手(一般)	23,600	RTPC00007 RTPT00007
軽油 バトロール給油	14.89%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		369.9	積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=1 距離0.3km以下			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		
【補正式】 369.9=379.29*[(44.67/100*20,847/20,847)*44.67/(44.67)+(40.44/100*21,522/23,600)*40.44/(40.44)+(14.89/100*148/138)*14.89/(14.89)+(100-44.67-40.44-14.89)/100]					

運搬・整地
標準 土砂
DID区間無し 距離0.3km以下

VV000000008

施工代価表

単第0 -0033 表
1 m3 当り

06-150-6002-1101-1-0

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
上砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離0.3km以下	1	m3	369.9	369	SPK25040002 単第0-0034 表
整地 残土受入れ地での処理	1	m3	125.2	125	SPK25040003 単第0-0035 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		494	

積込・運搬
標準 土砂

VV000000009
DID区間無し 距離0.3km以下

施工代価表

単第0 -0036 表

頁 0-0071

1m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	1	m3	227	227	SPK25040007 単第0-0005 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離0.3km以下	1	m3	369.9	369	SPK25040002 単第0-0034 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		596	

06-150-6002-1101-1-0

運搬(残土処理)
草木混合残土

VV000000010
DID区間無し 距離1.0km以下

施工代価表

単第0 -0037 表

頁 0-0072

1m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離1.0km以下(0.5km超)	1	m3	483.7	483	SPK25040002 単第0-0038 表
草木混合残土処分費 10t車/5.0m3相当	1	m 3	18,000	18,000	F0000000004
諸雑費	1	式		7	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		18,490	

06-150-6002-1101-1-0

土砂等運搬					
標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
機械構成比：44.67%					
労務構成比：40.44%					
材料構成比：14.89%					
市場単価構成比：0.00%					
標準単価：496.0000					
SPK25040002					
DID区間無し 距離1.0km以下(0.5km超)					
単第0 -0038 表					
1 m3 当り					
代表機材規格(積算地区)					
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]					
10t積級					
(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)					
構成比					
単価(積算地区)					
代表機材規格(東京地区)					
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]					
10t積級					
(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)					
単価(東京地区)					
備考					
MTPC00018T1					
MTPT00018T1					
運転手(一般)					
構成比					
単価(東京地区)					
運転手(一般)					
構成比					
単価(東京地区)					
RTPC00007					
RTPPT00007					
軽油					
バトロール給油					
構成比					
単価(東京地区)					
軽油バトロール給油					
構成比					
単価(東京地区)					
TTPC00013					
TTPPT00013					
積算単価					
単価(東京地区)					
積算単価					
単価(東京地区)					
EP001					
A=1 標準					
C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
E=4 距離1.0km以下(0.5km超)					
B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3)					
D=1 DID区間無し					
【補正式】					
483.7=496*{(44.67/100*20,847/20,847)*44.67/(44.67)+(40.44/100*21,522/23,600)*40.44/(40.44)+(14.89/100*148/138)*14.89/(14.89)+(100-44.67-40.44-14.89)/100}					
06-150-6002-1101-1-0					

運搬(購入土)					
人工鋼土					
VV000000011					
DID区間無し 距離11.5km以下					
単第0 -0039 表					
1 m3 当り					
名称・規格など					
数量					
単位					
単価					
金額					
備考					
上砂等運搬					
標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
DID区間無し 距離11.5km以下(9.5km超)					
ため池用盛土材					
人工鋼土					
大型ダンプ渡し、山渡し、積込手間含む					
諸雑費					
*** 単位当たり ***					
06-150-6002-1101-1-0					

施 工 代 価 表

単第0 -0040 表

土砂等運搬

SPK25040002

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

D1D区間無し 距離11.5km以下(9.5km超)

機械構成比: 44.67%

労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1 m3 1,808.9000 当り

代表機材材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%	20,847	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20,847	MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%	21,522	運転手(一般)	23,600	RTPC00007 RTPT00007
軽油 バトロール給油	14.89%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		1,765	積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=33 距離11.5km以下(9.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 D1D区間無し		
【補正式】 $1,765=1,808.9 * \{ (44.67/100 * 20,847/20,847) * 44.67 / (44.67) + (40.44/100 * 21,522/23,600) * 40.44 / (40.44) + (14.89/100 * 148/138) * 14.89 / (14.89) + (100 - 44.67 - 40.44 - 14.89) / 100 \}$					

06-150-6002-1101-1-0

施 工 代 価 表

単第0 -0041 表

[植生シート工(センチビードグラス)]

SYN2716

非分解型

種子散布相当

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植生シート工(センチビードグラス) 非分解 種子散布相当 材料・施工費含む	1.000	m2	1,776	1,776	TP530075
諸雑費	1	式		0	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.01) #91
*** 単位当たり ***	1	m2		1,776	
A=2 非分解型 C=2 [規]500m2以上1,000m2未満			B=1 種子散布相当 D=2 時間的制約なし		
設計単価 = 1,545 * (1 + 15/100) * 1.00 = 1,776(円) 小数点第1位切り捨て整数止め					

06-450-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

コンクリートブロック張工
目地モルタルを使用しない場合SKN020401
ブロック厚さ 10cm

単第0 -0042 表

10 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.150	人	26,112	3,916	RTPC00009
ブロック工	0.300	人	25,296	7,588	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00005
普通作業員	0.430	人	20,298	8,728	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00002
平張ブロック 厚 1 0 c m 200kg以上/m2	10.000	m 2	7,840	78,400	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) T2A32
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.45m3	0.300	口	41,470	12,441	S9035 単第0-0043 表
諸雑費	1	式		27	#91
*** 合計 ***	10	m2		111,100	
*** 単位当たり ***	1	m2		11,110	
A=2 目地モルタルを使用しない場合			B=1 ブロック厚さ 10cm		
QD = 20.0m2/日 算定式 = 10 / プラック工歩掛 = 10 / 0.5 = 20.0					

06-150-6002-1101-1-0

施 工 代 価 表

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊_山積0.45m3

S9035

単第0 -0043 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1.00	人	23,562	23,562	RTPC00006
軽油 バトロール給油	52.00	L	148	7,696	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) TTPC00013
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(～2011年基準値)～超低騒音	1.35	供用日	7,558	10,203	KTPC00005
諸雑費	1	式		9	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) #91
*** 単位当たり ***	1	口		41,470	
A=9 クレーン付2.9t吊_山積0.45m3 C=1 運転労務数量(人/口)			B=52 軽油消費量(L/日) D=1.35 機械賃料数量(供用口/口)		

06-150-6002-1101-1-0

施工代價表

参考-4-41

基礎工
18-8-40BB

VV000000012

施工代価表

単第0 -0045 表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.675	m3	38,390	25,913	SPK25040157 単第0-0046 表
型枠 一般型枠 小型構造物	6.498	m2	7,601	49,391	SPK25040159 単第0-0047 表
目地板 1工事当り使用量30m2未満 滲青繊維質目地板t=10mm	0.068	m2	3,958	269	SPK25040118 単第0-0048 表
床掘り 上砂 上記以外(小規模)	4.2	m3	1,939	8,143	SPK25040015 単第0-0049 表
積込(ルーズ) 上砂 小規模(標準)	3.9	m3	975.7	3,805	SPK25040007 単第0-0050 表
盛土・埋戻(人力土工) 粘性土・礫質土	3.5	m3	3,182	11,137	SKKN010801 単第0-0051 表
基面整正	3	m2	406	1,218	SPK25040017 単第0-0052 表
諸雑費	1	式		4	#99
*** 合計 ***	10	m		99,880	
*** 単位当たり ***	1	m		9,988	

06-150-6002-1101-1-0

コンクリート
小型構造物 18-8-40BB
機械借成比： 0.00% 労務構成比： 41.15% 材料構成比： 58.85% 市場単価構成比： 0.00%

SPK25040157

施工代価表

単第0 -0046 表

1 m3 当り
標準単価： 36,756.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	22.25%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTP700002
土木一般世話役	9.19%	26,112	土木一般世話役	31,000	RTPC00009 RTP700009
特殊作業員	7.69%	23,664	特殊作業員	28,300	RTPC00001 RTP700001
その他(労務)		606.27	その他(労務)		ER009
生コンクリート 18-8-40BB (W/C≦60%)	58.85%	24,550	生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%	20,400	TTPCD0010 TTP700343
積算単価		38,390	積算単価		F9999
A=2 小型構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		
【補正式】 38,390=36,756*{(22.25/100*20,298/25,400+9.19/100*26,112/31,000+7.69/100*23,664/28,300)*41.15/(22.25+9.19+7.69)+(58.85/100*24,550/20,400)*58.85/(58.85)+(100-41.15-58.85)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

型枠 一般型枠		SPK25040159		施工代価表		単第0 -0047 表		頁 0-0083	
機械構成比：0.00%		小型構造物 労務構成比：100.00%		材料構成比：0.00%		市場単価構成比：0.00%		標準単価：1 m2 9,147.6000 当り	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
型わく工		44.28%	25,500	型わく工		30,000	RTPC00010 RTPT00010		
普通作業員		30.82%	20,298	普通作業員		25,400	RTPC00002 RTPT00002		
土木一般世話役		11.86%	26,112	土木一般世話役		31,000	RTPC00009 RTPT00009		
その他(労務)			991.16	その他(労務)			ER009		
積算単価			7,601	積算単価			EP001		
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)				B=2 小型構造物					
【補正式】									
7,601=9,147.6*{(44.28/100*25,500/30,000+30.82/100*20,298/25,400+11.86/100*26,112/31,000)*100.00/(44.28+30.82+11.86)+(100-100.00)/100}									

目地板

SPK25040118

施工代価表

単第0 -0048 表

頁0-0084

1工事当り使用量30m2未満

漚青纖維質目地板 t=10mm

1

m2

当り

機械構成比：0.00%

労務構成比：64.40%

材料構成比：35.60%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：1

4,077.3000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員		47.36%	20,298	普通作業員		25,400	RTPC00002 RTP700002
土木一般世話役		16.72%	26,112	土木一般世話役		31,000	RTPC00009 RTP700009
その他(労務)			10.57	その他(労務)			ER009
目地板 漚青纖維質板 厚10mm		35.60%	1,500	目地板 漚青纖維質 t=10mm		1,190	TTPC00199 TTPT00199
積算単価			3,958	積算単価			EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満				B=1 漚青纖維質目地板 t=10mm			
【補正式】							
3,958=4,077.3*{(47.36/100*20,298/25,400+16.72/100*26,112/31,000)*64.40/(47.36+16.72)+(35.60/100*1,500/1,190)*35.60/(35.60)+(100-64.40-35.60)/100}							

06-150-6002-1101-1-0

床掘り		SPK25040015		施工代価表		単第0 -0049 表		頁 0-0085	
上砂 上記以外(小規模)								1 m3 当り	
機械構成比: 18.73%		労務構成比: 74.16%		材料構成比: 7.11%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 2,247.4000	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		18.73%	8,460	バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		8,460	MTPC00083 MPTP00083		
運転手(特殊)		40.26%	23,562	運転手(特殊)		28,900	RTPC00006 RTPT00006		
普通作業員		33.90%	20,298	普通作業員		25,400	RTPC00002 RTPT00002		
軽油 バトロール給油		7.11%	148	軽油バトロール給油		138	TTPC00013 TTPT00013		
積算単価			1,939	積算単価			EP001		
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)				B=5 上記以外(小規模)					
【補正式】									
1,939=2,247.4*{(18.73/100*8,460/8,460)*18.73/(18.73)+(40.26/100*23,562/28,900+33.90/100*20,298/25,400)*74.16/(40.26+33.90)+(7.11/100*148/138)*7.11/(7.11)+(100-18.73-74.16-7.11)/100}									

06-150-6002-1101-1-0

積込(ルーズ)

上砂

機械構成比：26.01%

労務構成比：62.89%

材料構成比：11.10%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：1,093.9000

1 m3 当り

SPK25040007

小規模(標準)

施工代価表

単第0 -0050 表

頁0-0086

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%	7,520	バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	7,520	MTPC00062 MPTP00062
運転手(特殊)	62.89%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
軽油 バトロール給油	11.10%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		975.7	積算単価		EP001
A=1 上砂			B=4 小規模(標準)		
【補正式】 975.7=1,093.9*{(26.01/100*7,520/7,520)*26.01/(26.01)+(62.89/100*23,562/28,900)*62.89/(62.89)+(11.10/100*148/138)*11.10/(11.10)+(100-26.01-62.89-11.10)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

盛土・埋戻（人力土工）
粘性土・礫質土

SKKX010801

施工代価表

単第0 -0051 表

頁 0-0087

10m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.560	人	23,664	13,251	RTPC00001 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	0.850	人	20,298	17,253	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	10.000	%	13,251	1,316	#09
*** 合計 ***	10	m3		31,820	
*** 単位当たり ***	1	m3		3,182	
A=2 粘性土・礫質土 C=4 タンバ（Ⅱ）			B=2 埋戻：人力まき出し		
QD = 11.765m3/口 算定式 = 10 / 普通作業員歩掛 = 10 / 0.850 = 11.765					

06-150-6002-1101-1-0

基面整正

SPK25040017

施工代価表

単第0 -0052 表

頁 0-0088

1m2当り

機械構成比：0.00% 労務構成比：100.00% 材料構成比：0.00% 市場単価構成比：0.00%

標準単価：508.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	100.00%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTP700002
積算単価		406.0	積算単価		EP001
【補正式】 406.0=508*{(100.00/100*20,298/25,400)*100.00/(100.00)+(100-100.00)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

法先水路
用水BF300

小運搬無し

VV000000013

施 工 代 価 表

単第0 -0053 表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
U型側溝 材料別途 L=2,000mm/本	10	m	3,212	32,120	SDT00013 単第0-0054 表
ベンチフリューム 300 L=2000	4.99	本	9,940	49,600	T2A84
ベンチフリュームパット 300mm用	4.99	個	470	2,345	TP130035
諸雑費	1	式		5	#99
*** 合計 ***	10	m		84,070	
*** 単位当たり ***	1	m		8,407	

06-450-6002-4101-1-0

U型側溝
材料別途 L=2,000mm/本

SDT00013

施 工 代 価 表

単第0 -0054 表

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_U型側溝【手間のみ】 L=2000_1000kg/個以下 時間的制約なし	1.000	m	3,212	3,212	TDT000725
諸雑費	1	式		0	#91
*** 単位当たり ***	1	m		3,212	
A=1 昼間施工 B=3 L=2,000mm/本 G=1 時間的制約なし J=2 基礎砕石を施工しない場合			B=6 材料別途 F=6 1,000≧重量 I=1 -		
設計単価 = 3,693 * (1.00 * 1.00 * 0.87) = 3,212 (円) 小数第1位切り捨て整数止め					

06-450-6002-4101-1-0

法先水路
用水BF600

VV000000014

施工代価表

単第0 -0055 表

頁 0-0091

小運搬無し

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
I型側溝 材料別途 L=2,000mm/本	10	m	3,212	32,120	SDT00013 単第0-0054 表
ベンチフリューム 600 L=2000	4.99	本	29,900	149,201	T2A89
ベンチフリュームパット 600mm用	4.99	個	900	4,491	TP130040
諸雑費	1	式		88	#99
*** 合計 ***	10	m		185,900	
*** 単位当たり ***	1	m		18,590	

06-150-6002-4101-1-0

コンクリート取壊し（鉄筋）

VV000000015

施工代価表

単第0 -0056 表

頁 0-0092

運搬・処分費を含む

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	1	m3	15,990	15,990	SDT00033 単第0-0057 表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	1	m3	1,841	1,841	SPK25040155 単第0-0058 表
処分費 Con殻(有筋) 中間処理(余材の産廃税相当額を含む)	1	m3	5,500	5,500	SA091 単第0-0059 表
諸雑費	1	式		9	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		23,340	

06-150-6002-4101-1-0

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

施工代価表

単第0 -0057 表

1m3 当り

頁0-0093

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3	15,983	15,983	TDT001573
諸雑費	1	式		7	#91
*** 単位当たり ***	1	m3		15,990	
A=1 昼間施工 C=1 -			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		
設計単価 = 15,983 * 1.00 = 15,983 (円) 小数第1位切り捨て整数止め					

06-150-6002-1101-1-0

殻運搬

SPK25040155

施工代価表

単第0 -0058 表

1m3 当り

頁0-0094

Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比： 40.77% 労務構成比： 44.82% 材料構成比： 14.41% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1,895.8000

DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%	20,847	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20,847	MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%	21,522	運転手(一般)	23,600	RTPC00007 RTPT00007
軽油 バトロール給油	14.41%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		1,841	積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		
【補正式】 1,841=1,895.8*{(40.77/100*20,847/20,847)*40.77/(40.77)+(44.82/100*21,522/23,600)*44.82/(44.82)+(14.41/100*148/138)*14.41/(14.41)+(100-40.77-44.82-14.41)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

06-450-6002-4101-1-0

施工代価表

06-450-6002-4101-1-0

裏込砕石
C-40

SPK25040035

施 工 代 価 表

単第0 -0061 表

1
m3 当り
6,546.5000

機械構成比： 4.22%	労務構成比： 69.23%	材料構成比： 26.55%	市場単価構成比： 0.00%	標準単価： 1	m3 当り 6,546.5000
代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	4.20%	11,271	バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)	8,800	KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)		1.67	その他(機械)		EK009
普通作業員	33.72%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	14.78%	23,664	特殊作業員	28,300	RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	11.61%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.71%	26,112	土木一般世話役	31,000	RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)		21.88	その他(労務)		ER009
クラッシャーラン C-40	21.99%	3,800	再生クラッシャーラン RC-40	1,200	TTPC00005 TTPT00008
軽油 バトロール給油	4.54%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013

06-150-6002-1101-1-0

裏込砕石
C-40

SPK25040035

施 工 代 価 表

単第0 -0061 表

1
m3 当り
6,546.5000

機械構成比： 4.22%	労務構成比： 69.23%	材料構成比： 26.55%	市場単価構成比： 0.00%	標準単価： 1	m3 当り 6,546.5000
代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)		3.67	その他(材料)		EZ009
積算単価		8,930	積算単価		EP001
A=2 C-40			C=1 -(全ての費用)		
【補正式】 $8,930 = 6,546.5 * \{ (4.20/100 * 11,271/8,800) * 4.22 / (4.20) + (33.72/100 * 20,298/25,400 + 14.78/100 * 23,664/28,300 + 11.61/100 * 23,562/28,900 + 8.71/100 * 26,112/31,000) * 69.23 / (33.72 + 14.78 + 11.61 + 8.71) + (21.99/100 * 3,800/1,200 + 4.54/100 * 148/138) * 26.55 / (21.99 + 4.54) + (100 - 4.22 - 69.23 - 26.55) / 100 \}$					

06-150-6002-1101-1-0

天端コンクリート		VV000000016		施 工 代 価 表		単第0 -0062 表		10 m 当り		頁 0-0099	
18-8-40BB											
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考					
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設		0.306	m3	38,390	11,747	SPK25040157 単第0-0046 表					
型枠 一般型枠 小型構造物		1.75	m2	7,601	13,301	SPK25040159 単第0-0047 表					
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板t=10mm		0.061	m2	3,958	241	SPK25040118 単第0-0048 表					
諸雑費		1	式		1	#99					
*** 合計 ***		10	m		25,290						
*** 単位当たり ***		1	m		2,529						

小口止工（1）
18-8-40BB

VV000000018

施工代価表

単第0 -0066 表

1

頁 0-0103

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.184	m3	38,390	7,063	SPK25040157 単第0-0046 表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.491	m2	7,601	11,333	SPK25040159 単第0-0047 表
諸雑費	1	式		4	#99
*** 単位当たり ***	1	箇所		18,400	

06-150-6002-1101-1-0

小口止工（2）
18-8-40BB

VV000000019

施工代価表

単第0 -0067 表

1

頁 0-0104

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.201	m3	38,390	7,716	SPK25040157 単第0-0046 表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.624	m2	7,601	12,344	SPK25040159 単第0-0047 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	箇所		20,060	

06-150-6002-1101-1-0

埋戻コンクリート		SPK25040157		施工代価表		単第0 -0068 表		頁 0-0105	
無筋構造物 18-8-25 (20)BB		人力打設				1		m3 当り	
機械構成比： 0.00%		労務構成比： 28.68%		材料構成比： 71.32%		市場単価構成比： 0.00%		標準単価： 30,615.0000	
代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
普通作業員		12.85%	20,298	普通作業員		25,400	RTPC00002 RTPT00002		
特殊作業員		7.30%	23,664	特殊作業員		28,300	RTPC00001 RTPT00001		
土木一般世話役		6.58%	26,112	土木一般世話役		31,000	RTPC00009 RTPT00009		
その他(労務)			489.46	その他(労務)			ER009		
生コンクリート 18-8-20 (25)BB (W/C≦60%)		71.32%	24,550	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%		20,400	TTPC00003 TTPT00343		
積算単価			33,480	積算単価			F9999		
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25 (20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)				B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -					
【補正式】 33,480=30,615*{(12.85/100*20,298/25,400+7.30/100*23,664/28,300+6.58/100*26,112/31,000)*28.68/(12.85+7.30+6.58)+(71.32/100*24,550/20,400)*71.32/(71.32) +(100-28.68-71.32)/100}									

06-150-6002-1101-1-0

埋戻 (軟土)

施工幅員4.0m以上

機械構成比：17.31%

労務構成比：67.71%

材料構成比：14.98%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：240.2900

SPKN2504004

施工数量20,000m3未満 障害無し

単第0 -0069 表

1

m3

当り

0-0106

施工代価表

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
〈貨〉ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第〜3次基準値)低騒音		10.87%	7,558	〈貨〉ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		6,010	KTPC00036 KTPT00036
〈貨〉振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11〜12t 排出ガス対策型(〜2014年基準値)低騒音		6.44%	13,193	振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11〜12t		11,200	KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)		46.57%	23,562	運転手(特殊)		28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員		21.14%	20,298	普通作業員		25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油		14.98%	148	軽油バトロール給油		138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価			221.6	積算単価			EP001
A=2 C=1	施工幅員4.0m以上 障害無し			B=1	施工数量20,000m3未満		
【補正式】 221.6=240.29*{(10.87/100*7,558/6,010+6.44/100*13,193/11,200)*17.31/(10.87+6.44)+(14.98/100*23,562/28,900+21.14/100*20,298/25,400)*67.71/(14.98+21.14)+(14.98/100*148/138)*14.98/(14.98)+(100-17.31-67.71-14.98)/100}							

06-150-6002-1101-1-0

埋戻（韃土）

SPKN2504004

施工代価表

単第0 -0070 表

頁 0-0107

施工幅員2.5m以上4.0m未満

1

m3 当り

機械構成比： 15.30%

労務構成比： 76.16%

材料構成比： 8.54%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 857.6000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貨＞後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	8.01%	6,961	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)	5,650	KTPC00054 KTPT00054
＜貨＞振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第～3次基準値)～超低騒音	7.29%	4,508	振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t	3,540	KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	67.28%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	8.54%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		774.1	積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m以上4.0m未満					
【補正式】 774.1=857.6*{(8.01/100*6,961/5,650+7.29/100*4,508/3,540)*15.30/(8.01+7.29)+(67.28/100*23,562/28,900+8.88/100*20,298/25,400)*76.16/(67.28+8.88)+(8.54/100*148/138)*8.54/(8.54)+(100-15.30-76.16-8.54)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

埋戻（韃土）		VV000000020		施 工 代 価 表		単第0 -0071 表		頁0-0108	
施工幅員1.0m以上2.5m未満						1		m 3 当り	
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満		1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表			
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土		1.11	m3	1,726	1,915	SKKN010801 単第0-0027 表			
振動ローラ締固め 1.0m≦W<2.5m 埋戻		1	m3	387	387	SHKN0054 単第0-0072 表			
諸雑費		1	式		0	#99			
*** 単位当たり ***		1	m 3		2,553				

06-450-6002-4101-1-0

振動ローラ締固め
1.0m≦W<2.5m

SHKN0054

施工代価表

単第0 -0072 表

頁0-0109

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-28 振動ローラ運転 (賃料) 搭乗式コンバインド型 3.0~4.0t	1.163	日	33,290	38,716	S9202 単第0-0013 表 100/86
諸雑費	1	式		4	#91
*** 合計 ***	100	m3		38,720	
*** 単位当たり ***	1	m3		387	
A=1 1.0m≦W<2.5m			B=3 埋戻		

06-150-6002-4101-1-0

埋戻 (韃土)

VV000000021

施工代価表

単第0 -0073 表

頁0-0110

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込 (ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻 (人力土工) 粘性土・礫質土	1.11	m3	1,726	1,915	SKKN010801 単第0-0027 表
振動ローラ締固め W<1.0m 埋戻	1	m3	548	548	SHKN0054 単第0-0028 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		2,714	

06-150-6002-4101-1-0

埋戻 (轄土)
構造物周辺

VV000000022

施工代価表

単第0 -0074 表

1 m 3 当り

頁 0-0111

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛上・埋戻 (人力上工) 粘性土・礫質土	1	m3	3,182	3,182	SKKN010801 単第0-0051 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		3,433	

06-150-6002-1101-1-0

埋戻 (鋼土)

SPK25040004

施工代価表

単第0 -0075 表

1 m 3 当り

頁 0-0112

施工幅員4.0m以上
機械構成比： 17.31% 労務構成比： 67.71% 材料構成比： 14.98% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 240,2900

施工数量20,000m3未満 障害無し

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜賃＞ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第～3次基準値)低騒音	10.87%	7,558	＜賃＞ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	6,010	KTPC00036 KTPT00036
＜賃＞振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11～12t 排出ガス対策型(～2014年基準値)低騒音	6.44%	13,193	振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11～12t	11,200	KTPC00058 KTPT00058
運転手 (特殊)	46.57%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.14%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	14.98%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		221.6	積算単価		EP001
A=3 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		
【補正式】 221.6=240.29*(10.87/100*7,558/6,010+6.44/100*13,193/11,200)*17.31/(10.87+6.44)+(46.57/100*23,562/28,900+21.14/100*20,298/25,400)*67.71/(46.57+21.14)+ (14.98/100*148/138)*14.98/(14.98)+(100-17.31-67.71-14.98)/100;					

06-150-6002-1101-1-0

埋戻（鋼土）		VV000000020		施 工 代 価 表		単第0 -0076 表		頁 0-0113	
施工幅員1.0m以上2.5m未満								1	m 3
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満		1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表			
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土		1.11	m3	1,726	1,915	SKKN010801 単第0-0027 表			
振動ローラ締固め 1.0m≦W<2.5m 埋戻		1	m3	387	387	SHKN0054 単第0-0072 表			
諸雑費		1	式		0	#99			
*** 単位当たり ***		1	m 3		2,553				

埋戻（鋼土）
構造物周辺

VV000000022

施工代価表

単第0 -0078 表

頁0-0115

1 m 3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込（ルーズ） 土砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛上・埋戻（人力上工） 粘性土・礫質土	1	m3	3,182	3,182	SKKN010801 単第0-0051 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		3,433	

06-150-6002-1101-1-0

盛土（韃土）
施工幅員2.5m以上4.0m未満

SPKN2504004

施工代価表

単第0 -0079 表

頁0-0116

1 m3 当り

機械構成比： 15.30% 労務構成比： 76.16% 材料構成比： 8.54% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 857.6000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貨＞後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	8.01%	6,961	バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)	5,650	KTPC00054 KTPT00054
＜貨＞振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第～3次基準値)～超低騒音	7.29%	4,508	振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t	3,540	KTPC00009 KTPT00009
運転手（特殊）	67.28%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.88%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	8.54%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		774.1	積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m以上4.0m未満					
【補正式】 774.1=857.6*{(8.01/100*6,961/5,650+7.29/100*4,508/3,540)*15.30/(8.01+7.29)+(67.28/100*23,562/28,900+8.88/100*20,298/25,400)*76.16/(67.28+8.88)+(8.54/100*148/138)*8.54/(8.54)+(100-15.30-76.16-8.54)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

地盤改良工

SPK25040024

施工代価表

単第0 -0080 表

混合深さ1mを超え2m以下 6.65t/100m2

セメント系固化材 一般軟弱土用

1

m2

当り

機械構成比： 7.48%

労務構成比： 51.97%

材料構成比： 40.55%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

2,954.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈貸〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	6.70%	12,132	バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t	9,840	KTPC00006 KTPT00006
振動ローラ(舗装用)(ハンドガイド式) 質量0.6～0.7t	0.78%	1,591	振動ローラ(舗装用)(ハンドガイド式) 質量0.6～0.7t	1,330	KTPC00071 KTPT00071
土木一般世話役	14.21%	26,112	土木一般世話役	31,000	RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	13.21%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.94%	23,664	特殊作業員	28,300	RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	11.61%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
セメント系固化材 一般軟弱土用、フレコン (1tパック)	34.47%	136,325	セメント系固化材 特殊土用・フレコン・1tパック 【標準数量 5.25t/100m2】	102,000	TTPC00050 TTPT00397
軽油 バトロール給油	6.08%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		3,091	積算単価		E9999

06-150-6002-1101-1-0

地盤改良工

SPK25040024

施工代価表

単第0 -0080 表

混合深さ1mを超え2m以下 6.65t/100m2

セメント系固化材 一般軟弱土用

1

m2

当り

機械構成比： 7.48%

労務構成比： 51.97%

材料構成比： 40.55%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

2,954.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=2 バックホウ C=4 混合深さ1mを超え2m以下 F=1 セメント系固化材 一般軟弱土用			B=2 構造物基礎 D=6.65 固化材100m2当り使用量(実数入力)(t)		
【補正式】					
$3,091=2,954.2 \times \{ (6.70/100 \times 12,132/9,840 + 0.78/100 \times 1,591/1,330) \times 7.48 / (6.70 + 0.78) + (14.21/100 \times 26,112/31,000 + 13.21/100 \times 23,562/28,900 + 12.94/100 \times 23,664/28,300 + 11.61/100 \times 20,298/25,400) \times 51.97 / (14.21 + 13.21 + 12.94 + 11.61) + (34.47/100 \times 136,325/102,000 + 6.08/100 \times 148/138) \times 40.55 / (34.47 + 6.08) + (100 - 7.48 - 51.97 - 40.55) / 100 \}$					
【固化材単価】 固化材単価(円) * 固化材100m2当り使用量(t) 固化材100m2当り使用量(t) : 6.650(t)					

06-150-6002-1101-1-0

[植生シート工(センチビードグラス)]
非分解型

SYN2716
種子散布相当

施工代価表

単第0 -0081 表

頁0-0119

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植生シート工(センチビードグラス) 非分解 種子散布相当 材料・施工費含む	1.000	m2	2,472	2,472	TP530075
諸雑費	1	式		0	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.01) #91
*** 単位当たり ***	1	m2		2,472	
A=2 非分解型 C=5 [規]100m2未満			B=1 種子散布相当 D=2 時間的制約なし		
設計単価 = 1,545 * (1 + 60/100) * 1.00 = 2,472(円) 小数点第1位切り捨て整数止め					

06-150-6002-1101-1-0

コンクリート

SPK25040157

施工代価表

単第0 -0082 表

頁0-0120

無筋・鉄筋構造物 24-12-25 (20)BB	人力打設				
機械構成比： 0.00%	労務構成比： 28.68%	材料構成比： 71.32%	市場単価構成比： 0.00%	標準単価： 1 m3 30,615.0000	当り
代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.85%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTP700002
特殊作業員	7.30%	23,664	特殊作業員	28,300	RTPC00001 RTP700001
土木一般世話役	6.58%	26,112	土木一般世話役	31,000	RTPC00009 RTP700009
その他(労務)		489.46	その他(労務)		ER009
生コンクリート 24-12-20 (25)BB (W/C≤55%)	71.32%	24,950	生コンクリート 高炉 24-12-25 (20) W/C 55%	20,400	TTPC00343 TTP700343
積算単価		33,910	積算単価		F9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25 (20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		
【補正式】 33,910=30,615*{(12.85/100*20,298/25,400+7.30/100*23,664/28,300+6.58/100*26,112/31,000)*28.68/(12.85+7.30+6.58)}+(71.32/100*24,950/20,400)*71.32/(71.32) +(100-28.68-71.32)/100]					

06-150-6002-1101-1-0

型枠
一般型枠

SPK25040159

施工代価表

単第0 -0083 表

頁 0-0121

鉄筋・無筋構造物

1
m2
当り

機械構成比：0.00%

労務構成比：100.00%

材料構成比：0.00%

市場単価構成比：0.00%

標準単価：10,100.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%	25,500	型わく工	30,000	RTPC00010 RPT00010
普通作業員	25.14%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RPT00002
土木一般世話役	9.51%	26,112	土木一般世話役	31,000	RTPC00009 RPT00009
その他(労務)		1,573.15	その他(労務)		ER009
積算単価		8,418	積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		
【補正式】 8,418=10,100*{(46.66/100*25,500/30,000+25.14/100*20,298/25,400+9.51/100*26,112/31,000)*100.00/(46.66+25.14+9.51)+(100-100.00)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

鉄筋工 SD345_D13		SS000099 一般構造物 [規]10t未満		施工代価表		単第0 -0084 表		頁0-0122	
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
鉄筋工 [手間] 一般構造物		1.000	t	68,034	68,034	TSPC00001			
異形棒鋼<JISG3112> SD345, D13 単位質量0.995kg/m		1.000	t	105,060	105,060	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) TTPC00001			
諸雑費		1	式		6	#91			
*** 単位当たり ***		1	t		173,100				
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満				B=5 SD345_D13 E=1 - H=1 -					
I=1 - K=1 -				J=1 -					
設計単価 = 59,160*(1+15/100)*(1.00*1.00*1.00*1.00)*1.00 = 68,034(円) 小数点第1位切り捨て整数止め									
材料費 = 1*1.03*102,000 = 105,060(円) 小数点第1位切り捨て整数止め									

06-150-6002-1101-1-0

止水板		SPK25040119		施工代価表		単第0 -0085 表		頁0-0123	
幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)						1		m 当り	
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 55.88%		材料構成比: 44.12%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 2,958.6000	
代表機劣材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
普通作業員		41.22%	20,298	普通作業員		25,400	RTPC00002 RTPT00002		
土木一般世話役		14.66%	26,112	土木一般世話役		31,000	RTPC00009 RTPT00009		
塩ビ製止水板 CF 200×5mm		44.12%	1,290	塩ビ製止水板 CF 幅200×厚さ5mm		1,220	TTPC00198 TTPT00198		
積算単価			2,721	積算単価			EP001		
A=1 幅CF200×厚さ5mm(塩ビ製)									
【補正式】		2,721=2,958.6*{(41.22/100*20,298/25,400+14.66/100*26,112/31,000)*55.88/(41.22+14.66)+(44.12/100*1,290/1,220)*44.12/(44.12)+(100-55.88-44.12)/100}							

06-150-6002-1101-1-0

止水板		SPK25040119		施工代価表		単第0 -0086 表		頁0-0124	
幅FF100×厚さ5mm(塩ビ製)						1		m 当り	
機械構成比: 0.00%		労務構成比: 55.88%		材料構成比: 44.12%		市場単価構成比: 0.00%		標準単価: 2,958.6000	
代表機劣材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考		
普通作業員		41.22%	20,298	普通作業員		25,400	RTPC00002 RTP700002		
土木一般世話役		14.66%	26,112	土木一般世話役		31,000	RTPC00009 RTP700009		
塩ビ製止水版 FF (フット形フット) 幅100×厚5mm		44.12%	530	塩ビ製止水板 CF 幅200×厚さ5mm		1,220	F0000000007 TTPT00198		
積算単価			1,907	積算単価			EP001		
A=9 止水板各種(塩ビ製)				B=7 【F】 止水板(m)					
【補正式】									
1,907=2,958.6*{(41.22/100*20,298/25,400+14.66/100*26,112/31,000)*55.88/(41.22+14.66)+(44.12/100*530/1,220)*44.12/(44.12)+(100-55.88-44.12)/100}									

06-150-6002-1101-1-0

ダウエルバー取付
異形棒鋼

SKKN030701

施工代価表

単第0 -0087 表

頁0-0125

D 1 6

10 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16 単位質量1.56kg/m	0.016	t	100,000	1,600	TTPC00056
硬質ポリ塩化ビニル管 一般管VP 径20 長1.0m	1.250	本	721	901	TP050014
上木一般世話役	0.030	人	26,112	783	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	0.140	人	20,298	2,841	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	1	式		0	#91
*** 合計 ***	10	本		6,125	
*** 単位当たり ***	1	本		612	
A=1 D 1 6					
QD = 71.429本/日 算定式 = 10 / 普通作業員歩掛 = 10 / 0.14 = 71.429					

06-150-6002-1101-1-0

目地板

SPK25040118

施工代価表

単第0 -0088 表

頁0-0126

1工事当り使用量30m2未満
機械構成比： 0.00% 労務構成比： 64.40% ゴム発泡体t=10mm 材料構成比： 35.60% 市場単価構成比： 0.00%

1 m2 当り
標準単価： 4,077.3000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.36%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTP700002
土木一般世話役	16.72%	26,112	土木一般世話役	31,000	RTPC00009 RTP700009
その他(労務)		10.57	その他(労務)		ER009
目地板 ゴム発泡体 t=10mm	35.60%	1,170	目地板 漂青繊維質 t=10mm	1,190	TTPCD0148 TTPT00199
積算単価		3,556	積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=5 ゴム発泡体t=10mm		
【補正式】 3,556-4,077.3*{(47.36/100*20,298/25,400+16.72/100*26,112/31,000)*64.40/(47.36+16.72)}+(35.60/100*1,170/1,190)*35.60/(35.60+(100-64.40-35.60)/100)					

06-150-6002-1101-1-0

進入路床版

VV000000001

施 工 代 価 表

単第0 -0089 表

10 枚 当り

T-2、3.30m×1.00m×0.125m

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プレキャストコンクリート床版 T-2、3.30m×1.00m×0.125m	10	枚	126,800	1,268,000	F0000000001
土木一般世話役	0.27	人	26,112	7,050	R0250 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
特殊作業員	0.27	人	23,664	6,389	R0010 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	1.06	人	20,298	21,515	R0020 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
＜作＞ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第2次基準値)低騒音	0.27	口	42,432	11,456	KTPC00043 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
雑材料	5	%	34,954	1,590	#09
*** 合計 ***	10	枚		1,316,000	
*** 単位当たり ***	1	枚		131,600	

06-150-6002-4101-1-0

転落防止柵

VV000000002

施 工 代 価 表

単第0 -0090 表

10 m 当り

h=1.1m

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
転落防止柵 h=1.1m, φ 42.7×2.3, 4段t'-A, 構造物建込	10	m	10,500	105,000	F0000000002
土木一般世話役	0.76	人	26,112	19,845	R0250 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
特殊作業員	0.76	人	23,664	17,984	R0010 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	1.52	人	20,298	30,852	R0020 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
雑材料	15	%	68,681	10,219	#09
*** 合計 ***	10	m		183,900	
*** 単位当たり ***	1	m		18,390	

06-150-6002-4101-1-0

ゴム支承
B=300mm、t=10mm

VV000000003

施工代価表

単第0 -0091 表

頁0-0129

10m当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ゴム支承 B=300mm, t=10mm	10	枚	18,600	186,000	F0000000003
*** 合計 ***	10	m		186,000	
*** 単位当たり ***	1	m		18,600	

06-150-6002-1101-1-0

モルタル練

SPK25040158

施工代価表

単第0 -0092 表

頁0-0130

1m3当り

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 82.04% 材料構成比： 17.96% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価： 102,720.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.42%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTP700002
土木一般世話役	27.46%	26,112	土木一般世話役	31,000	RTPC00009 RTP700009
その他(労務)		133.71	その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	12.48%	26,000	セメント(高炉B) 25kg袋入	24,200	TTPCD00094 TTPT000063
コンクリート用骨材 砂(細目(洗い))	5.48%	4,700	砂 細目(洗い)	5,370	TTPC000066 TTPT000066
積算単価		87,270	積算単価		EP001
A=2 普通			B=1 -(全ての費用)		
【補正式】 87,270=102,720*{(54.42/100*20,298/25,400+27.46/100*26,112/31,000)*82.04/(54.42+27.46)}+(12.48/100*26,000/24,200+5.48/100*4,700/5,370)*17.96/(12.48+5.48))+(100-82.04-17.96)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

1号接続樹工

VV000000024

施 工 代 価 表

単第0 -0093 表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	3.4	m3	38,390	130,526	SPK25040157 単第0-0046 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.7	m3	33,480	23,436	SPK25040157 単第0-0064 表
型枠 一般型枠 小型構造物	18.4	m2	7,601	139,858	SPK25040159 単第0-0047 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	1.1	m2	4,276	4,703	SPK25040159 単第0-0065 表
基面整正	6.5	m2	406	2,639	SPK25040017 単第0-0052 表
諸雑費	1	式		38	#99
*** 単位当たり ***	1	箇所		301,200	

06-150-6002-4101-1-0

2号接続樹工

VV000000025

施 工 代 価 表

単第0 -0094 表

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.7	m3	38,390	26,873	SPK25040157 単第0-0046 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.1	m3	33,480	3,348	SPK25040157 単第0-0064 表
型枠 一般型枠 小型構造物	5.6	m2	7,601	42,565	SPK25040159 単第0-0047 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート	0.5	m2	4,276	2,138	SPK25040159 単第0-0065 表
基面整正	1.1	m2	406	446	SPK25040017 単第0-0052 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	箇所		75,370	

06-150-6002-4101-1-0

復旧工

VV000000026

施工代価表

単第0 -0095 表

1

箇所 当り

頁0-0133

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
BF600 用水BF600 小運搬無し	4	m	18,590	74,360	VV000000014 単第0-0096 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB 人力打設	0.1	m3	38,390	3,839	SPK25040157 単第0-0046 表
型枠 一般型枠 小型構造物	1.1	m2	7,601	8,361	SPK25040159 単第0-0047 表
差筋アンカー φ16-150mm 単位質量1.56kg/m	7	本	38	266	VV000000027 単第0-0097 表
諸雑費	1	式		4	#99
*** 単位当たり ***	1	箇所		86,830	

06-150-6002-4101-1-0

BF600

VV000000014

施工代価表

単第0 -0096 表

10

m 当り

頁0-0134

用水BF600

小運搬無し

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
U型側溝 材料別途 L=2,000mm/本	10	m	3,212	32,120	SDT00013 単第0-0054 表
ベンチフリューム 600 L=2000	4.99	本	29,900	149,201	T2A89
ベンチフリュームパット 600mm用	4.99	個	900	4,491	TP130040
諸雑費	1	式		88	#99
*** 合計 ***	10	m		185,900	
*** 単位当たり ***	1	m		18,590	

06-150-6002-4101-1-0

差筋アンカー

単位質量1.56kg/m

単第0 -0097 表

100 本 当り

頁0-0135

VV000000027

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 SD345_D16~D25 一般構造物 [規]10t未満	0.023	t	167,700	3,857	SS000099 単第0-0098 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 合計 ***	100	本		3,857	
*** 単位当たり ***	1	本		38	

06-450-6002-4101-1-0

鉄筋工

単位質量1.56kg/m

単第0 -0098 表

1 t 当り

頁0-0136

SS000099

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋工 [手間] 一般構造物	1.000	t	64,632	64,632	TSPC00001
異形棒鋼<JISG3112> SD345, D16~25	1.000	t	103,000	103,000	8休_現場閉所 (~R7.3) (×1.02) TTPCD0072
諸雑費	1	式		68	#91
*** 単位当たり ***	1	t		167,700	
A=1 - D=1 一般構造物 F=2 [規]10t未満 I=1 - K=6 差筋及び杭頭処理			B=6 SD345_D16~D25 E=1 - H=1 - J=1 -		
設計単価 = 59,160*(1+15/100)*(1.00*1.00*1.00*1.00)*0.95 = 64,632(円) 小数点第1位切り捨て整数止め					
材料費 = 1*1.03*100,000 = 103,000(円) 小数点第1位切り捨て整数止め					

06-450-6002-4101-1-0

盛土（鋼土）
構造物周辺

VV000000028

施工代価表

単第0 -0099 表

頁0-0137

1m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土	1	m3	3,182	3,182	SKKN010801 単第0-0100 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		3,433	

06-150-6002-4101-1-0

盛土・埋戻（人力土工）
粘性土・礫質土

SKKN010801

施工代価表

単第0 -0100 表

頁0-0138

10m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊作業員	0.560	人	23,664	13,251	RTPC00001 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	0.850	人	20,298	17,253	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	10.000	%	13,251	1,316	#09
*** 合計 ***	10	m3		31,820	
*** 単位当たり ***	1	m3		3,182	
A=2 粘性土・礫質土 C=4 タンバ（Ⅱ）			B=1 盛土：人力まき出し		
QD = 11.765m3/日 算定式 = 10 / 普通作業員歩掛 = 10 / 0.850 = 11.765					

06-150-6002-4101-1-0

盛土 (鋼土)
タンバ転圧

VV000000029

施工代価表

単第0 -0101 表

頁 0-0139

1m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻 (人力上工) 粘性土・礫質土	1	m3	3,182	3,182	SKKN010801 単第0-0100 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		3,433	

06-150-6002-1101-1-0

仮設盛土工

SPKN2504004

施工代価表

単第0 -0102 表

頁 0-0140

1m3 当り

施工幅員4.0m以上
機械構成比：17.31% 労務構成比：67.71% 材料構成比：14.98% 市場単価構成比：0.00% 標準単価：240,2900

施工数量20,000m3未満 障害無し

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第〜3次基準値)低騒音	10.87%	7,558	<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	6,010	KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11〜12t 排出ガス対策型(〜2014年基準値)低騒音	6.44%	13,193	振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11〜12t	11,200	KTPC00058 KTPT00058
運転手 (特殊)	46.57%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.14%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	14.98%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		221.6	積算単価		EP001
A=2 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		
【補正式】 221.6=240.29*(10.87/100*7,558/6,010+6.44/100*13,193/11,200)*17.31/(10.87+6.44)+(46.57/100*23,562/28,900+21.14/100*20,298/25,400)*67.71/(46.57+21.14)+ (14.98/100*148/138)*14.98/(14.98)+(100-17.31-67.71-14.98)/100;					

06-150-6002-1101-1-0

06-450-6002-4101-1-0

06-450-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

機-1_バックホウ運転

S9006

単第0 -0105 表

クローラ[標準]山積0.28m3 (平積0.2m3)

排出ガス対策型2次基準

1

時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手 (特殊)	0.17	人	23,562	4,005	RTPC00006 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
軽油 バトロール給油	5.90	L	148	873	TTPC00013
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	1	時間	1,930	1,930	MTPC00062
諸雑費	1	式		0	#91
*** 単位当たり ***	1	時間		6,808	
A=1 クローラ[標準]山積0.28m3 (平積0.2m3) C=0 労務単価の夜間等割増率 E=0 運転労務数量 (人/h) 標準=省略			B=1 岩石工損料割増 無し D=3 排出ガス対策型2次基準 F=0 燃料消費量 (L/h) 標準=省略		
運転日当運転時間 T = 700 (3欄) / 120 (4欄) = 5.8 運転労務歩掛 1/T = 1 / 5.8 = 0.17 燃料消費量 (時間当り) = 41.000 (kW) × 0.144 (燃料消費率) = 5.900 (L/時間) 損料表③欄 = 1,930					

06-150-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

機-28_振動ローラ運転 (賃料)

S9202

単第0 -0106 表

搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t

1

日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手 (特殊)	1.00	人	23,562	23,562	RTPC00006 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
軽油 バトロール給油	21.00	L	148	3,108	TTPC00013
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第～3次基準値)～超低騒音	2.38	供用口	4,508	10,729	KTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	1	式		1	#91
*** 単位当たり ***	1	口		37,400	
A=9 搭乗式コンバインド型 3.0～4.0t C=21 軽油消費量 (L/口) E=2 排出ガス対策型			B=1 運転労務数量 (人/日) D=2.38 機械賃料数量 (供用口/口)		

06-150-6002-4101-1-0

コンクリート継目工（ペイント塗装）

SKN030601

施 工 代 価 表

単第0 -0107 表

10 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.070	人	26,112	1,827	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	0.810	人	20,298	16,441	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	2.000	%	18,268	362	#09
*** 合計 ***	10	m2		18,630	
*** 単位当たり ***	1	m2		1,863	
QD = 19.231m2/日 算定式 = 10 / 普通作業員歩掛 = 10 / 0.52 = 19.231					

06-150-6002-4101-1-0

足場工

SB685

施 工 代 価 表

単第0 -0108 表

100 掛m2 当り

手摺先行型枠組足場 安全ネットなし

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.600	人	26,112	41,779	RTPC00009 1.6*1 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
とび工	7.000	人	26,724	187,068	RTPC00004 7*1 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	1.300	人	20,298	26,387	RTPC00002 1.3*1 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(～2014年基準値)低騒音	1.4	口	59,568	83,395	KTPC00014 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	34	%	338,629	115,071	#09 (労+機)×率
*** 合計 ***	100	掛m2		453,700	
*** 単位当たり ***	1	掛m2		4,537	
A=1 手摺先行型枠組足場 D=0 R T C賃料補正(1+α)標準=省略			B=1 安全ネットなし E=1 割増なし		

06-150-6002-4101-1-0

支保工

SB695

施工代価表

単第0 -0109 表

頁0-0147

総設置数量40空m3以下

支保耐力10kN/m2以下

10

空m3

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
上木一般世話役	0.290	人	26,112	7,572	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
型わく工	0.530	人	25,500	13,515	RTPC00010 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
とび工	0.250	人	26,724	6,681	RTPC00004 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	0.570	人	20,298	11,569	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	13	%	39,337	5,113	#09 (労務) × 率
*** 合計 ***	10	空m3		44,450	
*** 単位当たり ***	1	空m3		4,445	

06-150-6002-1101-1-0

06-150-6002-1101-1-0

遠心力鉄筋コンクリート管(B形管)

据付 管径800mm

機械構成比：1.69%

労務構成比：21.72%

SPKN2504076

外圧管1種

材料構成比：76.59%

施工代価表

単第0 -0110 表

標準単価：41,698.0000

1m 当り

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型・クレーン機能付・～2014規制] 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	1.44%	8,486	バックホウ(クローラ型)(後方超小旋回型) クレーン機能付 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	7,050	KTPC00067 KTPT00067
その他(機械)		125.47	その他(機械)		EK009
普通作業員	8.52%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	4.15%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
上木一般世話役	3.71%	26,112	上木一般世話役	31,000	RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	2.03%	23,664	特殊作業員	28,300	RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)		1,125.64	その他(労務)		ER009
ヒューム管(JISA5372) 外圧管,B形1種,呼び径800,長さ2430	75.47%	93,500	ヒューム管 外圧管,B形1種 径800mm×長さ2,430mm	76,700	TTPT00116 TTPT00116
軽油 バトロール給油	0.95%	148	軽油バトロール給油	138	TTPT00013 TTPT00013

06-150-6002-1101-1-0

06-150-6002-1101-1-0

施 工 代 価 表

単第0 -0110 表

遠心力鉄筋コンクリート管(B形管)

SPKN2504076

据付 管径800mm

外圧管1種

機械構成比 :

1.69%

労務構成比 :

21.72%

材料構成比 :

76.59%

市場単価構成比 :

0.00%

標準単価 :

1 m 当り
41,698.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)		86.28	その他(材料)		EZ009
積算単価		47,110	積算単価		EP001
A=1 据付 C=1 外圧管1種			B=10 管径800mm D=1 -(全ての費用)		
【補正式】 $47,110=41,698*\{(1.44/100*8,486/7,050)*1.69/(1.44)+(8.52/100*20,298/25,400+4.15/100*23,562/28,900+3.71/100*26,112/31,000+2.03/100*23,664/28,300)*21.72/(8.52+4.15+3.71+2.03)+(75.47/100*93,500/76,700+0.95/100*148/138)*76.59/(75.47+0.95)+(100-1.69-21.72-76.59)/100\}$					

06-150-6002-1101-1-0

施 工 代 価 表

単第0 -0111 表

止水板

SPK25040119

幅CF150×厚さ5mm(塩ビ製)

機械構成比 :

0.00%

労務構成比 :

55.88%

材料構成比 :

44.12%

市場単価構成比 :

0.00%

標準単価 :

1 m 当り
2,958.6000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	41.22%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTP700002
土木一般世話役	14.66%	26,112	土木一般世話役	31,000	RTPC00009 RTP700009
塩ビ製止水板 CF (センターハブ形フラット) 幅150×厚5mm	44.12%	1,030	塩ビ製止水板 CF 幅200×厚さ5mm	1,220	F000000008 TTPT00198
積算単価		2,442	積算単価		EP001
A=9 止水板各種(塩ビ製)			B=8 【F】 止水板(m)		
【補正式】 $2,442=2,958.6*\{(41.22/100*20,298/25,400+14.66/100*26,112/31,000)*55.88/(41.22+14.66)+(44.12/100*1,030/1,220)*44.12/(44.12)+(100-55.88-44.12)/100\}$					

06-150-6002-1101-1-0

目地板					
1工事当り使用量30m2未満					
機械構成比：0.00%					
労務構成比：64.40%					
材料構成比：35.60%					
市場単価構成比：0.00%					
標準単価：1 m2 当り 4,077.3000					
SPK25040118					
単第0 -0112 表					
施工代価表					
代表機労材規格(積算地区)					
構成比					
単価(積算地区)					
代表機労材規格(東京地区)					
単価(東京地区)					
備考					
普通作業員					
47.36%					
20,298					
普通作業員					
25,400					
RTPC00002					
RTP700002					
土木一般世話役					
16.72%					
26,112					
土木一般世話役					
31,000					
RTPC00009					
RTP700009					
その他(労務)					
10.57					
その他(労務)					
ER009					
目地板					
ゴム発泡体					
t=20mm					
35.60%					
2,760					
目地板					
滌青繊維質					
t=10mm					
1,190					
TTPCD0153					
TTPT00199					
積算単価					
5,495					
積算単価					
EP001					
A=1					
1工事当り使用量30m2未満					
B=11					
ゴム発泡体t=20mm					
【補正式】					
5,495=4,077.3*{(47.36/100*20,298/25,400+16.72/100*26,112/31,000)*64.40/(47.36+16.72)+(35.60/100*2,760/1,190)*35.60/(35.60+(100-64.40-35.60)/100)}					

06-150-6002-1101-1-0

仮設盛土					
施工幅員4.0m以上,積込+運搬含む					
距離0.3km以下					
VV000000030					
単第0 -0113 表					
施工代価表					
1 m3 当り					
名称・規格など					
数					
単位					
単価					
金額					
備考					
積込(ルーズ)					
上砂					
土量50,000m3未満					
1					
m3					
227					
227					
SPK25040007					
単第0-0005 表					
土砂等運搬					
標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)					
D1D区間無し 距離0.3km以下					
1					
m3					
369.9					
369					
SPK25040002					
単第0-0034 表					
路体(築堤)盛土・埋戻					
施工幅員4.0m以上					
施工数量20,000m3未満 障害無し					
1					
m3					
221.6					
221					
SPKN2504004					
単第0-0114 表					
諸雑費					
1					
式					
0					
#99					
*** 単位当たり ***					
1					
m3					
817					

06-150-6002-1101-1-0

施 工 代 価 表

単第0 -0114 表

路体(築堤)盛土・埋戻

SPK2504004

施工幅員4.0m以上

施工数量20,000m3未満 障害無し

機械構成比： 17.31%

労務構成比： 67.71%

材料構成比： 14.98%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

1

m3

当り

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貸＞ブルドーザ 湿地, 7t級 排出ガス対策型(第～3次基準値)低騒音	10.87%	7,558	＜貸＞ブルドーザ 湿地, 7t級 排出ガス対策型(第1, 2次基準値)低騒音	6,010	KTPC00036 KTPT00036
＜貸＞振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11～12t 排出ガス対策型(～2014年基準値)低騒音	6.44%	13,193	振動ローラ(土工用) 〔フラット・シングルドラム型〕 質量11～12t	11,200	KTPC00058 KTPT00058
運転手 (特殊)	46.57%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	21.14%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
軽油 バトロール給油	14.98%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		221.6	積算単価		EP001
A=2 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		
【補正式】 $221.6=240.29*\{(10.87/100*7,558/6,010+6.44/100*13,193/11,200)*17.31/(10.87+6.44)+(46.57/100*23,562/28,900+21.14/100*20,298/25,400)*67.71/(46.57+21.14)+(14.98/100*148/138)*14.98/(14.98)+(100-17.31-67.71-14.98)/100\}$					

06-150-6002-1101-1-0

施 工 代 価 表

単第0 -0115 表

表土戻し

SPK25040007

上砂

上量50,000m3未満

機械構成比： 42.39%

労務構成比： 38.74%

材料構成比： 18.87%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

1

m3

当り

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	42.39%	21,500	バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	21,500	MTPC00153 MTPT00153
運転手 (特殊)	38.74%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
軽油 バトロール給油	18.87%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		227.0	積算単価		EP001
A=1 上砂			B=1 上量50,000m3未満		
【補正式】 $227.0=240.9*\{(42.39/100*21,500/21,500)*42.39/(42.39)+(38.74/100*23,562/28,900)*38.74/(38.74)+(18.87/100*148/138)*18.87/(18.87)+(100-42.39-38.74-18.87)/100\}$					

06-150-6002-1101-1-0

整地工
基盤整地, 表土整地

VV000000031

施 工 代 価 表

単第0 -0116 表

10000 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基盤整地工 コーン支持力500kN以上_1000m3未満 基盤整地	1	ha	212,700	212,700	SKKN090202 単第0-0117 表
基盤整地工 コーン支持力500kN以上_1000m3未満 表土整地	1	ha	301,300	301,300	SKKN090202 単第0-0119 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 合計 ***	10,000	m ²		514,000	
*** 単位当たり ***	1	m ²		51	

06-150-6002-4101-1-0

基盤整地工
コーン支持力500kN以上_1000m3未満

SKKN090202

施 工 代 価 表

単第0 -0117 表

1 ha 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-1_ブルドーザ運転 普通 1 t 級 排出ガス対策型1次基準	12.500	時間	11,120	139,000	SKKN190101 単第0-0118 表 1/0.08
土木一般世話役	0.100	人	26,112	2,611	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	3.500	人	20,298	71,043	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	1	式		46	#91
*** 単位当たり ***	1	ha		212,700	
A=1 D=3 コーン支持力500kN以上_1000m3未満 不良			C=1 基盤整地		
ブルドーザ1時間当り作業量S = S0 * E = 0.155 * 0.50 = 0.08(ha/hr) 小数第3位四捨五入小数第2位止め					

06-150-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

頁 0-0157

機-1_ブルドーザ運転
普通 1 t 級SKKN190101
排出ガス対策型1次基準

単第0 -0118 表

1 時間 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手 (特殊)	0.20	人	23,562	4,712	RTPC00006
軽油 バトロール給油	11.00	L	148	1,628	8休_現場閉所 (～R7.3) (×1.02) TTPC00013
ブルドーザ 普通・排1 11t級	1	時間	4,780	4,780	M0160
諸雑費	1	式		0	#91
*** 単位当たり ***	1	時間		11,120	
A=6 普通 1 t 級 C=1 岩石工損料割増 無し E=0 燃料消費量 (L/h) 標準=省略			B=2 排出ガス対策型1次基準 D=0 運転労務数量 (人/h) 標準=省略		
運転日当運転時間 T = 440 (3欄) / 90 (4欄) = 4.9 運転労務歩掛 1/T = 1 / 4.9 = 0.20 燃料消費量 (時間当り) = 78.000 (kW) × 0.144 (燃料消費率) = 11.000 (L/時間) 損料表③欄 = 4,780					

06-150-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

頁 0-0158

基盤整地工

SKKN090202

単第0 -0119 表

1 ha 当り

コーン支持力500kN以上_1000m3未満

表土整地

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機-1_ブルドーザ運転 普通 1 t 級 排出ガス対策型1次基準	20.000	時間	11,120	222,400	SKKN190101 単第0-0118 表 1/0.05
土木一般世話役	0.300	人	26,112	7,833	RTPC00009
普通作業員	3.500	人	20,298	71,043	8休_現場閉所 (～R7.3) (×1.02) RTPC00002
諸雑費	1	式		24	8休_現場閉所 (～R7.3) (×1.02) #91
*** 単位当たり ***	1	ha		301,300	
A=1 コーン支持力500kN以上_1000m3未満 D=3 不良			C=2 表土整地		
ブルドーザ1時間当り作業量 S = S0 * E = 0.155 * 0.30 = 0.05 (ha/hr) 小数第3位四捨五入小数第2位止め					

06-450-6002-4101-1-0

仮設盛土撤去
掘削積込+運搬+整地

VV000000032
距離7.5km以下

施工代価表

単第0 -0120 表

頁0-0159

1
m3
当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 10,000m3以上50,000m3未満	1	m3	218.1	218	SPK25040001 単第0-0002 表
上砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離7.5km以下(6.5km超)	1	m3	1,366	1,366	SPK25040002 単第0-0121 表
整地 残土受入れ地での処理	1	m3	125.2	125	SPK25040003 単第0-0035 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		1,709	

06-150-6002-1101-1-0

土砂等運搬

SPK25040002

施工代価表

単第0 -0121 表

頁0-0160

1
m3
当り

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
D1D区間無し 距離7.5km以下(6.5km超)

機械構成比: 44.67% 労務構成比: 40.44% 材料構成比: 14.89% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,400.5000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%	20,847	ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20,847	MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%	21,522	運転手(一般)	23,600	RTPC00007 RTPT00007
軽油 バトロール給油	14.89%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		1,366	積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=24 距離7.5km以下(6.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 D1D区間無し		
【補正式】 1,366=1,400.5*{(44.67/100*20,847/20,847)*44.67/(44.67)+(40.44/100*21,522/23,600)*40.44/(40.44)+(14.89/100*148/138)*14.89/(14.89)+(100-44.67-40.44-14.89)/100}					

06-150-6002-1101-1-0

地盤改良工 SPK25040024 施工代価表 単第0 -0122 表 頁0-0161					
混合深さ1mを超え2m以下 7.5t/100m2 セメント系固化材 一般軟弱土用 機械構成比： 7.48% 労務構成比： 51.97% 材料構成比： 40.55% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り 2,954.2000					
代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
＜貸＞バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	6.70%	12,132	バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t	9,840	KTPC00006 KTPT00006
振動ローラ(舗装用)(ハンドガイド式) 質量0.6～0.7t	0.78%	1,591	振動ローラ(舗装用)(ハンドガイド式) 質量0.6～0.7t	1,330	KTPC00071 KTPT00071
土木一般世話役	14.21%	26,112	土木一般世話役	31,000	RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	13.21%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.94%	23,664	特殊作業員	28,300	RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	11.61%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
セメント系固化材 一般軟弱土用、フレコン (1tパック)	34.47%	153,750	セメント系固化材 特殊土用・フレコン・1tパック 【標準数量 5.25t/100m2】	102,000	TTPC00050 TTPT00397
軽油 バトロール給油	6.08%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		3,265	積算単価		E9999

06-150-6002-1101-1-0

地盤改良工 SPK25040024 施工代価表 単第0 -0122 表 頁0-0162					
混合深さ1mを超え2m以下 7.5t/100m2 セメント系固化材 一般軟弱土用 機械構成比： 7.48% 労務構成比： 51.97% 材料構成比： 40.55% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り 2,954.2000					
代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=2 バックホウ C=4 混合深さ1mを超え2m以下 F=1 セメント系固化材 一般軟弱土用			B=2 構造物基礎 D=7.5 固化材100m2当り使用量(実数入力)(t)		
【補正式】					
3,265=2,954.2*{(6.70/100*12,132/9,840+0.78/100*1,591/1,330)*7.48/(6.70+0.78)+(14.21/100*26,112/31,000+13.21/100*23,562/28,900+12.94/100*23,664/28,300+11.61/100*20,298/25,400)*51.97/(14.21+13.21+12.94+11.61)+(34.47/100*153,750/102,000+6.08/100*148/138)*40.55/(34.47+6.08)+(100-7.48-51.97-40.55)/100}					
【固化材単価】 固化材単価(円) * 固化材100m2当り使用量(t) 固化材100m2当り使用量(t):7.500(t)					

06-150-6002-1101-1-0

大型土のう製作・設置工
製作・設置

SB746

施 工 代 価 表

単第0 -0123 表

10 袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.294	人	26,112	7,676	RTPC00009
特殊作業員	0.294	人	23,664	6,957	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00001
普通作業員	0.294	人	20,298	5,967	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00002
耐候性大型土のう_短期仮設(3年)対応 φ110×110 耐候性大型土のう積層工法 マニユール適合品	10	袋	4,300	43,000	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) KC412
機-28_バックホウ運転(賃料) C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型	0.294	口	43,750	12,862	S9035 単第0-0124 表
諸雑費	1	%	20,600	198	#09 (労)×率
*** 合計 ***	10	袋		76,660	
*** 単位当たり ***	1	袋		7,666	
A=1 製作・設置 C=1 設置面高さ_3m≦H≦2m E=2 流用上			B=1 設置作業半径_5m以下 D=2 耐候性大型土のう(3年)		
D:日当り施工量 = 34(袋)					
土木一般世話役 = $1 * 10 / D = 1 * 10 / 34 = 0.294$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
特殊作業員 = $1 * 10 / D = 1 * 10 / 34 = 0.294$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
普通作業員 = $1 * 10 / D = 1 * 10 / 34 = 0.294$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					
バックホウ(クローラ型)運転 = $10 / D = 10 / 34 = 0.294$ (口) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

06-150-6002-4101-1-0

機-28_バックホウ運転(賃料)
C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型

S9035

施 工 代 価 表

単第0 -0124 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1.00	人	23,562	23,562	RTPC00006
軽油 バトロール給油	63.00	L	148	9,324	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) TTTC00013
<賃>バックホウ(クローラ型) 〔後方超小旋回型・クレーン機能付・～2014規制〕 山積0.45m3(平積0.35m3)吊能力2.9t	1.28	供用口	8,486	10,862	KTPC00067
諸雑費	1	式		2	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) #91
*** 単位当たり ***	1	口		43,750	
A=23 C付2.9t吊_山積0.45m3_後方超小型旋回型 C=1 運転労務数量(人/口)			B=63 軽油消費量(L/日) D=1.28 機械賃料数量(供用口/口)		

06-150-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

大型土のう撤去
設置作業半径_6m以下S1050057
設置面高さ_3m≦H≦2m

単第0 -0125 表

10 袋 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.087	人	26,112	2,271	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
特殊作業員	0.087	人	23,664	2,058	RTPC00001 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.087	口	53,190	4,627	S9035 単第0-0126 表
諸雑費	0.4	%	4,329	17	#09
*** 合計 ***	10	袋		8,973	
*** 単位当たり ***	1	袋		897	
A=1 設置作業半径_6m以下			B=1 設置面高さ_3m≦H≦2m		
土木一般世話役 = $1 * 10 / D = 1 * 10 / 115 = 0.087$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $1 * 10 / D = 1 * 10 / 115 = 0.087$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め バックホウ(クローラ型)運転 = $10 / D = 10 / 115 = 0.087$ (日) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

06-150-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊_山積0.8m3

S9035

単第0 -0126 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手(特殊)	1.00	人	23,562	23,562	RTPC00006 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
軽油 バトロール給油	101.00	L	148	14,948	TTPC00013
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	1.21	供用口	12,132	14,679	KTPC00006 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	1	式		1	#91
*** 単位当たり ***	1	口		53,190	
A=5 クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1 運転労務数量(人/口)			B=101 軽油消費量(L/日) D=1.21 機械賃料数量(供用口/口)		

06-150-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

高密度ポリエチレン管設置・撤去

VV000000036

単第0 -0127 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高密度ポリエチレン管設置 呼び径 1000mm 材料費を除く	10	m	3,441	34,410	VV000000034 単第0-0128 表
高密度ポリエチレン管撤去 呼び径 1000mm 材料費を除く	10	m	1,720	17,200	VV000000035 単第0-0130 表
高密度ポリエチレン管 (シングル構造) 無孔管, 呼び径φ1,000	7.5	m	49,700	372,750	F0000000011
諸雑費	1	式		40	#99
*** 合計 ***	10	m		424,400	
*** 単位当たり ***	1	m		42,440	

06-150-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

高密度ポリエチレン管設置

VV000000034

単第0 -0128 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.48	人	26,112	38,645	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
特殊作業員	3.69	人	23,664	87,320	RTPC00001 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	5.37	人	20,298	109,000	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.45m3	2.89	口	37,760	109,126	S9035 単第0-0129 表
諸雑費	1	式		9	#99
*** 合計 ***	100	m		344,100	
*** 単位当たり ***	1	m		3,441	

06-150-6002-4101-1-0

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊_山積0.45m3

S9035

施 工 代 価 表

単第0 -0129 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手 (特殊)	1.00	人	23,562	23,562	RTPC00006 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
軽油 バトロール給油	28.00	L	148	4,144	TTPC00013
〈賃〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(～2011年基準値)～超低騒音	1.33	供用口	7,558	10,052	KTPC00005 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	1	式		2	#91
*** 単位当たり ***	1	口		37,760	
A=9 クレーン付2.9t吊_山積0.45m3 C=1 運転労務数量(人/口)			B=28 軽油消費量(L/日) D=1.33 機械賃料数量(供用口/口)		

06-150-6002-4101-1-0

高密度ポリエチレン管撤去
呼び径 1000mm

VV000000035

施 工 代 価 表

単第0 -0130 表

200 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.48	人	26,112	38,645	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
特殊作業員	3.69	人	23,664	87,320	RTPC00001 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	5.37	人	20,298	109,000	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.45m3	2.89	口	37,760	109,126	S9035 単第0-0129 表
諸雑費	1	式		9	#99
*** 合計 ***	200	m		344,100	
*** 単位当たり ***	1	m		1,720	

06-150-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

高密度ポリエチレン管設置・撤去

VV000000039

単第0 -0131 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高密度ポリエチレン管設置 呼び径 300mm 材料費を除く	10	m	1,376	13,760	VV000000037 単第0-0132 表
高密度ポリエチレン管撤去 呼び径 300mm 材料費を除く	10	m	688	6,880	VV000000038 単第0-0134 表
高密度ポリエチレン管 (シングル構造) 無孔管, 呼び径 300	7.5	m	4,120	30,900	F0000000009
諸雑費	1	式		0	#99
*** 合計 ***	10	m		51,540	
*** 単位当たり ***	1	m		5,154	

06-150-6002-4101-1-0

施 工 代 価 表

高密度ポリエチレン管設置

VV000000037

単第0 -0132 表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.08	人	26,112	2,088	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
特殊作業員	0.16	人	23,664	3,786	RTPC00001 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	0.23	人	20,298	4,668	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
機-28_バックホウ運転(賃料) クローラ型山積0.45m3	0.08	口	40,170	3,213	S9035 単第0-0133 表
諸雑費	1	式		5	#99
*** 合計 ***	10	m		13,760	
*** 単位当たり ***	1	m		1,376	

06-150-6002-4101-1-0

機-28_バックホウ運転(賃料)
クローラ型山積0.45m3

S9035

施工代価表

単第0 -0133 表

頁0-0173

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手 (特殊)	1.00	人	23,562	23,562	RTPC00006 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
軽油 バトロール給油	44.00	L	148	6,512	TTPC00013
〈貸〉バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第～3次基準値)～超低騒音	1.45	供用口	6,961	10,093	KTPC00004 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	1	式		3	#91
*** 単位当たり ***	1	口		40,170	
A=17 クローラ型山積0.45m3 C=1 運転労務数量(人/口)			B=44 軽油消費量(L/日) D=1.45 機械賃料数量(供用口/口)		

06-150-6002-1101-1-0

高密度ポリエチレン管撤去
呼び径300mm

VV000000038

施工代価表

単第0 -0134 表

頁0-0174

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
上木一般世話役	0.08	人	26,112	2,088	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
特殊作業員	0.16	人	23,664	3,786	RTPC00001 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	0.23	人	20,298	4,668	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
機-28_バックホウ運転(賃料) クローラ型山積0.45m3	0.08	口	40,170	3,213	S9035 単第0-0133 表
諸雑費	1	式		5	#99
*** 合計 ***	20	m		13,760	
*** 単位当たり ***	1	m		688	

06-150-6002-1101-1-0

施 工 代 価 表

単第0 -0135 表

地盤改良工

混合深さ1m以下 4.7t/100m²

SPK25040024

セメント系固化材 一般軟弱土用

機械構成比: 7.03%

労務構成比: 44.27%

材料構成比: 48.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1 m2 当り 2,237.4000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
〈貸〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.5m ³ (平積0.4)吊能力2.9t 排出ガス対策型(～2014年基準値)～超低騒音	2.93%	7,558	〈貸〉バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.5m ³ (平積0.4)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6,720	KTPC00038 KTPT00038
〈貸〉タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(～2011年基準値)～超低騒音	2.34%	5,204	タイヤローラ 質量8～20t	4,480	KTPC00007 KTPT00007
〈貸〉振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第～3次基準値)～超低騒音	1.76%	4,508	振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t	3,540	KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	22.78%	23,562	運転手(特殊)	28,900	RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	13.35%	20,298	普通作業員	25,400	RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.14%	26,112	土木一般世話役	31,000	RTPC00009 RTPT00009
セメント系固化材 一般軟弱土用,フレコン (1tパック)	45.55%	96,350	セメント系固化材 特殊土用・フレコン・1tパック 【標準数量 5.25t/100m ² 】	102,000	TTPC00050 TTPT00397
軽油 バトロール給油	3.15%	148	軽油バトロール給油	138	TTPC00013 TTPT00013
積算単価		2,031	積算単価		E9999

06-150-6002-1101-1-0

施 工 代 価 表

単第0 -0135 表

地盤改良工

混合深さ1m以下 4.7t/100m²

SPK25040024

セメント系固化材 一般軟弱土用

機械構成比: 7.03%

労務構成比: 44.27%

材料構成比: 48.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1 m2 当り 2,237.4000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
A=2 C=3 F=1 バックホウ 混合深さ1m以下 セメント系固化材 一般軟弱土用			B=1 D=4.7 路床 固化材100m ² 当り使用量(実数入力)(t)		
【補正式】 2,031=2,237.4*{(2.93/100*7,558/6,720+2.34/100*5,204/4,480+1.76/100*4,508/3,540)*7.03/(2.93+2.34+1.76)+(22.78/100*23,562/28,900+13.35/100*20,298/25,400+8.14/100*26,112/31,000)*44.27/(22.78+13.35+8.14)+(45.55/100*96,350/102,000+3.15/100*148/138)*48.70/(45.55+3.15)+(100-7.03-44.27-48.70)/100}					
【固化材単価】 固化材単価(円) * 固化材100m ² 当り使用量(t) 固化材100m ² 当り使用量(t): 4.700(t)					

06-150-6002-1101-1-0

高密度ポリエチレン管設置・撤去		VV000000042		施工代価表		単第0 -0136 表		頁0-0177	
呼び径 400mm	損耗率15%					10	m	当り	
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考			
高密度ポリエチレン管設置 呼び径400mm 材料費を除く	10		m	1,714	17,140	VV000000040	単第0-0137 表		
高密度ポリエチレン管撤去 呼び径400mm 材料費を除く	10		m	857	8,570	VV000000041	単第0-0138 表		
高密度ポリエチレン管 (シングル構造) 無孔管, 呼径φ400	4.5		m	8,000	36,000	F0000000010			
諸雑費	1		式		0	#99			
*** 合計 ***	10		m		61,710				
*** 単位当たり ***	1		m		6,171				

06-150-6002-4101-1-0

高密度ポリエチレン管設置		VV000000040		施工代価表		単第0 -0137 表		頁0-0178	
呼び径400mm	材料費を除く					10	m	当り	
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考			
土木一般世話役	0.11		人	26,112	2,872	RTPC00009			
特殊作業員	0.21		人	23,664	4,969	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00001			
普通作業員	0.28		人	20,298	5,683	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00002			
機-28_バックホウ運転(賃料) クローラ型山積0.45m3	0.09		口	40,170	3,615	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) S9035	単第0-0133 表		
諸雑費	1		式		1	#99			
*** 合計 ***	10		m		17,140				
*** 単位当たり ***	1		m		1,714				

06-150-6002-4101-1-0

高密度ポリエチレン管撤去
呼び径400mm

VV000000041

施工代価表

単第0-0138 表

頁0-0179

材料費を除く

20m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.11	人	26,112	2,872	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
特殊作業員	0.21	人	23,664	4,969	RTPC00001 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	0.28	人	20,298	5,683	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
機-28_バックホウ運転(賃料) クローラ型山積0.45m3	0.09	口	40,170	3,615	S9035 単第0-0133 表
諸雑費	1	式		1	#99
*** 合計 ***	20	m		17,140	
*** 単位当たり ***	1	m		857	

06-150-6002-4101-1-0

沈砂池

VV000000044

施工代価表

単第0-0139 表

頁0-0180

1箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り 上砂 上記以外(小規模)	12.5	m3	1,939	24,237	SPK25040015 単第0-0049 表
柵工 ネット柵 0.5m (荒目+細目)	6	m	5,676	34,056	SKKN023001 単第0-0140 表
柵工 ネット柵 0.5m (BS)	4	m	4,404	17,616	SKKN023001 単第0-0141 表
コンクリート用碎石 碎石4020 (40-20mm)	1	m3	4,450	4,450	TP370002
諸雑費	1	式		1	#99
*** 単位当たり ***	1	箇所		80,360	

06-150-6002-4101-1-0

SKKN023001

100 m 当り

06-450-6002-4101-1-0

单第0 -0140 表

SKKN023001

ネット柵 0.5 m (荒目+細目)

100 m 当り

06-450-6002-4101-1-0

柵工
ネット柵 0.5m (BS)

SKN023001

施工代価表

単第0 -0141 表

頁0-0183

100m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.20	人	26,112	31,334	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	8.10	人	20,298	164,413	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
軽作業員	1.60	人	16,626	26,601	RTPC00011 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
松杭丸太 長1.8m 末口9cm(先端加工費含む、皮むき料なし)	111.0	本	930	103,230	TP330012
合成樹脂網 メッシュタイプ プラスチック系しごらネット 網目3mm	62.0	m2	1,350	83,700	TP290003
諸雑費	14.00	%	222,348	31,122	#09
*** 合計 ***	100	m		440,400	
*** 単位当たり ***	1	m		4,404	
A=2 ネット柵 0.5m (BS)					
QD = 12.3m/日 算定式 = 100 / 普通作業員歩掛 = 100 / 8.1 = 12.3					

06-150-6002-4101-1-0

釜場設置撤去工

VV000000045

施工代価表

単第0 -0142 表

頁0-0184

1箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
釜場設置撤去工 (掘削設置)	1	箇所	7,221	7,221	SKKN140401 単第0-0143 表
釜場設置撤去工 (撤去埋戻)	1	箇所	8,698	8,698	SKKN140401 単第0-0145 表
諸雑費	1	式		1	#99
*** 単位当たり ***	1	箇所		15,920	

06-150-6002-4101-1-0

釜場設置撤去工（掘削設置）SKKV140401

施工代価表

単第0 -0143 表

頁 0-0185

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.040	人	26,112	1,044	RTPC00009
普通作業員	0.100	人	20,298	2,029	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00002
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3（平積0.2m3） 排出ガス対策型1次基準	0.570	時間	6,578	3,749	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) S9006 単第0-0144 表
諸雑費	13.000	%	3,073	399	#09
*** 単位当たり ***	1	箇所		7,221	
A=1 釜場掘削設置			B=2 排出ガス対策型1次基準		
QD = 10,000箇所/日 算定式 = 1 / 普通作業員歩掛 = 1 / 0.10 = 10,000					

06-150-6002-4101-1-0

機-1_バックホウ運転S9006

施工代価表

単第0 -0144 表

頁 0-0186

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運転手（特殊）	0.17	人	23,562	4,005	RTPC00006
軽油 バトロール給油	5.90	L	148	873	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) TTPC00013
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.28/平積0.2m3	1	時間	1,700	1,700	MTPC00009
諸雑費	1	式		0	#91
*** 単位当たり ***	1	時間		6,578	
A=1 クローラ[標準]山積0.28m3（平積0.2m3） C=0 労務単価の夜間等割増率 E=0 運転労務数量（人/h）標準=省略			B=1 岩石工損料割増 無し D=2 排出ガス対策型1次基準 F=0 燃料消費量（L/h）標準=省略		
運転日当運転時間 T = 700（3欄） / 120（4欄） = 5.8 運転労務歩掛 1/T = 1 / 5.8 = 0.17 燃料消費量（時間当り） = 41.000（kW） × 0.144（燃料消費率） = 5,900（L/時間） 損料表⑬欄 = 1,700					

06-150-6002-4101-1-0

釜場設置撤去工（撤去埋戻）SKKN140401

施工代価表

単第0 -0145 表

頁 0-0187

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.040	人	26,112	1,044	RTPC00009
特殊作業員	0.050	人	23,664	1,183	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00001
普通作業員	0.190	人	20,298	3,856	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00002
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3（平積0.2m3） 排出ガス対策型1次基準	0.370	時間	6,578	2,433	S9006 単第0-0144 表
諸雑費	3.000	%	6,083	182	#09
*** 単位当たり ***	1	箇所		8,698	
A=2 釜場撤去埋戻			B=2 排出ガス対策型1次基準		
QD = 5.263箇所/日 算定式 = 1 / 普通作業員歩掛 = 1 / 0.19 = 5.263					

06-150-6002-4101-1-0

水替工(小口径)ポンプ設置・撤去工SKKN142402

施工代価表

単第0 -0146 表

頁 0-0188

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.230	人	26,112	6,005	RTPC00009
普通作業員	0.430	人	20,298	8,728	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00002
諸雑費	1	式		7	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) #91
*** 単位当たり ***	1	箇所		14,740	
A=1 口径50mm_排水量0m3/h以上7m3/h未満					

06-150-6002-4101-1-0

ポンプ運転
排水量_0m3/h以上7m3/h未満

SKKV142401

施工代価表

単第0 -0147 表

頁0-0189

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.040	人	26,112	1,044	RTPC00009 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
普通作業員	0.050	人	20,298	1,014	RTPC00002 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
機-16_発動発電機運転 ガソリン2kVA	1.000	口	4,952	4,952	SN9469 単第0-0148 表
諸雑費	5	%	7,010	350	#09
*** 単位当たり ***	1	口		7,360	
A=1 排水量_0m3/h以上7m3/h未満			B=2 常時排水		

06-150-6002-4101-1-0

機-16_発動発電機運転
ガソリン2kVA

SN9469

施工代価表

単第0 -0148 表

頁0-0190

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガソリン レギュラー, スタンド渡し	27.90	L	156	4,352	TTPC00014
<貸>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.08	供用口	556	600	KTPC00041 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	1	式		0	#91
*** 単位当たり ***	1	口		4,952	
A=18 ガソリン2kVA C=1.08 機械賃料数量(供用口/口)			B=27.9 燃料消費量(L/日)		

06-150-6002-4101-1-0

伐採工（人力刈払）
チェンソーSKKV100101
樹量区分10.1～80（本・m／1.0a）

施 工 代 価 表

単第0 -0149 表

1 ha 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	11.111	人	26,112	290,130	RTPC00009 0.3*37.037 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
特殊作業員	37.037	人	23,664	876,443	RTPC00001 1*37.037 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
諸雑費	6.000	%	1,166,573	69,427	#09
*** 単位当たり ***	1	ha		1,236,000	
A=2 チェンソー			B=3 40.1～80		
QD = 0.027ha/日 算定式 = 1日当り作業能力(m2/日) / 10000 = 270.0 / 10000 = 0.027 施工単位数量 / QD = 37.037					

06-150-6002-4101-1-0

伐採木処理
木くず, 運搬+処理

VV000000046

施 工 代 価 表

単第0 -0150 表

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運搬（伐開・除根・除草） 運搬距離15.8km	1	空m3	1,611	1,611	SKKN142201 単第0-0151 表
処分費 木くず(伐採木) 中間処理(余材の産廃税相当額を含む)	1	m3	8,000	8,000	SA091 単第0-0153 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m3		9,611	

06-150-6002-4101-1-0

運搬（伐開・除根・除草）

SKKV142201

施 工 代 価 表

単第0 -0151 表

100 空m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル・10t積級 岩石工損料割増 無し	2.800	日	57,510	161,028	S9050 単第0-0152 表
諸雑費	1	式		72	#91
*** 合計 ***	100	空m3		161,100	
*** 単位当たり ***	1	空m3		1,611	
A=15.8 運搬距離 (k m)			B=1 路面状況：良好		
QD = 35.714m3/日 算定式 = 100 / ダンプトラック運転口数 = 100 / 2.80 = 35.714					

06-150-6002-4101-1-0

ダンプトラック運転

S9050

施 工 代 価 表

単第0 -0152 表

1 日 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 バトロール給油	60.00	L	148	8,880	TTPC00013
運転手（一般）	1.00	人	21,522	21,522	RTPC00007
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級	1.30	供用口	20,100	26,130	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) MTPC00018
タイヤ損耗費 ダンプトラック 10t (良)	1.30	供用口	747	971	K1028
諸雑費	1	式		7	#91
*** 単位当たり ***	1	口		57,510	
A=5 オンロード・ディーゼル・10t積級 C=60 軽油消費量 (L/口) E=1 路面状況:良好 G=0 労務単価の夜間等割増率			B=1 運転労務数量 (人/日) D=1.3 機械損料数量 (供用口/口) F=1 岩石工損料割増 無し		
損料表⑤欄 = 20,100					

06-150-6002-4101-1-0

施 工 代 價 表

頁 0-0195

処分費
木くず(伐採木)

SA091 施
中間処理(余材の産廃税相当額を含む)

单第0 -0153 表

100 m3 当 9

[illegible]

06-450-6002-4101-1-0

施 工 代 價 表

頁 0-0196

根株处理
伐根, 连搬+处理

VY000000047

单第0 -0154 表

1 m 3 当り

[illegible]

06-450-6002-4101-1-0

運搬（伐開・除根・除草）SKKV142201

施工代価表

単第0 -0155 表

頁 0-0197

運搬距離14.4km

100空m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 オンロード・ディーゼル・10t積級 岩石工損料割増 無し	2.800	日	57,510	161,028	S9050 単第0-0152 表
諸雑費	1	式		72	#91
*** 合計 ***	100	空m3		161,100	
*** 単位当たり ***	1	空m3		1,611	
A=14.4 運搬距離（km）			B=1 路面状況：良好		
QD = 35.714m3/日 算定式 = 100 / ダンプトラック運転口数 = 100 / 2.80 = 35.714					

06-150-6002-4101-1-0

処分費SA091

施工代価表

単第0 -0156 表

頁 0-0198

木くず(伐根)

中間処理(余材の産廃税相当額を含む)

100m3当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費	100.00	m3	11,000	1,100,000	TT998
*** 合計 ***	100	m3		1,100,000	
*** 単位当たり ***	1	m3		11,000	
A=11000 処分費(円/m3) C=1 中間処理(余材の産廃税相当額を含む)			B=7 木くず(伐根)		

06-150-6002-4101-1-0

盛土（鋼土）
施工幅員1.0m未満

VV000000006

施工代価表

単第0 -0157 表

頁0-0199

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土	1.11	m3	1,726	1,915	SKKN010801 単第0-0011 表
振動ローラ締固め R<1.0m 路体・築堤	1	m3	548	548	SHKN0054 単第0-0018 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		2,714	

06-150-6002-4101-1-0

盛土（鋼土）
タンバ

VV000000029

施工代価表

単第0 -0158 表

頁0-0200

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土	1	m3	3,182	3,182	SKKN010801 単第0-0100 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		3,433	

06-150-6002-4101-1-0

盛土（轄土）
タンバ

VV000000029

施工代価表

単第0 -0159 表

11m3 当り

頁0-0201

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
積込(ルーズ) 上砂 土量50,000m3未満	1.11	m3	227	251	SPK25040007 単第0-0005 表
盛土・埋戻（人力土工） 粘性土・礫質土	1	m3	3,182	3,182	SKKN010801 単第0-0100 表
諸雑費	1	式		0	#99
*** 単位当たり ***	1	m 3		3,433	

06-150-6002-4101-1-0

ため池安定解析
全面改修

SYN60046

施工代価表

単第0 -0160 表

11池 当り

頁0-0202

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 内業	0.89	人	66,900	59,541	R0610
技師（A） 内業	2.26	人	59,600	134,696	R0620
技師（B） 内業	1.94	人	48,500	94,090	R0630
技師（C） 内業	0.57	人	40,300	22,971	R0640
*** 単位当たり ***	1	池		311,298	
A=1 普通の技術力を要する C=112 堤長の入力 E=2 設計洪水量：1. 5m3以上5. 0m3未満			B=5.2 堤高の入力 D=1 全面改修 F=1 洪水吐：1箇所		
G=1 取水設備：1箇所 I=1 ため池：1箇所 K=2 1-2資料の検討 計上しない			H=2 類似設計なし J=2 1-1現地調査 計上しない L=2 2-1基本方針 計上しない		
M=2 2-2設計洪水量の検討 計上しない O=1 3-2堤体の安定計算 計上する Q=2 3-4付帯工の検討 計上しない			N=1 3-1数値、断面の検討 計上する P=2 3-3浸透量の検討 計上しない R=2 3-5設計図作成 計上しない		
S=2 3-6数量計算 計上しない U=2 5-1基本設計 計上しない W=2 5-3構造計算 計上しない			T=2 4基礎処理工の検討 計上しない V=2 5-2水理計算 計上しない X=2 5-4設計図作成 計上しない		
Y=2 5-5数量計算 計上しない 27=2 6-2水理計算 計上しない 29=2 6-4設計図作成 計上しない			Z=2 6-1基本設計 計上しない 28=2 6-3構造計算 計上しない 30=2 6-5数量計算 計上しない		
31=2 7-1基本構想の立案 計上しない 33=2 8概算工事費積算 計上しない 35=2 10点検取りまとめ 計上しない			32=2 7-2施工及び仮設計画 計上しない 34=2 9照査 計上しない		
堤高による補正値 =0.860 堤長による補正値 =0.940 改修工法による補正値 =1.000					

06-150-6002-4101-1-0

06-450-6002-4101-1-0

施 工 代 價 表

06-450-6002-4101-1-0

登録単価一覧表

頁 0 - 0205

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価 (0. 4. 8)	単価 (1. 5. 9)	単価 (2. 6)	単価 (3. 7)	特殊 集計	集計 区分
F0000000001	ブレイキャストコンクリート床版 T-2、3.30m×1.00m×0.125m	枚	128,800					
F0000000002	転落防止柵 h=1.1m, φ42.7×2.3, 4段ビーム, 構造物建込	m	10,500					
F0000000003	ゴム支承 B=300mm, t=10mm	枚	18,600					
F0000000004	草木混合残土処分費 10t車/5.0m3相当	m ³	18,000				9	
F0000000005	ため池用盛土材 人工鋼土 大型ダンプ渡し, 山渡し, 積込手間含む	m ³	1,700					
F0000000007	塩ビ製止水版 FF (フラット形フラット) 幅100×厚5mm	m	530					
F0000000008	塩ビ製止水版 CF (センターベルグ形フラット) 幅150×厚5mm	m	1,030					
F0000000009	高密度ポリエチレン管 (シングル構造) 無孔管, 呼径φ300	m	4,120					
F0000000010	高密度ポリエチレン管 (シングル構造) 無孔管, 呼径φ400	m	8,000					
F0000000011	高密度ポリエチレン管 (シングル構造) 無孔管, 呼径φ1,000	m	49,700					
F0000000012	現場密度試験 砂置換法	箇所	18,500					
F0000000013	セメント安定処理配合試験 セメント添加量につき3個(3種×3個=9個) 一軸圧縮強度試験を含む	式	128,000					

06-450-6002-4101-1-0

登録単価一覧表

頁 C - 0206

[illegible]

06-450-6002-4101-1-0

直接指示単価一覧表

頁 0-0218

[illegible]

06-450-6002-4101-1-0

(未入力、もしくは0円の設定を行っている項目については出力されません。)

工 事 数 量 表
【土木工事】

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
【堤体工】				式	1		
堤体土工				式	1		
	掘削工			式	1		堤体掘削量計 V=3,645.8m ³
		表土剥ぎ取り	土砂	m ³	432.4	430.0	
		掘削(堤体盛土層(B1))	オープン	m ³	295.9	300.0	
		掘削(堤体盛土層(B1))	片切り	m ³	1,166.4	1,200.0	
		掘削(盛土(B2))	片切り	m ³	22.6	20.0	
		掘削(池底堆積物(Pd))	オープン	m ³	60.7	60.0	
		掘削(池底堆積物(Pd))	片切り	m ³	47.2	50.0	
		掘削(谷底堆積物層(Vd))	オープン	m ³	753.5	750.0	
		掘削(谷底堆積物層(Vd))	片切り	m ³	90.2	90.0	
		掘削(土石流堆積物層(Df))	オープン	m ³	173.1	170.0	
		掘削(土石流堆積物層(Df))	片切り	m ³	14.0	10.0	
		床掘(トレンチ)(堤体盛土層(B1))	標準	m ³	1.7	2.0	
		床掘(トレンチ)(谷底堆積物層(Vd))	標準	m ³	120.7	120.0	
		床掘(トレンチ)(土石流堆積物層(Df))	標準	m ³	203.3	200.0	
		床掘(トレンチ)(風化花崗岩層(Gr1))	標準	m ³	12.1	10.0	
		段切(堤体盛土層(B1))		m ³	169.6	170.0	

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
		段切(谷底堆積物層(Vd))		m3	68.0	70.0	
		段切(土石流堆積物層(Df))		m3	14.4	10.0	
	築堤工			式	1		鋼土盛土計 V=1,195.3m3 鞘土盛土計 V=1,476.3m3
		盛土(鋼土(搬入土))	$B \geq 4.0$	m3	622.9	620.0	堤体盛土合計 V=2,671.6m3
		盛土(鋼土(搬入土))	$2.5 \leq B < 4.0$	m3	205.0	210.0	
		盛土(鋼土(搬入土))	$1.0 \leq B < 2.5$	m3	219.1	220.0	
		盛土(鞘土(流用土))	$B \geq 4.0$	m3	870.0	870.0	
		盛土(鞘土(流用土))	$2.5 \leq B < 4.0$	m3	390.5	390.0	
		盛土(鞘土(流用土))	$1.0 \leq B < 2.5$	m3	51.9	50.0	
		盛土(鞘土(流用土))	$1.0 > B$	m3	14.9	10.0	
		段切部盛土(鋼土)	$B \geq 4.0$	m3	129.2	130.0	
		段切部盛土(鋼土)	$2.5 \leq B < 4.0$	m3	19.1	20.0	
		段切部盛土(流用土)	$B \geq 4.0$	m3	37.7	40.0	
		段切部盛土(流用土)	$2.5 \leq B < 4.0$	m3	36.6	40.0	
		段切部盛土(流用土)	$1.0 \leq B < 2.5$	m3	21.2	20.0	
		段切部盛土(流用土)	$1.0 > B$	m3	8.8	10.0	
		埋戻盛土	土砂(流用土)	m3	44.7	40.0	
	法面工			式	1		

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
		仕上げ	荒仕上げ	m2	438.1	440.0	
		法面整形	切土法面	m2	324.1	320.0	
		法面整形	盛土法面	m2	1,210.6	1,210.0	
運搬工				式	1		
	運搬工			式	1		
		運搬	L=300m以下	m3	106.3	110.0	
		運搬・整地	L=300m以下	m3	4,161.2	4,160.0	
		積込・運搬	L=300m以下	m3	2,267.5	2,270.0	
		運搬（残土処理）	草木残土 L=1.0km以下	m3	224.2	220.0	（概算数量）
		運搬（購入土）	鋼土 L=11.5km以下	m3	1,491.4	1,490.0	
法面工				式	1		
	法面保護工			式	1		
		張芝工		m2	814.9	810.0	
堤体付帯工				式	1		
	張ブロック工			式	1		
		張ブロック		m2	530.3	530.0	
		フィルター材	C-40	m3	79.6	80.0	
		基礎工	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m	95.2	95.0	

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
	水路工			式	1		
		法先水路	BF300	m	33.7	34.0	
		法先水路	BF600	m	2.0	2.0	
構造物撤去工				式	1		
	構造物取壊し工			式	1		
		コンクリート取壊し	鉄筋 運搬・処分含む	m3	11.6	12.0	
腰ブロック積工				式	1		
	ブロック積工			式	1		
		練積ブロック	控35cm	m2	90.8	91.0	
		裏込碎石	C-40	m3	27.3	27.0	
		天端コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m	66.0	66.0	
		基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m	68.3	68.0	
		小口止工(1)		箇所	1.0	1.0	
		小口止工(2)		箇所	1.0	1.0	
		埋戻コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	1.0	1.0	
【洪水吐工】				式	1		
洪水吐土工				式	1		
	掘削工			式	1		

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
		掘削	土砂（表土）	m ³	16.1	20.0	捨土
		掘削	土砂	m ³	80.8	80.0	流用
	盛土工			式	1		
		埋戻（韜土）	$B \geq 4.0$	m ³	1.9	2.0	
		埋戻（韜土）	$2.5 \leq B < 4.0$	m ³	1.4	1.0	
		埋戻（韜土）	$1.0 \leq B < 2.5$	m ³	3.5	4.0	
		埋戻（韜土）	$B < 1.0$	m ³	3.3	3.0	
		埋戻（韜土）	構造物	m ³	10.4	10.0	
		埋戻（鋼土）	$B \geq 4.0$	m ³	15.8	20.0	
		埋戻（鋼土）	$1.0 \leq B < 2.5$	m ³	3.8	4.0	
		埋戻（鋼土）	$B < 1.0$	m ³	5.1	10.0	
		埋戻（鋼土）	構造物	m ³	9.8	10.0	
		盛土（韜土）	$B \geq 4.0$	m ³	5.2	10.0	
		盛土（韜土）	$2.5 \leq B < 4.0$	m ³	5.6	10.0	
		盛土（韜土）	$1.0 \leq B < 2.5$	m ³	11.9	10.0	
		盛土（韜土）	$B < 1.0$	m ³	0.7	1.0	
		盛土（鋼土）	$1.0 \leq B < 2.5$	m ³	9.8	10.0	
	地盤改良工			式	1		

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
		地盤改良	洪水吐	m2	43.1	40.0	平均改良深度=1.33m
	法面整形工			式	1		
		盛土法面整形		m2	5.4	10.0	
		荒仕上げ		m2	22.6	20.0	
法面工				式	1		
	法面保護工			式	1		
		張芝工		m2	5.4	10.0	
躯体工				式	1		
	躯体工			式	1		
		鉄筋コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m3	34.3	34.0	
		均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m3	3.9	4.0	
		型枠	鉄筋構造物	m2	93.6	94.0	
		型枠	均しコンクリート	m2	3.2	3.0	
		鉄筋	SD345 D13	ton	1.679	1.680	
		止水板	CF200	m	13.0	13.0	
		止水板	FF100	m	8.9	9.0	
		ダウエルバー	D16×1000 キャップ VP φ20×500	本	54.0	54.0	
		ステップ	B=300	個	8.0	8.0	

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
		目地材	エラスチックフィラー t=10mm	m ²	6.2	6.0	
床版工				式	1		
	床版工			式	1		
		進入路床版	T-2、3.30m×1.00m×0.125m	枚	2.0	2.0	
		転落防止柵	h=1.1m	m	5.8	6.0	
		鉄筋コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	0.4	0.4	
		型枠	鉄筋構造物	m ²	3.6	4.0	
		鉄筋	SD345 D13	ton	0.030	0.030	
		ゴム支承	B=300mm、t=10mm	m	4.0	4.0	
		調整モルタル	B=300mm、t=10mm	m ³	0.01	0.01	
接続柵工				式	1		
	接続柵工			式	1		
		1号接続柵工		箇所	1.0	1.0	
		2号接続柵工		箇所	1.0	1.0	
		復旧工		箇所	1.0	1.0	
【取水設備工】				式	1		
取水設備土工				式	1		
	掘削工			式	1	1	

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
		掘削	土砂	m3	660.3	660.0	
		床掘	土砂	m3	15.5	20.0	
	盛土工			式	1		
		盛土（鋼土）	$B \geq 4.0$	m3	8.5	10.0	
		盛土（鋼土）	$2.5 \leq B < 4.0$	m3	24.3	20.0	
		盛土（鋼土）	$1.0 \leq B < 2.5$	m3	3.4	3.0	
		盛土（鋼土）	構造物	m3	36.5	40.0	
		盛土（鋼土）	タンパ転圧	m3	30.0	30.0	
		埋戻（鞘土）	$B \geq 4.0$	m3	402.4	400.0	
		埋戻（鞘土）	$2.5 \leq B < 4.0$	m3	70.1	70.0	
		埋戻（鞘土）	$1.0 \leq B < 2.5$	m3	45.1	50.0	
		埋戻（鞘土）	$B < 1.0$	m3	1.4	1.0	
		埋戻（鞘土）	構造物	m3	1.6	2.0	
	仮設盛土工			式	1		
		仮設盛土		m3	106.3	110.0	
	舗装工			式	1		
		敷砂利	C-40, t=10cm	m2	73.0	73.0	
斜樋工				式	1		

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
	斜樋工			式	1		
		鉄筋コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m ³	9.2	9.0	
		均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	3.4	3.0	
		型枠	鉄筋構造物	m ²	29.6	30.0	
		型枠	均しコンクリート	m ²	5.7	6.0	
		鉄筋	SD345 D13	ton	0.411	0.410	
		ダウエルバー	D16×1000(収縮目地) キャップ VP φ20×500	本	23.0	23.0	
		止水板	FF100(収縮目地)	m	2.7	3.0	
		油性ペイント	収縮目地	m ²	1.8	2.0	
土砂吐工				式	1		
	土砂吐工			式	1		
		鉄筋コンクリート	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	m ³	18.2	18.0	
		均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	1.3	1.0	
		型枠	鉄筋構造物	m ²	60.5	61.0	
		型枠	均しコンクリート	m ²	1.1	1.0	
		鉄筋	SD345 D13	ton	0.845	0.850	
		基面整正		m ²	13.4	10.0	
		足場工	枠組	掛m ²	33.5	30.0	

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
		支保工		空m3	9.6	10.0	
		止水版	FF100(伸縮目地)	m	4.6	5.0	
		目地材エラスチック フィラー	t=10mm(伸縮目地)	m2	1.1	1.0	
		ダウエルバー	D16(伸縮目地) キャップ VP φ20	本	18.0	18.0	
底樋工				式	1		
	底樋工			式	1		
		底樋管	HP φ 800	m	21.0	21.0	
		鉄筋コンクリート	σ ck=24N/mm2	m3	32.4	32.0	
		均しコンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	3.5	4.0	
		型枠	鉄筋構造物	m2	79.9	80.0	
		型枠	均しコンクリート	m2	3.8	4.0	
		鉄筋	SD345 D13	ton	1.147	1.150	
		基面整正		m2	27.0	30.0	
		止水板	CF150(伸縮目地)	m	4.6	5.0	
		止水板	FF100(伸縮目地)	m	7.6	8.0	
		エラスチックフィ ラー	t=10mm(伸縮目地)	m2	1.1	1.0	
		エラスチックフィ ラー	t=20mm(伸縮目地)	m2	3.6	4.0	
		ダウエルバー	D16×1000(伸縮目地) キャップ VP φ20×500	本	18.0	18.0	

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
【工事用道路工】				式	1		
道路土工				式	1		
	掘削工			式	1		
		掘削	オープンカット	m3	1.5	2.0	
	仮設盛土工			式	1		
		仮設盛土	B $\geq$ 4.0 積込+運搬含む L=300m以内	m3	1,443.6	1,400.0	他地区より流用
	整地工			式	1		
		表土はぎとり	t=15cm	m3	179.0	180.0	
		表土戻し	t=15cm	m3	179.0	180.0	
		整地工	表土整地、基盤整地	m2	1,695.0	1,700.0	
	盛土撤去工			式	1		
		仮設盛土撤去	掘削積込+運搬+整地 L=7.5km以内	m3	1,308.5	1,300.0	
	地盤改良工			式	1		
		地盤改良	工事用道路	m2	124.0	120.0	平均改良深度=1.50m
舗装工				式	1		
	舗装工			式	1		
		敷砂利	C-40, t=10cm	m2	669.0	669.0	
構造物工				式	1		

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
	構造物工			式	1		
		大型土のう	製作・設置	袋	10.0	10.0	f =0.833
		大型土のう撤去		袋	10.0	10.0	f =0.833
		高密度ポリエチレン管	φ 1000, シングル構造 設置・撤去	m	14.0	14.0	
		高密度ポリエチレン管	φ 300, シングル構造 設置・撤去	m	8.0	8.0	
【池敷仮設道路工 】				式	1		
道路土工				式	1		
	掘削工			式	1		
		掘削(谷底堆積物層(Vd))		m ³	71.7	70.0	
	盛土工			式	1		
		仮設盛土	B≥4.0 積込+運搬含む L=300m以内	m ³	209.4	210.0	他地区より流用
	盛土撤去工			式	1		
		仮設盛土撤去	掘削積込+運搬+整地 L=7.5km以内	m ³	209.4	210.0	
	地盤改良工			式	1		
		地盤改良	道路基礎	m ²	555.7	556.0	平均改良深度=0.94m
舗装工				式	1		
	舗装工			式	1		
		敷砂利	C-40, t =10cm	m ²	273.0	270.0	

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
構造物工				式	1		
	構造物工			式	1		
		高密度ポリエチレン管	φ400, シングル構造 設置・撤去	m	39.0	39.0	
		沈砂池		箇所	1.0	1.0	
【仮設工】				式	1		
仮設工				式	1		
	水替工			式	1		
		釜場設置撤去		箇所	2.0	2.0	
		排水ポンプ設置撤去	口径50mm	箇所	2.0	2.0	
		排水ポンプ 運転	常時排水	日	130.0	130.0	
	安全費						
		交通誘導警備員B		人	170.0	170.0	
【準備費】				式	1		
準備費				式	1		
	準備費			式	1		
		伐採工		ha	0.3	0.3	
		伐採木処理	運搬+処理	m3	800.0	800.0	(概算数量)
		根株処理	運搬+処理	m3	200.0	200.0	(概算数量)

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	摘 要
【技術管理費】				式	1		
技術管理費				式	1		
	試験盛土工（鋼土）			式	1		
		敷均し・締固め	転圧回数 4回, 6回, 8回 TR11～12t	m3	87.9	90.0	
		敷均し・締固め	転圧回数 4回, 6回, 8回 SR3～4t	m3	69.2	70.0	
		敷均し・締固め	SR0.8～1.1t	m3	52.4	50.0	
		締固め	タンパ	m3	6.4	10.0	
		現場透水試験	簡易法	回	10.0	10.0	
		締め固めた地盤の 透水試験	定水法 マリOTTサイフォン	回	3.0	3.0	
		現場密度試験	砂置換法	回	10.0	10.0	
	試験盛土工（軟土）			式	1		
		敷均し・締固め	転圧回数 2回, 4回, 6回 TR11～12t	m3	75.0	80.0	
		敷均し・締固め	転圧回数 4回, 6回, 8回 SR3～4t	m3	60.0	60.0	
		敷均し・締固め	SR0.8～1.1t	m3	45.0	50.0	
		締固め	タンパ	m3	5.0	10.0	
		現場透水試験	簡易法	回	10.0	10.0	
		現場密度試験	砂置換法	回	10.0	10.0	
	土質試験費等			式	1		

設計数量総括表

設計書名：〇〇堤 数量計算書

[illegible]

土工流用計画図

順序	掘削・床掘	残土処理場（場内）	場外	施工ヤード	盛土・埋戻
⑥	1. 堤体工 盛土削ぎ取り 432.4m³ 掘削（盛土） 107.9m³ 掘削（土砂） 2,915.7m³ 取土（トレンチ） 337.9m³ 削切（土砂） 252.9m³	運搬・整地 L=300m以下 運搬 L=1.0m以下 ため池敷地 捨土 216.2m³ 捨土 107.9m³ 仮置（埋用土） 1,640.3m³ F=1.0 捨土 875.4m³ 捨土 337.9m³ 捨土 252.9m³	場外捨土 216.2m³ 購入土（腐土） 1,328.1m³	必要土量 1,478.3m³ 規格 B≧4.0m 2.5m≦B<4.0m 1.0m≦B<2.5m 1.0m>B 内訳 907.7m³ 427.1m³ 73.1m³ 23.7m³ 必要土量 1,195.3m³ 規格 B≧4.0m 2.5m≦B<4.0m 1.0m≦B<2.5m 内訳 752.1m³ 224.1m³	870.0+37.7 390.5+36.6 51.9+21.2 14.9+8.8 622.9+129.2 205.0+19.1
⑤	2. 洪水吐工 盛土削ぎ取り 16.1m³ 掘削（土砂） 50.9m³	運搬・整地 L=300m以下 運搬 L=1.0m以下 捨土 8.1m³ 仮置（埋用土） 48.9m³ F=1.0 捨土 32.0m³	場外捨土 8.0m³ 購入土（腐土） 40.2m³	必要土量 43.9m³ 規格 B≧4.0m 2.5m≦B<4.0m 1.0m≦B<2.5m 1.0m>B 内訳 7.1m³ 7.0m³ 15.4m³ 4.0m³ 必要土量 44.3m³ 規格 B≧4.0m 1.0m≦B<2.5m 1.0m>B 内訳 15.9m³ 13.6m³ 5.1m³	1.9+5.2 1.4+5.6 3.5+11.9 3.3+0.7 3.8+9.8
③	3. 取水設備工 取土（土砂） 15.9m³ 掘削（土砂） 506.7m³ 掘削（土砂） 106.3m³ 掘削（土砂） 47.3m³ 掘削（土砂合計） 660.3m³	運搬・整地 L=300m以下 捨土 15.9m³ 運搬・整地 L=300m以下 仮置（埋用土） 506.7m³ F=1.0 捨土 47.3m³	購入土（腐土） 114.1m³	必要土量 520.6m³ 規格 B≧4.0m 2.5m≦B<4.0m 1.0m≦B<2.5m 1.0m>B 内訳 402.4m³ 79.1m³ 45.1m³ 1.4m³ 必要土量 102.7m³ 規格 B≧4.0m 2.5m≦B<4.0m 1.0m≦B<2.5m 1.0m>B 内訳 6.5m³ 24.3m³ 3.4m³ -	3.0+0.7
④	4. 底樋横板設置路				必要土量 106.3m³ 規格 B≧4.0m 2.5m≦B<4.0m 1.0m≦B<2.5m 1.0m>B 内訳 40.2m³ 10.9m³ 5.1m³
②	5. 池敷仮設道路 掘削（土砂） 71.7m³	運搬・整地 L=300m以下 仮置（埋用土） 71.7m³ F=1.0	（他工事等購入土） 他地区より 209.4m³ 他工事運搬 購入土 209.4m³	必要土量 209.4m³ 規格 B≧4.0m 2.5m≦B<4.0m 1.0m≦B<2.5m 1.0m>B 内訳 209.4m³	場外仮置場 工事用運搬費 209.4m³
①	6. 工事用道路 掘削（土砂） 1.3m³	運搬・整地 L=300m以下 捨土 1.3m³	（他工事等購入土） 他地区より 1,443.9m³ 他工事運搬 購入土 1,443.9m³	必要土量 1,443.9m³ 規格 B≧4.0m 2.5m≦B<4.0m 1.0m≦B<2.5m 1.0m>B 内訳 1,443.9m³	工事用運搬費 1,308.5m³
⑦	7. 残土処理	場内捨土計 1,893.7m³ 場外捨土計 224.2m³ 残土処理場計 2,117.9m³ F=1.0	場外捨土計 224.2m³ 購入土（腐土）計 1,491.4m³	必要土量 1,853.0m³ 規格 B≧4.0m 2.5m≦B<4.0m 1.0m≦B<2.5m 1.0m>B 内訳 1,853.0m³	運搬・運搬・整地 L=7.5km以下 搬出計 1,517.9m³ 場外搬入 1,517.9m³
直轄工事費 (L=300m以下) 計 106.3m³ 直轄工事費 (L=300m以下) 計 4,161.2m³ 直轄工事費 (L=300m以下) 計 2,267.6m³ 直轄工事費 (L=1.0km以下) 計 224.2m³ 直轄工事費 (L=11.5km以下) 計 1,491.4m³ 借入工 (L=300m以下) 計 1,853.0m³ 借入工 (L=7.5km以下) 計 1,517.9m³					

山口県土地改良積算システム

施 工 年 度 : 令和 ○ 年度
路 線・河 川 名 : ○○堤地区
工 事 (業 務) 名 : 農村地域防災減災事業 (防災重点農業用ため池緊急整備事業)
○○堤地区 ため池改修工事 (施設機械工事)
工 事 (業務) 場 所 : ○○市大字○○ 地内
箇 所 コ ー ド : 0000000000000

総 括 情 報 表

頁 0-0002

事務所 設計書名 変更回数	00 ○○農林水産事務所 全体設計書 当初 06-150-6002-4101-1-0 0		
適用単価区分 適用単価地区 適用基準口	1 実施単価 00 ○○市 00-08.01.15 (0)		
諸経費体系	3 機械 (土地改良)		
	当設計書	前設計書	
工種 設計技術費区分 施工地域・工事場所区分 緊急工事区分 契約保証区分 週休補正区分	03 小形水門 (新設) 01 率分額計上あり 00 補正なし 00 通常工事 0% 01 金銭保証 (0. 0 4 %) 07 4 週 8 休以上 (現場閉所)		
法定福利費相当額 (事業主負担分)	42,841 円 = 2,875,300 円 × 1.49 %		

06-150-6002-4101-1-0

総括情報表

頁 C-0003

[illegible]

06-450-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0004

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
1- 製作工事							Y31800
			式		7,745,008		
2- 小型水門設備製作工							Y318001
			式		4,956,036		
3- 材料費							Y3180011
			式		52,996		
材料費(製作工)							#0043 A=1, B=1, C=3
					52,996		
オールアンカー (斜樋用) SUS304, M16×100							F000013 00
		22	式	2,390	52,580		
ボルトナット (斜樋用) SUS304, M16×50							F000014 00
		0.2	k g	2,080	416		
3- 土砂吐工 機器単体費							Y3180012
			式		3,412,440		
機器単体費(製作工)							#0041 A=1, B=1, C=1
					3,412,440		

06-450-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
土砂吐ゲート SUS304, 800×800						F000001 00
	1		式	2,420,000	2,420,000	
開閉器（土砂吐ゲート用） 1.2kN用, 水没型						F000002 00
	1		式	661,000	661,000	
ラック棒（土砂吐ゲート用） SUS304, 1.2kN用						F000003 00
	2.29		m	106,000	242,740	
ため池栓 φ75（CAC）						F000021 00
	1		式	88,700	88,700	
3-斜樋工 機器単体費						V3180012
			式		1,490,600	
機器単体費（製作工）						#0041 A=1, B=1, C=1
					1,490,600	
斜樋バルブ（φ200） KEM6000						F000004 00
	2		式	268,000	536,000	
クランク板（φ200, 2連用） KEP6020						F000005 00
	2		式	52,000	104,000	
開閉器（斜樋バルブ用） TS-500H						F000006 00
	1		式	510,000	510,000	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
斜樋ラック棒 KEQ0010						F000007 00
	1		式	85,800	85,800	
下部軸 KEQ0030						F000008 00
	3.3		m	9,800	32,340	
中間軸 32A, KEQ0020						F000009 00
	4		m	9,800	39,200	
軸受スタンド 32A, KES0010						F000010 00
	6		個	27,900	167,400	
上限ストッパー KEP0010						F000011 00
	1		式	10,600	10,600	
下限ストッパー KEP0020						F000012 00
	1		式	5,260	5,260	
2-鋼製付属設備製作工						V318001
			式		2,186,972	
3-材料費						V3180011
			式		201,188	
材料費（製作工）						#0043 A=1, B=1, C=3
					201,188	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
手摺工直接部材費						VV000001 00
	1		式	154,058	154,058	単第0 -0001 表
手摺工部品費						VV000002 00
	1		式	47,130	47,130	単第0 -0002 表
3- 機器単体費						V3180012
			式		1,350,000	
機器単体費(製作工)						#0041 A=1, B=1, C=1
					1,350,000	
斜種管・空気管 SGP他, 300・250・50A他						F000020 00
	1		式	1,350,000	1,350,000	
3- 労務費						Y3180013 F=補止なし
			式		592,800	
労務費(製作工)						#0042 A=1, B=1, C=2
					592,800	
機械設備製作工						RA510 00
	19		人	31,200	592,800	
3- 塗装費						V3180014
			式		42,984	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工場塗装費 (酸洗い) 材工とも						F000025 00
	5.97		m ²	7,200	42,984	
2- 間接製作費						V318002
			式		602,000	
3- 間接労務費						V3180021
			式		355,000	
間接労務費						S3180021 00 A=3
	1		式	355,000	355,000	単第0 -0003 表
3- 工場管理費						V3180022
			式		247,000	
工場管理費						S3180022 00 A=3
	1		式	247,000	247,000	単第0 -0004 表
1- 据付工事						V31900
			式		1,625,300	
2- 直接工事費						V319001
			式		1,625,300	
3- 輸送費						V3190011
			式		519,000	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C- 0009

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	輸送費（土砂吐ゲート） 河川・水路用水門設備 機器単体品を含む									SYN41002 00 A=1, B=1, F=0. 64, G=140, H=0. 64	
		1		式		219, 000		219, 000		単第0 -0005 表	
	輸送費（斜樋バルブ） 河川・水路用水門設備 機器単体品を含む									SYN41002 00 A=1, B=1, F=0. 063, G=140, H=0. 063	
		1		式		218, 000		218, 000		単第0 -0006 表	
	輸送費（銅製付属設備） 銅製付属設備 機器単体品を含む									SYN41002 00 A=6, F=0. 356, G=140, L=0. 356	
		1		式		82, 000		82, 000		単第0 -0007 表	
3- 労務費										V3190013	
				式				621, 800			
	小型水門設備据付工（土砂吐ゲート） 小型水門, スライドゲート（四方水密） X=0. 64m2, 手動式, 据付数1門									VV000003 00	
		1		式		288, 900		288, 900		単第0 -0008 表	
	小型水門設備据付工（斜樋バルブ） 小型水門, スライドゲート（四方水密） X=0. 063m2, 手動式, 据付数1門									VV000004 00	
		1		式		237, 400		237, 400		単第0 -0009 表	
	銅製付属設備据付工 区分C（防護欄）, X=0. 356ton 製作数1基									VV000005 00	
		1		式		95, 500		95, 500		単第0 -0010 表	
3- 直接経費										V3190015	
				式				484, 500			
	小型水門設備据付工 機械経費 土砂吐ゲート									VV000006 00	
		1		式		199, 200		199, 200		単第0 -0011 表	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C- 0010

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	小型水門設備据付工 機械経費 斜樋バルブ									VV000007 00	
		1		式		169, 200		169, 200		単第0 -0014 表	
	銅製付属設備据付工 機械経費									VV000008 00	
		1		式		116, 100		116, 100		単第0 -0015 表	
製作原価											
製作工事原価								7, 745, 008			
直接工事費								7, 745, 008			
現場環境改善費								1, 625, 300			
								52, 000		Z0010	
2- 現場環境改善費								52, 000		YZZ10	
3- 現場環境改善費								52, 000		YZZ10001	
4- 現場環境改善費								52, 000		YZZ10001001	
		1		式		52, 000		52, 000		明第0001 表	

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0011

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
共通仮設費 (率分)	計算情報……	328000=1625300*((0.1981*1.00)*1.020)									
	対象額……	1,625,300			地域補正……	1.0000					
	率……	0.2021			週休補正……	1.0200			328,000		
共通仮設費計											
									380,000		
純工事費									2,005,300		
現場管理費	計算情報……	460000=2005300*((0.2189*1.00)*1.050)									
	対象額……	2,005,300			地域補正……	1.0000					
	率……	0.2298			週休補正……	1.0500			460,000		
据付間接費										20040	
									410,000		
	計算情報……	410000=513038*0.8000									
	対象額……	513,038									
	率……	0.8000							410,000		
据付工事原価											
									2,875,300		
設計技術費	計算情報……	313000=10620308*0.0295									
	対象額……	10,620,308									
	率……	0.0295							313,000		
工事原価											
									10,933,308		

06-150-6002-4101-1-0

本工事費

頁 C-0012

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
一般管理費率分	計算情報……	1516449=10933308*(0.2568*1.000*0.54)									
	対象額……	10,933,308			前払補正……	1.0000					
	率……	0.1387			機器補正……	0.5400			1,516,319		
契約保証費	計算情報……	4373=10933308*0.0004									
	対象額……	10,933,308									
	率……	0.0004		当初請対額…	13,699,400				4,373		
一般管理費計											
									1,520,692		
工事価格計									12,454,000		
消費税相当額計	計算情報……	1245400=12454000*0.10									
	対象額……	12,454,000									
	率……	0.1000							1,245,400		
工事費計											
									13,699,400		

06-150-6002-4101-1-0

現場環境改善費

YZZ10001001

工 種 明 細 表

明第0001 表

頁 C-0013

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場環境改善費 (率分)						S3Z0010 00
	1		式	52,000	52,000	単第0 -0016 表
*** 単位当たり ***	1		式		52,000	

06-150-6002-4101-1-0

手摺工直接部材費

VV000001

施 工 代 価 表

単第0 -0001 表

頁 C-0014

名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管用ステンレス銅鋼管 (溶接管) SUS304TP, Sch10s, 呼び径40A, φ 48.6×2.8t 割増率10%, スラップ 考慮	100.1		k g	1,070	107,107	F000022
熱間仕上ステンレス平鋼 SUS304, FB6 割増率10%, スラップ 考慮	17.2		k g	1,024	17,612	F000023
熱間圧延ステンレス銅板 SUS304, PL9 割増率12%, スラップ 考慮	17.6		k g	660	11,616	F000024
製作補助材料費	13		%	136,335	17,723	#01 銅製付属設備
*** 単位当たり ***	1		式		154,058	

06-150-6002-4101-1-0

手摺工部品費

VV000002

施工代価表

単第0 -0002 表

頁0-0015

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
オールアンカー（手摺用） SUS304, M12×70	32	式	440	14,080	F000015
90° ロングエルボ SUS304, 40A, Sch10	6	式	2,860	17,160	F000016
45° ロングエルボ SUS304, 40A, Sch10	4	式	2,570	10,280	F000017
ジョイントパイプ SUS304, φ42.6, L=80	1	式	4,080	4,080	F000018
ボルトナット（手摺用） SUS304, M8×65	1	式	1,530	1,530	F000019
*** 単位当たり ***	1	式		47,130	

06-150-6002-4101-1-0

間接労務費

S3180021

施工代価表

単第0 -0003 表

頁0-0016

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
間接労務費	1.00	式	355,000	355,000	E0001
*** 単位当たり ***	1	式		355,000	
A=3 60%					
対象額 592,800=①592,800 [内訳]①直接製作費中の労務費 率 0.6000 率分額 355,000=592,800*0.6000					

06-150-6002-4101-1-0

工場管理費

S3180022

施 工 代 価 表

単第0 -0004 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工場管理費	1.00	式	247,000	247,000	E0001
*** 単位当たり ***	1	式		247,000	
A=3 25%					
対象額 990,784=①7,143,008-②254,184-③6,253,040+④355,000 [内訳]①直接製作費 - ②材料費 - ③機器単体費 + ④間接労務費 率 0.2500 率分額 247,000=990,784*0.2500					

06-150-6002-1101-1-0

輸送費（土砂吐ゲート）

SYN41002

施 工 代 価 表

単第0 -0005 表

1 式 当り

河川・水路用水門設備

機器単体品を含む

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
運賃	1.0	式	219,000	219,000	E0001
*** 単位当たり ***	1	式		219,000	
A=1 河川・水路用水門設備 G=140 想定輸送距離（k m）			B=1 小形水門：プレートゲート構造プレート・スライダゲート H=0.64 対象要素（X）（m ² ）の数量		
輸送費 =219,000 算定式 =（A×対象要素（X）+B）×輸送距離+C =(17.20*0.640+12)*140.000+212,000 =219,000 （1000円未満切捨て）					

06-150-6002-1101-1-0

[illegible]

06-150-6002-4101-1-0

施工代価表

[illegible]

06-450-6002-4101-1-0

小型水門設備据付工（土砂吐ゲート）
小型水門, スライドゲート（四方水密）

VV000003
X=0.64m2, 手動式, 据付数1門

施工代価表

単第0 -0008 表

頁 0-0021

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械設備据付工	7.7	人	30,906	237,976	RA515
普通作業員	1.9	人	20,298	38,566	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00002
据付材料費	3	%	276,542	8,296	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) #01
据付補助材料費	1.5	%	276,542	4,062	小型水門, 二次側電気配線配管不要 #09
*** 単位当たり ***	1	式		288,900	

06-150-6002-4101-1-0

小型水門設備据付工（斜樋バルブ）
小型水門, スライドゲート（四方水密）

VV000004
X=0.063m2, 手動式, 据付数1門

施工代価表

単第0 -0009 表

頁 0-0022

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械設備据付工	6.3	人	30,906	194,707	RA515
普通作業員	1.6	人	20,298	32,476	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) RTPC00002
据付材料費	3	%	227,183	6,815	8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02) #01
据付補助材料費	1.5	%	227,183	3,402	小型水門, 二次側電気配線配管不要 #09
*** 単位当たり ***	1	式		237,400	

06-150-6002-4101-1-0

06-150-6002-4101-1-0

施工代価表

06-450-6002-4101-1-0

電気溶接機運転
ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式 200A

SKKV190003

施工代価表

単第0 -0012 表

頁 0-0025

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 バトロール給油, 2〜4KL積載車給油	11.50	L	148	1,702	T0202 2.3*5
電気溶接機 DE駆動・直流アーク式・排2 最大溶接電流200A	1	日	1,810	1,810	M1200019
諸雑費	1	式		0	#91
*** 単位当たり ***	1	口		3,512	
A=1 ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式 200A			B=5 運転日当り	運転時間 (h/日)	
燃料消費量 (時間当り) = 10.000 (kW) × 0.226 (燃料消費率) = 2.300 (L/時間) 損料表⑬欄 = 1,810					

06-150-6002-4101-1-0

発動発電機運転 (賃料)
ディーゼル 25kVA

S9864

施工代価表

単第0 -0013 表

頁 0-0026

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽油 バトロール給油	27.0	L	148	3,996	TTPC00013
＜賃＞発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量25kVA 排出ガス対策型(第〜3次基準値)〜超低騒音	1.18	供用口	1,822	2,149	日当り軽油消費量 KR020003 8休_現場閉所(〜R7.3)(×1.02)
*** 単位当たり ***	1	口		6,145	
A=6 ディーゼル 25kVA C=1.18 発動発電機賃料数量			B=27 D=2 日当り燃料消費量 排出ガス対策型		

06-150-6002-4101-1-0

小型水門設備据付工 機械経費
斜種バルブ

VV000007

施 工 代 価 表

単第0 -0014 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第2次基準値)低騒音	3	日	42,432	127,296	KTPC00043 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
電気溶接機運転 ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式 200A	4	日	3,512	14,048	SKRN190003 単第0-0012 表
発動発電機運転(賃料) ディーゼル 25kVA 排出ガス対策型	4	日	6,145	24,580	S9864 単第0-0013 表
機械器具損料	2	%	165,924	3,276	#09
*** 単位当たり ***	1	式		169,200	

06-150-6002-4101-1-0

鋼製付属設備据付工 機械経費

VV000008

施 工 代 価 表

単第0 -0015 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第2次基準値)低騒音	2	日	42,432	84,864	KTPC00043 8休_現場閉所(～R7.3)(×1.02)
電気溶接機運転 ディーゼルエンジン駆動・直流アーク式 200A	3	日	3,512	10,536	SKRN190003 単第0-0012 表
発動発電機運転(賃料) ディーゼル 25kVA 排出ガス対策型	3	日	6,145	18,435	S9864 単第0-0013 表
機械器具損料	2	%	113,835	2,265	#09
*** 単位当たり ***	1	式		116,100	

06-150-6002-4101-1-0

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場環境改善費	1.00	式	52,000	52,000	E0001
*** 単位当たり ***	1	式		52,000	
A=0 率算出対象額(円)					
[対象額] G0000 直接工事費=1,625,300 #0020 支給品費=0 #0040 無償貸付機械等評価額=0 区分9)処分費=-0 区分2)集計区分2=-0					
区分5)集計区分5=-0 区分6)集計区分6=-0 区分8)集計区分8=-0					
[標準率] 標準率 0.0322 = (504.2 * 1,625,300 ^ -0.3533)/100					
[率分額] 率分額 52,000 = 1,625,300 * 0.0322					

06-150-6002-4101-1-0

登 録 単 価 一 覧 表

頁 C - 0030

コード	名称・規格1・規格2	単 位	単 価 (0. 4. 8)	単 価 (1. 5. 9)	単 価 (2. 6)	単 価 (3. 7)	特殊 集計	集計 区分
F000001	土砂吐ゲート SUS304, 800×800	式	2,420,000					
F000002	開閉器（土砂吐ゲート用） 1.2kN用, 水没型	式	661,000					
F000003	ラック棒（土砂吐ゲート用） SUS304, 1.2kN用	m	106,000					
F000004	斜樋バルブ（φ200） KEM6000	式	268,000					
F000005	クランク板（φ200, 2連用） KEP6020	式	52,000					
F000006	開閉器（斜樋バルブ用） TS-500H	式	510,000					
F000007	斜樋ラック棒 KEQ0010	式	85,800					
F000008	下部軸 KEQ0030	m	9,800					
F000009	中間軸 32A, KEQ0020	m	9,800					
F000010	軸受スタンド 32A, KES0010	個	27,900					
F000011	上限ストッパー KEP0010	式	10,600					
F000012	下限ストッパー KEP0020	式	5,260					

06-150-6002-4101-1-0

登録単価一覧表

頁 0-0031

コード	名称・規格 1・規格 2	単 位	単 価 (0. 4. 8)	単 価 (1. 5. 9)	単 価 (2. 6)	単 価 (3. 7)	特殊 集計	集計 区分
F000013	オールアンカー (斜樋用) SUS304, M16×100	式	2,390					
F000014	ボルトナット (斜樋用) SUS304, M16×50	k g	2,080					
F000015	オールアンカー (手摺用) SUS304, M12×70	式	440					
F000016	90° ロングエルボ SUS304, 40A, Sch10	式	2,860					
F000017	45° ロングエルボ SUS304, 40A, Sch10	式	2,570					
F000018	ジョイントパイプ SUS304, φ 42. 6, L=80	式	4,080					
F000019	ボルトナット (手摺用) SUS304, M8×65	式	1,530					
F000020	斜樋管・空気管 SGP他, 300・250・50A他	式	1,350,000					
F000021	ため池栓 φ 75 (CAC)	式	88,700					
F000022	配管用ステンレス鋼鋼管 (溶接管) SUS304TP, Sch10s, 呼び径40A, φ 48. 6×2. 8t 割増率10%, スラッグ 考慮	k g	1,070					
F000023	熱間仕上ステンレス平鋼 SUS304, FB6 割増率10%, スラッグ 考慮	k g	1,024					
F000024	熱間圧延ステンレス鋼板 SUS304, PL9 割増率12%, スラッグ 考慮	k g	660					

06-450-6002-4101-1-0

登録単価一覧表

頁 C-0032

[illegible]

06-450-6002-4101-1-0

直接指示単価一覽表

頁 0-0038

[illegible]

工 事 数 量 表
【施設機械工事】

数量総括表（施設機械工事）					
工種	規格 1	規格 2	単位	設計数量	備考
本工事費					
製作工事			式		
小型水門設備製作工			式		
材料費			式		
オールアンカー（斜樋用）	SUS304, M16×100		式	22.00	
ボルトナット（斜樋用）	SUS304, M16×50		k g	0.20	
土砂吐工 機器単体費			式		
土砂吐ゲート	SUS304, 800×800		式	1.00	
開閉器（土砂吐ゲート用）	1.2kN用, 水没型		式	1.00	
ラック棒（土砂吐ゲート用）	SUS304, 1.2kN用		m	2.29	
ため池栓	φ75（CAC）		式	1.00	
斜樋工 機器単体費			式		
斜樋バルブ（φ200）	KEM6000		式	2.00	
クランク板（φ200, 2連用）	KEP6020		式	2.00	
開閉器（斜樋バルブ用）	TS-500H		式	1.00	
斜樋ラック棒	KEQ0010		式	1.00	
下部軸	KEQ0030		m	3.30	
中間軸	32A, KEQ0020		m	4.00	
軸受スタンド	32A, KES0010		個	6.00	
上限ストッパー	KEP0010		式	1.00	
下限ストッパー	KEP0020		式	1.00	
鋼製付属設備製作工			式		
材料費			式		
手摺工直接部材費			式	1.00	
手摺工部品費			式	1.00	
機器単体費			式		
斜樋管・空気管	SGP他, 300・250・50A他		式	1.00	
労務費			式		
機械設備製作工			人	19.00	
塗装費			式		
工場塗装費（酸洗い）	材工とも		m ²	5.97	
間接製作費			式		
間接労務費			式		
間接労務費			式	1.00	
工場管理費			式		
工場管理費			式	1.00	
据付工事			式		
直接工事費			式		
輸送費			式		
輸送費（土砂吐ゲート）	河川・水路用水門設備	機器単体品を含む	式	1.00	
輸送費（斜樋バルブ）	河川・水路用水門設備	機器単体品を含む	式	1.00	
輸送費（鋼製付属設備）	鋼製付属設備	機器単体品を含む	式	1.00	
労務費			式		
小型水門設備据付工（土砂吐ゲート）	小型水門, スライドゲート（四方水密）	X=0.640m2, 手動式, 据付数1門	式	1.00	
小型水門設備据付工（斜樋バルブ）	小型水門, スライドゲート（四方水密）	X=0.063m2, 手動式, 据付数1門	式	1.00	
鋼製付属設備据付工	区分C（防護柵）, X=0.356ton	製作数1基	式	1.00	
直接経費			式		
小型水門設備据付工機械経費	土砂吐ゲート		式	1.00	
小型水門設備据付工機械経費	斜樋バルブ		式	1.00	
鋼製付属設備据付工機械経費			式	1.00	

数量総括表（施設機械工事）					
工種	規格 1	規格 2	単位	設計数量	備考
事業損失防止施設費					
運搬費					
準備費					
安全費					
役務費					
技術管理費					
営繕費等					
現場環境改善費					
現場環境改善費					
現場環境改善費					
現場環境改善費			式	1.00	
現場環境改善費（率分）			式	1.00	
据付間接費					
その他積上げ費用					